

詰将棋全集 I

安南詰 編

大野 孝



2024年版

枕詞

1) 過去に発表された安南詰をすべて掲載したものです。

発表誌、作品集の記述をそのまま転載しています。 *以降の文は編者の追加記述です。

2) 作品集での初出作品は作品集記載内容とともに掲載しています。

- ①1994年12月 『安南詰将棋20題』 「第1集」
- ②1995年4月 『安南詰将棋20題 第2集』
- ③1995年5月 『安南詰将棋20題 第3集』
- ④1996年5月 『安南詰将棋20題 第4集』
- ⑤1999年5月 『詰将棋ひとりごと』 「第1版」 重版差異分のみ
1999年7月 『詰将棋ひとりごと』 第2版 「第2版」 重版差異分のみ
2000年7月 『詰将棋ひとりごと』 改訂版 「改訂版」 本版を中心に記載
- ⑥2004年9月 『詰将棋ひとりごと 2004』
- ⑦2014年8月 『詰将棋ひとりごと ミニ』
- ⑧2017年6月 『詰将棋ひとりごと 曲江』 ……集大成として刊行版発行

- ・初出順の掲載ですが、コメントおよび関連図情報は曲江を中心に記載しています。
- ・⑤と⑦は普通詰と安南詰の混在ですが、本編では普通詰を割愛して安南詰のみ掲載。
- ・大野氏の初登場は1978年ですが、パラ会員になったのは1995年。
それまでに創作してきた作品を作品集としてまとめて発表した経緯があります。

『夢銀河』 2000年7月

「東京詰将棋工房」(略称：詰工房)のメンバーによる詰将棋集。一人五局。

『四百人一局集』 2011年7月

全日本詰将棋連盟編 総勢416名による一人一局集。

『詰将棋の世界』 2021年3月

日本評論社 齋藤夏雄著による紹介記事。(No.001)

ルール

【安南詰】

- ・味方同士の駒が1間も空けずに前後に重なった場合(その瞬間に限り)、前の駒は後の駒の性能になる。
- ・前の駒は後の駒の性能が変わっていても、後の本来の駒の性能に変化する。
- ・重なりが解消された瞬間に本来の駒の性能に戻る。

- ・すかし詰可(本編に協力詰はありません)。
- ・打歩詰禁止(どんな動きでも)。
- ・二歩禁(筋が変わって動く場合も含む)。
- ・行き所のない駒は可。

凡例(たぶん出て来ない)

全=成銀、圭=成桂、杏=成香

投稿掲載作

22金 同玉 13角成 34玉 24馬 まで 5手

穴熊一家H氏に挑戦 【将棋クラブ 1978/10】

本誌八月号巻末「穴熊一家……」の中に安南将棋のことが書かれていましたのでお便りします。

それによりますとH氏がチャンピオンとか、そこで安南詰将棋を数題お送りしますので、みごと詰ましてください。

かくいう私も今をさること十数年前、これに凝ったものでした。そのため筋は悪くなる一方、おかげで学生名人の夢もはかなく消えたものでした。

H氏もあまり熱中し、棋力低下をまねかない様御注意ください。

(追記) 安南将棋について知らない人が多数いると思いますので、貴誌にて指し方を解説してください。

東京都品川区 大野孝 31歳

★安南将棋の指し方をお知りになりたい方は九月号を御覧ください。詳しくのっております。

ところで大野さん御指摘のとおり安南将棋は将棋の筋を悪くするためには絶好(?)の教材です。H氏など良い例で今では棋力なんでもはなくなってしまうのではないのでしょうか。かくいう私、Fもつい最近H氏に挑戦し、安南名人位を4-1の大差で奪ったくらいですので本将棋の方の先行きは見えているようです。

最後に大野氏の労作安南詰将棋を二題後記しますので、お暇な方は挑戦してみてください。

掲001 大野 孝

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛		一
								王		二
						歩	飛			三
						桂				四
						角				五
										六
										七
										八
										九

持駒 金

安南詰
5手
将棋クラブ
1978年10月号
作品集 曲江
第9番

作品集 曲江

18歳のころのはじめて作。将棋クラブ誌 1978.10読者欄および夢銀河掲載。

詰将棋の世界 齋藤夏雄

日本評論社 2021(令和3年) 3月25日

図1の作品は、5手詰の安南詰です。一見すると、▲2二金の1手で詰んでいるような気がするかもしれませんが。しかし上で述べたとおり、安南ルールでは味方同士の駒が縦に並んだとき、上にある駒の利きが変化します。配置を見ると攻方の桂馬と角が縦に並んでいるため、この瞬間は3四の桂馬は角の利きを持っているのです。したがって、2二には攻方の駒は何も利いていないので、▲2二金と打つても△同玉と取られてしまいます。しかし2二に玉が移動した瞬間、玉方の駒の利きが変わります。2一に桂馬がいるため、2二の玉は桂馬の動きしかできなくなります。さらに2三の桂馬はすぐ下に玉がいるため、玉の動き方に変化します。このように、あくまで直下の駒本来の利きに変化することに注意して下さい。

さて、金を取られてももうどうしようもないように見えますが、ここで▲1三角成という手があります。玉方の駒で今1三に利きがあるのは、2一の桂馬と2三の桂馬です。しかし玉方はどちらで取ることもできません。角が動いたために3四の桂馬は桂馬の利きを取り戻しており、2二の玉に両王手がかかっているからです。玉方が可能な応手は、△3四玉と桂馬を取る手だけです。すると今度は歩のすぐ前に玉が来たので、玉は歩の動きになってしまいます。そこで▲2四馬と横から王手すれば、利きが3五にしかない玉は取ることも逃げることもできず詰みになります。▲2二金、△同玉、▲1三角成、△3四玉、▲2四馬までの5手詰でした。このように、歩や桂馬など、利きが少ない駒の上に玉を移動させて詰ますが、安南詰の常套手段です。

掲002 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
									駒	六
									飛	七
								角	毎	八
									王	九

持駒 金

39金 19玉 37角 同龍 29金 まで 5手

作品集 曲江

もうひとつ大駒図式が続きます。

これも角頭玉の詰上がり。

掲003 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
									料	二
									銀	三
									角	四
									駒	五
										六
										七
										八
										九

持駒 銀銀

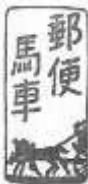
12銀打 同桂 22銀 同玉 13角成 33玉 24馬 同桂 34銀生 まで 9手

作品集 曲江

18歳の時の作。

あと3手ですよ、から考えた人多数。

収束の手筋を見つけたときはヤッタと思いました。近代将棋誌読者欄掲載。



掲004 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

76龍 97玉 96龍 88玉 98龍 77玉 76馬 同飛 88龍 まで 9手

作品集 曲江

2手目同飛は同馬 95玉 94飛まで。

気に入っている大駒図式です。

近代将棋誌および夢銀河掲載。

安南詰将棋 【近代将棋 1981/2】

「郵便馬車の馭者だった 俺は若くて力持ち
そこは小さな村だった 俺はあの娘に惚れていた」

中央大学将棋部を卒業した次の年、赤旗日曜版主催の全国大会決勝で北海道代表の桜井さんに敗れ、第二位の涙とともに、その頃通った新宿の歌声喫茶で唄ったロシア民謡の一節です。このページのタイトルを見るたびに十年前のことが思い出されます。

今回は初心者向けを中心に三題お送りします。

東京都品川区 大野 孝

掲005 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									料	一
									王	二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 飛飛銀

安南詰 5手

近代将棋 1981年2月号

作品集 曲江 第10番

12銀 同玉 22飛 同玉 24飛 まで 5手

作品集 曲江

これも初期のころの作。すかし詰です。
近代将棋読者欄掲載。

掲006 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀	一
								飛	二
								飛	三
								王	四
						馬			五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

近代将棋
1981年2月号

作品集 曲江
第16番

持駒 なし

12飛成 同角 13飛成 同桂 25馬 まで 5手

作品集 曲江

2手目は同飛成 同桂 25馬まで。
強引に桂頭玉。近代将棋読者欄掲載。

掲007 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								馬	銀	一
								王		二
								王		三
								馬		四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
7手

近代将棋
1981年2月号

作品集 曲江
第74番

持駒 飛銀

12飛 同歩 33銀 13玉 23馬 同桂 24銀成
まで 7手

作品集 曲江

2手目21玉は32銀 12玉 21銀生まで。
最後の3手はよく出てくる手筋です。

掲008 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
								銀	銀	二
								王		三
										四
								銀	銀	五
								飛		六
								角		七
										八
										九

安南詰
7手

詰バラ
1995年9月号

作品集 曲江
第75番

持駒 金

24金 同玉 44飛 23玉 24飛 13玉 23飛成
まで 7手

[担当：筒井浩実]

☆初手56飛が目につきますが14玉と逃げられると、15歩が24にきいて詰みません。

☆作意はあまり安南らしくない手順で、その分最後の1手詰が見えにくくなっています。

尾形充一6手目まで進めてあきらめていた。

佐藤善起一桂香歩の上に玉が乗る変化が皆無の安南詰は珍しい。

シェリーーこの詰上りは新鮮。

千葉肇一変化を読まなければいけないが、ほか詰みたい手順。

佐藤行夫ーこんな詰上りもあったか。初手56飛にハマった。

☆内容的にやや納得のいかないところもありますが、本作のみの解答者がいたのでよしとしよう。

作品集 曲江

3手目は普通の両王手。収束は安南特有の両王手。最後生は14玉 24飛成 同歩で逃れ。

掲009 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							我	一
					金	我	二	
						王	三	
							四	
					金	驥	五	
							六	
							七	
							八	
							九	

持駒 飛銀銀

23飛 同桂 14銀 同龍 24金 ①同桂 22銀 12玉 21金 まで 9手

①同龍は14銀迄。

[担当：筒井浩実]

☆初形で玉は桂の動きになっていますが、25玉とされてしまうとつかまらないので注意が必要です。

☆三連続捨駒は退路封鎖のためなのですが、5手目の24金は手がかりをなくすようで、かなり指しにくかったのではないのでしょうか。

☆手数こそ9手と短いもの見所たっぷりの佳作だと思います。

作者-上部をふさいで下部で収束。焦点の金捨て。不動駒なし。短手数の割にはうまくまとまったと思います。

草薙登志夫-玉を桂にして詰めるものと思ってしまったので詰上りは意外でした。桂が2枚とも跳ねるのは気持ちのいい手順ですね。

新渡戸宍成-手が限られているが24金は気づきにくかった。

藤沢秀樹-24金のすり込みがいい感じ。

小林理-24金と21金が安南らしく気持ちいい。

原田清実-安南らしい詰上り。

梶田隆行-白紙解答を救ってくれた大野氏に感謝。

作品集 曲江

24金のすり込みがいい味、同龍は頭銀まで。

掲010 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						我	驥	一
						我	二	
						桂	と	三
						王		四
								五
						龍	角	六
								七
								八
								九

持駒 なし

35角 13玉 16龍 22玉 44角 23玉 33角成 同玉 36龍 まで 9手

[担当：筒井浩実]

☆特に難しい手もなく、解きやすい作品だと思います。

☆龍が初形の位置に戻って一枚で詰むことと、角の小さきみな動きが印象に残りました。

岩本修-おおっ、スーパー詰将棋だ。

佐藤善起-珍しい安南の透かし詰で、難解だった。

水野亜美-3手目は露骨だが気持ちのいい両王手。

加賀孝志-かしこはすかし詰よかったのかしら？ もう少し妙手を。

☆ばか詰ではすかし詰はダメですが、かしこ詰ではOKです。どのルールもすかし詰不可にした方がすっきりするとは思いますが。

作品集 曲江

すかし詰。

掲011 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
角	我							一
								二
	我							三
	桂							四
		銀						五
	桂					皇		六
								七
						王	我	八
							飛	九

持駒 飛金

余詰

安南詰
11手

詰バラ
1996年10月号

㊦37飛 29玉 19金 同玉 39飛 91玉 82桂成
同玉 94桂 同玉 99飛 まで 11手

[担当：筒井浩実]

☆玉の対角線の動きが狙いとのことだが、ちよっと大げさな配置のような気もする。

*㊦49金 47玉 87飛 57合 46角成 まで

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
角	飛							
飛								
桂								
		銀						
	桂						皇	
			龍					
					王		馬	
						飛		

安南詰
11手

作品集 曲江
第111番
2017年6月

持駒 飛金

作品集 曲江

王が大きく動くだけの作。

今になって余詰発見、57銀追加。

掲012 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				飛	皇			
					飛			
					王	銀	角	
			龍					
			飛		龍			
				王				

安南詰
11手

詰バラ
1996年10月号

持駒 金金

44飛 同桂 45金 同飛 25角 同桂 35金 43玉
33銀成 同桂 34金 まで 11手

[担当：筒井浩実]

☆46に逃げられると捕まらないので、その点に注意しながら進めます。

☆飛金角の捨駒で飛銀を無能化し、35金と押さえつけて玉を歩の動きにします。

☆そして最後は金の単騎詰。安南詰では攻方一枚で詰ますのはさほど珍しくありませんが、気持ちの良い詰上りです。

加賀孝志ーキメが細かい。安南の特徴がよく

でている。

山岸幸徳ーものすごく独創的。桂の乱舞といい、詰上りの妙といい、満点。

尾形充ー35金のところ23金ばかり考えて手間どった。

作者ー46玉を阻止しながら35金を実現させる、これがテーマです。

改良図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					皇			
						飛		
						王	銀	角
			龍			飛		
							龍	

安南詰
11手

改訂版 第92番
2000年7月

作品集 曲江
第114番

持駒 飛金金

44飛 同桂 45金 同飛 25角 同桂 35金 43玉
33銀成 同桂 34金 まで 11手

作品集 曲江

4手目同桂は25金 43玉 32角まで。

7手目23金と打ちたくなりますが詰みません。

9手目油断して34金は同桂で逃れ。

バラ1996年10月号掲載時とは一部変更しています。

掲013 大野 孝

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					角			
					飛			
							皇	王
					龍			

安南詰
7手

詰バラ
1998年5月号
懸賞④

持駒 銀

27銀 同馬 19龍 同玉 49飛 18玉 19飛
まで 7手

[担当：筒井浩実]

☆46角、47飛の形が動くことによって46角が復活して王手することが見込めるので、一種のバッテリーです。

☆従って、そのバッテリーラインに誘い出します。

花田勉－飛を引いた瞬間、角が正常の利きに戻って両王手ってわけね。

佐藤司－フェアリーでも両王手は気持ちよい。

原田清実－そうか、19龍迄じゃないんですね。

掲014 大野 孝

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰パラ
1998年5月号
懸賞⑤

持駒 金

38龍 ①同馬 19金 同玉 17飛 29玉 19飛
まで 7手

①28合は29金 17玉 28金迄。

[担当：筒井浩実]

☆こちらも同様なのだが、初手に龍を捨てるのは意外だったようだ。①の変化で46角の利きをうっかりしやすせいもあっただろう。

花田勉－④が左からなら、こっちは上から。

滝本幹夫－初手の発見に時間がかかった。

原田清実－なのにこちらも19金迄と思ってしまふって。

☆④⑤セットの短評があったので以下に掲げる。

伊東史郎－④⑤とも、47飛を動かし両王手を狙う。

柿久桂古－姉妹局、うまく出来ている。

観月愛－僕は図面を見ながら考える派なので別図出題は賛成。セットで解がひらめき解後感が良い。

☆ツインと2解は、2つの解で何かを表現していないと価値がないですが、今回の作品の場合、手順が同調して詰上りもエコーに

なっているので、ツインにする意味はあるでしょう。

佐藤善起－一般詰だったらコンピュータでもないといけない余詰がありそうだが、安南はこの点どうなのだろうか。

☆ドキッ。実は両題共余詰。

④初手より19銀 同馬 同龍 同玉 27飛以下。

初手36角以下もあり。

⑤初手より17金 28玉 48飛 17玉 37飛以下。

初手19金 (29金) 以下もあり。

指摘・双方解－岩本、江垣。

掲015 大野 孝

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰パラ
1998年10月号

持駒 飛金

①15銀 同馬 23飛成 同角 24飛 同馬 25金
まで 7手

[担当：筒井浩実]

☆26から逃げられては捕まらなくなってしまうので、26を押さえながらの連続攻撃をすることになります。

☆こういう感じの作品は、安南ではよく見かけますが、流麗な手順なので何遍見ても見飽きません。

☆ところで余詰がありました。

①16飛 同馬 13飛成以下。

15合は同銀～24金。

双方解は江垣、駒井、藤岡の3氏。

☆作意解者の短評です。

弘光弘－軽快な捨駒が気持ちいい。

加賀孝志－捨駒にリズムありこちよい。

黒沢信弘－華麗な捨駒が続く。

高橋耕之助－玉を26へ逃がさない手の連続。

花田勉－本来の3駒の焦点打だが、どれでも取れないユーモア。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							龍	糸	二
								科	三
							毎	王	四
								留	五
								銀	六
									七
									八
									九

持駒 飛金

15銀 同馬 23龍 同角 24飛 同馬 25金
まで 7手

作品集 曲江

いきなりの銀捨てから捨駒が続いて、馬の無力化を実現します。
投稿時は33飛の配置だったために余詰。
修正しました。

掲016 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							馬	科	二
							垂		三
								桂	四
								銀	五
									六
									七
									八
									九

持駒 香香香香

14香 同龍 22馬 同金 12香 同龍 23香 同龍
12香 まで 9手

[担当：筒井浩実]

☆22馬の捨駒が強烈ですが、初手から実行すると同玉 32桂成に対して14玉でも34玉でも詰みません。そこで14香と打ち捨てて15龍を14に移動させてから22馬を決行するのが手順となります。これで22同玉 32桂成 34玉 45金迄を用意しました。
☆作意の同金に対しては、一旦12香とするのが肝要で、すぐ23香だと24龍と元を抜かれてしまいます。
滝本幹夫ーこれでは龍も金も弱い駒になって

しまった。

高橋耕之介ー手順が大切。

山口勇ー初手14香など、細かい読みが必要ですね。

佐藤善起ー龍が14にいて23香とすると、24龍とモトを取られる。

☆細かく見れば不満な点もありますが(14香捨ての意味付けのダブリなど)手筋を上手に用いて持駒趣向にしている辺りはさすがに手なれたものと感心します。

作品集 曲江

ちょっとむりやりの持駒趣向。

12香を入れないと24の桂を抜かれる。

掲017 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								皇	二
								科	三
								王	四
							垂	科	飛
							樽	樽	五
									金
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角桂桂

33飛 同桂 13角 35玉 34飛 同玉 ④46桂 同銀 24角成 同桂 26桂 まで 11手

[担当：筒井浩実]

☆35に逃げられないように攻めたいのですが、どうやっても逃げられてしまいます。そこで33飛の準備工作のあとで両王手を狙って13角が妙手。14銀と根元を取れば24角成迄です。以下も手筋を使って詰め上げます。
加賀孝志ー妙手のかたまり。大駒の捌きがよい。

大橋雅道ー安南ならではの13角。好作です。
林八江子ー24角成が判らずあきらめかけた寸前やっと気付く。

藤岡靖朝ー角打から34飛の両王手が解き明かす糸口。

S u bー苦心の程が偲ばれます。

☆残念ながら余詰。粗検深謝。

④12桂 23合 24角成迄

余詰

安南詰

11手

詰バラ

2000年9月号

安南詰

7手

改訂版 第77番

2000年7月

作品集 曲江

第77番

安南詰

11手

詰バラ

2000年9月号

安南詰

9手

詰バラ

1999年10月号

作品集 曲江

第99番

双方解－佐々木浩之、20歳浪人、忍者うどん、藤岡靖朝。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	飛	一
							科	王	二
							王	飛	三
							科	飛	四
							科	飛	五
								金	六
									七
									八
									九

安南詰
11手
2004 第12番
2004年9月
作品集 曲江
第113番

持駒 飛角桂桂

作品集 曲江

4手目14銀は24角成まで。途中で両王手が入ります。掲載時に余詰あり11歩追加。

掲018 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							龍	科	一
							銀	母	二
							王	母	三
							銀	王	四
							科	飛	五
							科	飛	六
								角	七
									八
									九

安南詰
11手
詰バラ
2000年10月号
作品集 曲江
第116番

持駒 桂

14銀成 同桂 33銀生 15玉 24銀生 同角 35龍 同角 24銀 同角 27桂 まで 11手

[担当：筒井浩実]

☆凝り形をほぐして初手は14銀成。同桂に対しては桂の上に玉を追い込み、27への飛のききをなくすべく執拗に24を攻めます。最終的に27へのききがなくなったところで27桂で幕となります。

上田安夫－玉を桂頭にのせ、35のハスをハズス。

原岡望－33銀生から24をしつこく攻める。

加賀孝志－狙いの一貫性、安南らしさがよく出ている一局。

忍者うどん－銀取りが強引ですが、取った駒は捨て駒すればOKとする私と同じタイプ

かも？

☆実は本作、余詰順を作意に昇格させたもの。あるいは作風とは微妙にずれているかもしれません。

作品集 曲江

2手目同玉は23銀生まで。6手目同銀は27桂まで。しつこく27桂を狙います。

掲019 大野 孝

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
								並	二
							と	並	三
							角	王	四
							金		五
							飛		六
								歩	七
								桂	八
								角	九

安南詰
9手

詰バラ
2001年8月号

持駒 なし

24金 15玉 14金 同玉 26桂 同歩 36角 同龍 15歩 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆このままの状態だと、16に逃げられてしまうので、まずは34角のききを復活させます。その後は桂角と捨てて突歩詰の仕上げです。八尋久晴－突歩詰とは意外。3手目の両王手が好手。

忍者うどん－配置で一瞬とまどうが、手順は素直でしたね。余詰は大丈夫でしょうか？

☆それが大丈夫ではありませんでした。

余詰－3手目より25角 同龍 同金 同玉 23飛以下。

双方解－大橋雅道、神無太郎。

☆作意が素直で大きな波乱がなかったのは幸いでした。

宇治正子－8手目25銀合と指し、最終手に対しては15同歩で逃れかと思いましたが、二歩です。

佐藤宜多－邪魔駒消去の印象が強烈。歩の頭に逃げるのなんか初めてみた人はびっくりするでしょう。

S u b－迷路がいっぱい。解後感も暑気払い。今川健一－駒の利きがめまぐるしく変わる、

年寄りについてはいけない。
原田清実一駒の性能がわからぬまま34角を生かそうとしたらなんとか解けた。

修正図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								二	二
								三	三
								四	四
								五	五
								六	六
								七	七
								八	八
								九	九

持駒 なし

作品集 曲江

8手目銀合も二歩禁のため15歩まで。

掲載時余詰、32金追加修正。

安南詰

9手

2004 第5番

2004年9月

作品集 曲江

第98番

忍者うどん-25銀に二重の意味があるのは残念ですが、鮮やかな収束で気分よし。
☆㊦23玉と㊦23合の変化に備えています。
大橋雅道-2手目同玉の変化に苦しんだ。
☆飛が馬になるまで16には逃げられません。

修正図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								二	二
								三	三
								四	四
								五	五
								六	六
								七	七
								八	八
								九	九

持駒 歩

*余詰手順5手目25銀もあり再修正。

安南詰

11手

作品集 2004

第11番

2004年9月

の再修正図

掲020 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								二	二
								三	三
								四	四
								五	五
								六	六
								七	七
								八	八
								九	九

持駒 歩

余詰

安南詰

11手

詰バラ

2001年10月号

掲021 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								二	二
								三	三
								四	四
								五	五
								六	六
								七	七
								八	八
								九	九

持駒 桂

安南詰

9手

詰バラ

2002年2月号

作品集 曲江

第101番

㊦25銀 ㊦同金 13角成 同玉 14歩 ㊦12玉 35馬 ㊦同金 32飛成 同龍 24桂 まで 11手

㊦同玉は35馬 14玉 13角成迄。

㊦23玉は33馬 22玉 13歩成迄。

[担当：片岩裕貴]

☆盤上の攻駒を次々に捌いて行って桂吊しという痛快な作意でしたが惜しくも余詰。

余詰-㊦42角成 24合 同馬 同金 同飛 同龍 25金 同龍 同銀 同玉 26飛 15玉 27桂 16玉 15桂 同玉 25合 14玉 15歩以下。途中変化あるも捕まっているようです。粗検陳謝。

双方解-神無太郎

☆作意解者の評です。

㊦96金 ㊦同桂 86角 同金 87飛 ㊦同金 89桂 同龍 88角 まで 9手

㊦同玉は85角として95玉には77角、97玉には88角。

㊦同龍は89桂迄。

㊦87角は86玉 76角 88歩以下逃れ。

[担当：片岩裕貴]

☆普通の詰将棋では決してお目にかかれない初形に思わず顔が綻ぶ向きがあるかどうかはともかくとして、隅の攻駒4枚のブロックがどのように動くか、どのように動かすかが気にかかる所です。しかし、いきなり動かすのは駄目で、まずは軽く金捨てから入りま

す。①の変化での99角の2通りの動きが味が良いと思います。同桂と決まれば懸案の飛角を大胆に捌き捨てて、桂で穴を塞いで両王手で締めます。詰め上げてみれば九段目の攻駒が消えた形になっていて、一種の美しさを感じさせます。

山口勇ーややこしかったけど、最後かっこいい。好作と思います。

中村増一ー2手目同玉の変化が非常によくできている。

あーくんー99角を動かして玉の死命を制するためにまわりの駒を捌くのだが、これが一苦労。

ウルズ24ー安南でしか創れない詰上り。

駒井信久ー凝り形捌いて気分よく両王手。

佐藤善起ーコテコテの安南初形に詰上りがまたすごい。

今川健一ー玉を跳べなくしての、88角の両王手。シビレタァ！

平西奈緒ー最終手で詰んでいるのがしばらくわかりませんでした。

☆多くの人が短評の中で詰上りについて触れていました。フェアリーメイトで、かつ両王手の詰上り、しかも両王手も安南ルールを活用したものということで、連続捨駒の手順と相俟って、解後感はかなり良かったのではないかと思います。

作品集 曲江

2手目同玉は85角で95玉は77角まで。

97玉は88角まで。

掲022 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
							王	一
							香	二
							桂	三
							飛	四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
13手

詰パラ
2002年10月号

作品集 曲江
第124番

持駒 銀銀

31銀 同角 34桂 12玉 21銀 同歩 22香成 同

歩 23飛成 同歩 22桂成 同角 24桂
まで 13手

[担当：片岩裕貴]

☆初手いきなり34桂では31玉から逃げられてしまうので、31銀で穴を埋めてから桂を取ります。12玉とさせてからの一連の手順が本局のハイライトとなります。

☆まずは21銀ですが、同歩と取らせることによって二歩禁により13歩の2筋へのききを無効にします。続いて香飛桂と次々に捨てます。これは全て24桂を打ちたいがためで、2筋に歩を残しておかないと最後の24桂を13の歩で取られてしまうので、この気持ちのいい手順が成立します。最後は角化した歩の頭への桂の単騎詰で抜群の解後感です。

大橋雅道ー捨駒の連発で詰上りも面白い。

好作。

24ー収束の仕方が面白い。

高橋耕之介ー二歩禁利用した面白い手順。

加賀孝志ー駒の捌きが旨い。二歩禁の狙いを含め楽しめる作。

柿久桂古ー安南独特の駒の動き面白い。

S u bー計算し尽くされた完成品。

作品集 曲江

2手目33玉は42銀打 同角 同銀生まで。

2手目21玉は22銀打 12玉 21銀生まで。

4手目33玉は35飛まで。

8手目同角は 同桂成 同歩 21角まで。

二歩禁利用の作。玉方の歩がよく動く。

収束は気持ちがいい。

掲023 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
							王	一
							香	二
							桂	三
							飛	四
							角	五
							桂	六
							銀	七
								八
								九

安南詰
13手

詰パラ
2003年10月号

作品集 曲江
第123番

持駒 なし

①13角成 ①同玉 25桂 24玉 26銀 13玉 15

銀 12玉 22歩成 同角 23桂成 同龍 24銀
まで 13手

- ①他の駒で取るのは21飛成。
- ②22歩成は同角 13角成 同桂以下逃れ。

[担当：片岩裕貴]

☆2筋3筋の縦に連なった攻め駒が好手順を期待させる初形です。初手から飛角を犠牲にして銀桂を前線に繰り出していきます。いったん、24まで出てきた玉が元の12に戻るしかないというのが面白いところです。銀桂の配置を整えたあとは、軽快に連続捨駒で玉方の大駒を無能化させて爽快に収束します。このような収束は安南詰の醍醐味を大いに感じさせてくれる収束と言えるでしょう。

弘光弘一銀と桂の進んでいく様子がおもしろい。収束の連続捨駒もよい。

k z -セっかくの歩の利きの12玉をフラフラと上に泳がせるのが難しい。

あ一くん一形を整えてから元に戻して、最後は桂2枚で仕留める。詰上りはコンパクト。原田清実－これだけ縦に駒が並んでいるとわけがわからなくなって一苦労。

作品集 曲江

2手目同桂（同龍）は21飛成まで。

4手目14玉は 26銀 13玉 15銀まで。

銀、桂が前進しての例の詰上がり。

掲024 大野 孝

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
								王	二
								桂	三
								歩	四
								飛	五
								銀	六
								角	七
									八
									九

持駒 なし

16歩 14玉 12飛成 同金 15歩 13玉 14歩 同玉 17飛 同角成 15香 25玉 16角
まで 13手

[担当：片岩裕貴]

☆上記のアクロパティックな詰上りの手順が作意でしたが、初手より25歩 26桂合（前に利く駒は同飛 14玉 12飛 同金 15合打 13玉 14角）17飛 25玉 43角 17玉 16角成 18玉 27馬迄の余詰。そのほかにも、5手目17飛同角成 15歩 以下作意同様の余詰もありました。粗検深謝いたします。

☆双方解はあ一くん、市村道生、松さか子の3氏。余詰解7名。

☆全部言わせてということで作意解の原田さんの一言です。

原田清実－ここでこんな風に詰むとは。安南は面白い。

掲025 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	龍		角						一
					金				二
	角	桂	王						三
									四
			桂						五
			銀						六
									七
									八
									九

持駒 飛

54飛 62玉 74桂 73玉 75銀 ①同桂 82桂成 同飛 72角引成 同飛 84飛 まで 11手

②62玉は63桂成～72角成。

[担当：片岩裕貴]

☆初手55銀と出て行くのが有力そうに見えますが、42金と63桂の守備力が強く詰みません。55銀がうまくいかないとなると54飛は妥当なところですが、以下の手順は安南らしい手をふんだんに盛り込んだ華麗な捌きになります。最後は玉を飛の動きに変えて詰めますが、このとき初手55銀の紛れで強力な守備駒として働いた桂が玉の退路をふさぐ駒になってしまうのがなんとも皮肉です。

村田秀作－75銀がなかなか出ずてこずった。

この一手が重要だった。

佐藤宣多－初手55銀は手が続くけどそっぽかな。玉を飛の上に乗せる詰上りは意外性あり。

森美憲－初手に打った飛車が最後に動いて詰むのがよい。

柿久桂古－安南は暗算では難しい。

☆安南と暗算とで韻を踏んでいるのでしょうか？ ラップ感覚の短評？

作品集 曲江

4手目71玉は72角成まで。

6手目62玉は63桂成 同玉 72角成まで。

8手目本譜以外は72角引成まで。

途中の75銀が大切です。飛頭玉の詰上り。

掲026 大野 孝

余詰

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 17手
三

四 詰パラ
五 2004年10月号

六
七
八
九 作品集 2004
第16番

持駒 角金

①16香 同玉 26金 15玉 24銀生 同香 17飛 26玉 37金 同銀生 16角 38玉 18飛 47玉 25角 同香 59桂 まで 17手

[担当：片岩裕貴]

☆まずは香から金への打ち換えから入ります。24銀を入れてからだと桂が香の動きになるので金が打てなくなります。金に打ち換えたあとで24銀とするのは37への利きをはずすためです。その後、17飛の両王手から上に追い出して詰ますのですが、37金に同銀生がささやかな抵抗。最後は18飛の2回目の両王手から桂を奪って収束となります。

弘光弘－24銀生がおもしろい手。

市村道生－鮮やかな手筋の連発。入玉にかかわらず、さわやかな作品。

今川健一－初手に24銀を考えて、苦勞。収束の銀生も好手。

☆余詰がありました。

③34角で24歩は同銀 同香 16歩 14玉 17飛 15合 同歩 13玉 12金迄。24桂は16香 同玉 26金 15玉 29飛 14玉 24銀成 同角 32角以

下。

☆余詰指摘は加賀孝志氏。双方解はなし。粗検陳謝。

修正図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 17手
三

四 作品集 曲江
五 第126番
六 2017年6月
七
八
九

持駒 角金

作品集 曲江

2手目14玉は15金 13玉 31角以下。

6手目同玉は13角まで。

10手目銀生が玉方の抵抗。110番（11手）からの昇格作。掲載時余詰修正。

掲027 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 11手
三

四 詰パラ
五 2006年10月号
六
七
八
九

作品集 曲江
第117番

持駒 角桂歩

①13角 ①同玉 12銀成 ②同金 14歩 24玉 16桂 同と 34飛 同龍 15角 まで 11手

①21玉は61飛成 31歩 14桂迄。

②同玉は14飛（両王手）以下。

③24玉は36桂 同龍 14飛迄。

④52飛成は42歩 13角 同桂以下逃れ。

⑤14桂打は13玉 31角 24玉 34飛 同龍 15角 16玉で逃れ。

[担当：片岩裕貴]

☆本作の売りはなんといっても詰上りにあります。途中、14歩と打つ手は間延びした手の

ようにも感じられますが、この歩が詰上りで36への脱出を防ぐ役割を果たすとは誰が想像できたでしょうか。一見、つなぎのように見えた14歩が最後に働いたことで、作品として一本筋が通った印象です。

太田啓好－特に3手目と最終手がいい！
市村道生－内容充実の名作。終形にゾッコン惚れ込む。

高橋達也－打ちにくい14歩が最後に光る。
浜崎歩－大模様にも納得の妙手順。縦長の安南は駒の利きの確認が必要です(笑)。

☆なるほどと思った短評です。安南はその性質上、縦長の構図の方がいいのかも。

作品集 曲江

2手目21玉は61飛成 31合 14桂まで。4手目同玉は14飛 22玉 11飛成 同玉 12金まで。4手目24玉は36桂 同龍 14飛まで。ボケた14歩がポイントです。

掲028 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								飛	二
		角							三
									四
								銀	五
									六
			角	歩					七
								王	八
									九

安南詰
7手

詰バラ
2009年9月号

作品集 曲江
第78番

持駒 なし

27銀 同玉 18飛成 47玉 46角引成 同飛 58龍 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆あまり変化・紛れはないですが、玉を飛にして飛ばし、再度飛にして詰めるのは面白いアイデアです。

西村恒雄－この収斂するスピードには驚き。
小林巧－46角成が妙手でした。王様は玉→飛→玉→飛で詰みました。
小島幸喜－飛に変身も意外に狭い。

作品集 曲江

大きな初形からあつという間の「テトリス」。

掲029 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							飛	王	二
									三
									四
						金	桂	角	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

詰バラ
2009年9月号

作品集 曲江
第96番

持駒 なし

13桂成 同玉 24金 12玉 23金 同玉 32飛成 同角 33角成 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆飛の力を背景に玉を歩の上に乗せて、最後は飛を捨てての収束がうまいです。飛捨ては43だと同角ではなく、33金合で詰みません。佐藤善起一次次と捨てて詰み上がる。波多野賢太郎－桂金飛と捌けて気持ちいいです。

弘光弘－32飛成が気の利いた捨駒。

作品集 曲江

詰上り「テトリス」。5手詰からの逆算昇格作。
7手目43飛成は33金合で逃れ。
7手目33角成は同歩で逃れ。

掲030 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								王	二
							金		三
								角	四
							桂		五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰バラ
2013年10月号

作品集 曲江
第76番

持駒 歩

22金 同玉 13歩 21玉 33桂生 12玉 23角成 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手平凡に32金とすると、12玉とされて、次の24玉を防ぐには23角成しかなく、同桂に

24歩や13歩は打てますが、あとひと押しが足りません。また、ほかの初手で33桂生は31玉で次の32金が王手にならず、13桂生は王手になっていません。

☆手段に窮したかと思うところですが、要の駒に見える23金を22金と捨ててしまうのが好手。同玉と取られて、持駒歩だけでは捕まらないようにも見えますが、13歩と打つと桂と角がよく利いていて、これで逃げられません。21玉はせめてもの抵抗ですが、33桂生で12玉とさせれば23角成が両王手でフィニッシュとなります。

武田静山－初手が勇気のいる一手。
大橋雅道－32金が駄目なら22金しかないのになかなか指せなかった。

山本強志－初手は32金の一手と思ひ込んで苦戦。安南ならではの両王手の詰上りで解後感は良好。

市村道生－最終手が心地良い妙手。最高の詰後感。

西村恒雄－金を捨てる手、歩での王手、歩の前への12玉と最後に考えた手ばかり。

小林巧－二つの「桂」の力に「敬」服。

尾形充－こういう小品を作りたい。

作品集 曲江

5手詰めからの昇格作。歩を金にしたら投稿レベルになりました。

初手22歩は打歩禁。初手33桂生は31玉で32金は王手でなく、初手13桂生も王手になりません。一目の32金も12玉でイマイチ詰みません。

掲031 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							飛	一
							馬	二
							飛	三
							王	四
							銀	五
								六
								七
								八
								九

安南詰
9手
詰バラ
2014年3月号
作品集 曲江
第95番

持駒 歩

15銀 同玉 26飛成 14玉 15歩 13玉 24龍 同銀 14歩 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手15歩は打歩詰だし、25銀は15玉で平日手模様ということで、初手はぐいっと銀を捨てます。同玉の一手に26飛成と上を押さえて、15歩 13玉と追った局面がポイントの局面です。

☆ここでは玉が角の動きになっているので上への大脱出を防がなければいけません、龍を捨てて14歩と突き出すのが気持ちのいい手順です。流れの中で15歩と打たなければいけないので、厳密な意味での先打突歩詰とは違いますが、それでも気持ちのいい手であることには変わりありません。

西村恒雄－13玉と角になった瞬間に24龍でフタをして袋のネズミ。

竹中健一－24龍が安南らしい決め手ですね！
八尋久晴－玉が13に来ると角になって一瞬逃げられそうな気になる。

秋元節三－すっきりした手順で安南を楽しめた。

大橋雅道－安南は最終手だけですが決まります。

中沢照夫－鮮やかな突歩詰。

作品集 曲江

ヒモの付かない突歩詰の第一号。

初手15歩は打歩禁。

初手25飛成は同銀 同飛成 13玉以下逃れ。

掲032 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛				皇				
		王						
		皇	飛					
		桂	皇	皇				

安南詰
11手
詰バラ
2014年10月号
作品集 曲江
第119番

持駒 角

71飛成 同玉 93角 72玉 82角成 63玉 62桂成 同玉 72馬 61玉 63飛成 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆初形にぎょつとした方もいらっっしゃったかもしれませんが、安南なので王手はかかっていません。

☆このままだと73玉と飛を取られてしまうので、71飛成(成生非限定)と玉は下段に落とします。同玉に93角から馬を作りますが、63玉で今度は右辺に逃げられそうです。

☆しかし、ここで62桂成が飛の動きを復活させながらの両王手で、同玉の一手に72馬と追撃します。部分的には2枚飛車の形なので61玉とするよりないですが、63飛成が馬の動きを復活させながらの両王手第2弾で気持ち良く詰め上がります。

奥野眞－紛れが多く、今月一番難しかった。

初形に加え詰り図も奇異。

大橋雅道－安南の味十分の好作。

中村増一－62桂成が絶妙のタイミング。

山下誠－龍と馬の両王手で、安南らしい迫力ある幕切れ。

佐々木寛次郎－最後の飛が成る所には金も銀も利いているのが、ちょっと憎い。

海賊王－普通ではありえない両王手がおもしろい。

原岡望－両王手で仕上げ。

山本強志－最後の1手までゆるまない。安南ならではの両王手。

佐藤宣多－2度の両王手がどちらも目の覚めるような切れ味。

秋元節三－解いてなお自信がない。

作品集 曲江

序がものたりないですが、62桂成からが2度の両王手で一気に収束。

掲033 大野 孝

余詰

								9	8	7	6	5	4	3	2	1			
														と	銀	毎	王	一	
																	毎	二	
																	王	三	
																	王	四	
																	桂	五	
																	歩	六	
																		七	
																		香	八
																			九

安南詰
11手

詰バラ
2014年10月号

持駒 なし

22銀生 同玉 14桂 13玉 15歩 22玉 13桂成 同玉 ①14歩 22玉 13歩成 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆初形では15桂は歩の動きになっているため、王手は22銀しかありません。こんな状態で詰むのかどうか不安になりますが、よく見てみると、玉も初形では角の動きで、24と33に歩がいるため、13と22の往復しかできないことがわかります。

☆そのからくりがわかってしまえば解けたも同然で、自然な手順で1筋の駒をほぐしていけば自然と詰んでしまいます。

☆難解性は皆無ですが、趣向的な手順で文句なく楽しめる作品だと思います。

和田裕之－尺取り虫? こんな攻駒でどうなるのかと思ったら玉が全然動けないのだった。

「一見逃げ放題に見えますが、安南なので2箇所しか行けません。」

竹中健一－これ楽しい!

安原嗣治－玉が右往左往する楽しい安南。

今川健一－一步一步と歩が登る。千里の道も一歩から、ですね。

鈴木彊－14桂から13桂成が印象的。桂が一歩ずつ前進する。

大橋雅道－安南の一本道詰将棋の楽しい詰手順です。

奥野眞－ほぼ絶連なので易しいが、安南の醍醐味を魅せてくれる好作。

原岡望－しつこい攻め。

西村恒雄－桂の機能の変化が面白い。

☆余詰がありました。

①16香 22玉 13歩成迄。粗検陳謝いたします。
 作意解+余語指摘は池田、市村、佐藤宣、須川、西村、原岡、弘光の各氏。
 ☆24歩→24桂くらいで修正できていると思いますが、いかがでしょうか。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1			
							と	銀	毎	昇	一
										毎	二
										昇	三
										昇	四
										桂	五
										歩	六
										銀	七
										香	八
											九

持駒 なし

作品集 曲江

一本道詰将棋です。

掲載時は17銀がなく不完全でした。

掲034 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1			
										昇	一
										昇	二
										昇	三
										昇	四
										昇	五
										留	六
											七
											八
											九

持駒 飛2金2銀2

16銀 同馬 25飛 同香 26金 同香 24銀 27玉 18金 29玉 19飛 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆安南詰では、まず初形でどの駒が何の動きになっているのかを把握することが大切です。この図では、14桂が歩の動きに、15玉が桂の動きになっています。このまま27玉と逃げられてはいけなないので、27の地点を意識しながら攻めることになります。

☆まずは16銀と捨てて、同馬とさせて次の25飛が27まで利くようにします。続いて25飛、26金と続けて捨てますが、いずれも同馬と取

るのは馬が香の動きになるため、16銀の一発です。26同香まで進むと、27への逃げは防げませんが、26香型だと27玉のときに玉の動きが香になり手が続きます。
 ☆最後は金飛と並べると、18金が飛の動きになるので2枚飛の詰上りとなります。いかにも安南らしい手順の連続で、典型的な安南詰といえます。

作品集 曲江

無仕掛、それだけの作。

24銀が残るのはイマイチ。

掲035 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1			
										昇	一
										銀	二
										金	三
										王	四
										並	五
										馬	六
										角	七
										飛	八
											九

持駒 歩歩

15歩 ①同玉 16歩 14玉 13金 同歩 23銀生 同桂 24馬 同飛 36角 同飛 24飛 まで 13手

①同飛は36角 25歩合 同角 同飛 24馬 同飛 同飛 15玉 14飛打迄。

[担当：片岩裕貴]

☆収束からの逆算かと思うが、導入部はあまり安南らしくない手順。先に13金とするのは15歩を同飛と取られ、22桂が2筋に利いてくるため詰まない。さすがに収束はキレがある。

作品集 曲江

2手目同飛は36角 25合 同角 同飛 24馬 同飛 同飛 15玉 14飛打まで。

初手から数手は取って付けた感じ。

掲036 大野 孝

									皇	皇	一
									科	科	二
									王	王	三
								飛			四
								香			五
								香			六
											七
											八
											九

持駒 角歩

33角 15玉 14飛 同玉 15歩 13玉 24角成 同桂 14歩 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初形で玉は桂の動きになっていて、15玉の逃げを防げない形ですが、15玉と逃げられた時の両王手を見た33角が巧打です。

☆5手目の15歩は同歩と取られてしまいそうですが、それは二歩になるため取れません。15歩では取られてしまうからと、32歩と誤解された方が何人かいました。

☆15歩に23玉は24角成迄なので13玉と逃げますが、それでも24角成として同桂（12桂は歩の動きなので24には動けない。22桂=香の動きで取る）とさせれば、25銀が桂の動きになるので、14歩の単騎突歩詰となります。

☆安南では単騎詰は珍しくないですが、単騎突歩詰となるとかなりの珍品だと思います。なお、7手目の24角成は成生非限定です。山本強志－突歩の単騎詰。これは気持ち良い。大橋雅道－飛角捨てて安南ならではの14歩。

いいですね。

西村恒雄－角成を避ける13玉に構わず角成で突歩詰。

奥野眞－これぞ安南詰という応酬が見事。

須川卓二－安南らしさをしっかりと感じられる作品。

駒井信久－桂が桂でなくなっているのをついうっかりしてしまう。

佐々木寛次郎－24角成を同桂と取られ真っ青。盤面は15歩だけ。最後の悪あがきで14歩…あれっ詰んでいる。

竹中健一－玉方の駒の働きがひどい！（笑）

作品集 曲江

2手目34銀は24角成まで。

6手目23玉も24角成まで、同歩は二歩禁。めずらしい歩の単騎詰。

掲037 大野 孝

									角	皇	一
									銀	王	二
									銀		三
									香	香	四
											五
									香		六
											七
											八
											九

持駒 香香

13香 同玉 23銀成 同玉 22角成 同香 24香 同飛 32銀生 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆31角の動きを解放するために、初手23銀成や21銀生としたいのですが、いずれも同飛でうまくいきません。13香 同玉としておけば次の23銀成が両王手になる算段で23同玉に応手を限定できます。以下は角捨てで玉の動きを香にして、24香で上を塞げば32銀生迄の単騎詰となります。

作品集 曲江

7手目は歩でいいので、持駒香歩としたいが、手順前後が成立。

掲038 大野 孝

「Subさん風にて」

									王	科	皇	一
									飛			二
									香	香		三
									歩	金		四
									香	香		五
												六
												七
												八
												九

持駒 角銀

42角 ①同角 32銀 22玉 13金 同香 23歩成 14玉 24と 同角 23銀生 まで 11手

①22玉は23歩成 14玉 24銀 同角 同と迄。

[担当：片岩裕貴]

☆初手32銀は42玉で絶望的なので42角と手をつけますが、この42角は限定打で、記載の変化の通り24に睨みをきかせておく必要があります。

☆42同角に32銀、22玉と進みますが、ここで23銀生は24歩がいるため14玉と逃げられてしまいます。ここで取られてしまいそうな14金をぐいっと13金と突っ込むのが好手です。同桂は23歩成迄なので同香ですが、23歩成、14玉と進んだ時に玉が香の動きになるため、以下24とと捨てて23銀生迄の単騎詰となります。

弘光弘－初手の短打がいい。

安原嗣治－桂頭に誘って13金が好手。

山本強志－気持ち良く手筋が決まる。確かにSubさんの作風。

奥野眞－次々と駒を捨てての単騎詰で解後感抜群。

鈴木彊－初手42角に41玉とされたらどうするか、ここで43銀を発見するまで手間取りました。この後は早かったです。

作品集 曲江

2手目41玉は43銀 42角 同銀成まで。2手目22玉は23歩成 14玉 24銀 同角 同とまで。5手目の金捨てが大事。

端に桂香、二歩禁利用と「Subさん風」。

掲039 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	玉
							桂	玉
							金	玉

余詰

安南詰
9手

詰バラ
2017年5月号

持駒 金銀銀桂

24銀 ①同銀 ②22銀 同玉 32金 13玉 23金 同桂 25桂 まで 9手

④22玉は32金 同玉 41銀迄

[担当：片岩裕貴]

☆初形で玉は角の動きなので24銀としてこちらの道を塞ぐのは必然です。以下、22銀～32金でこちらの道も塞ぎ、24銀を桂の動きにして無力化する23金捨てが決め手となります。

☆しかし、④23金打 同桂 同金 31玉 32銀迄の簡単な余詰がありました。双方解は岩本、駒井、須川、占魚、弘光の各氏。粗検陳謝いたします。占魚亭氏によると、42角→51角で修正できるとのことです。

☆短評は割愛させていただきます。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				香	桂	玉		
						玉		
					金			
							香	

安南詰
9手

作品集 曲江
第88番
2017年6月

*結果発表前

持駒 金銀銀桂

作品集 曲江

2手目22玉は32金 同玉 21銀まで。
6手目同玉は44桂まで。最終は桂吊るし。
バラ2017年5月号掲載時余詰、修正。

掲040 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							と	
							桂	玉
						香		
								香
							桂	
								銀

安南詰
7手

詰バラ
2017年9月号

全国大会握り詰
2017年7月16日

持駒 金歩

13歩 同玉 23金 同玉 35桂 同玉 27銀 まで 7手

*全国大会報告記事中の紹介図。

掲041 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							我		一
					毎	飛	金		二
							王		三
						香			四
							飛		五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

22飛成 14玉 13金 同桂 16飛 同銀 23龍
まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆32玉とされてはダメなので初手22飛成は絶対の着手です。14玉の一手に13金と引いて同桂とさせれば、首尾よく玉を桂の上に乗せることに成功します。続く5手目の16飛が好手で、銀を移動させて龍筋を通せば23龍迄の詰みとなります。

☆なお、3手目25龍は龍が飛の動きになってしまうため王手になりません。また、6手目15合は23龍で問題ありません。

掲042 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	我	飛							一
									二
歩	我	香							三
		桂							四
		角							五
		龍							六
									七
									八
									九

持駒 桂

92歩成 同玉 72飛成 91玉 82龍 同玉 93角成 74玉 66桂 同龍 84馬 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆初形「ラ」。初手92歩成から飛を72～82と捨てて82玉型を作ったところでの93角成が、74桂を元の動きに戻しつつ自身でも王手をする安南ならではの両王手になります。桂の動きになっている玉は74玉と桂を取るしかなく、

歩の動きにされてしまいます。以下は66桂で龍を動かし84馬迄の単騎詰となります。

☆初手92桂とすれば82玉の一手ですが、93歩が残っているために93角成の両王手ができません。93角成ができないと、94玉を防ぐことができず捕まらなくなってしまいます。

☆収束はきれいにまとまっていますが、初手と3手目の成生非限定はちょっと味が悪いかと思えます。

作品集 曲江

9番 (5手詰) を逆算で11手詰に。

初形「ラ」の字。

掲043 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								銀	一
					笛	我	香	王	二
									三
						桂	飛		四
						歩	歩		五
						角			六
									七
						香			八
									九

持駒 歩

13歩 同玉 23飛成 同玉 33桂成 同馬 13歩成 同飛 45角 同馬 33香成 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆攻駒が固まっっていてどれがどの動きになっているかを把握するだけでも一苦労といった初形ですが、玉が飛の動きになっているので13歩と打って遁走を防ぐのが急務です。13歩には同玉の一手ですが、23飛成の両王手で同玉と誘い玉を歩の動きにしまいます。

☆以下は凝り形の攻駒をほぐしていくのですが、7手目にうっかり45角としてしまうと、35歩を捌くことができなくなってしまうため詰まなくなってしまいます。恐ろしそうな見た目に反して、爽やかな捌きの作品でした。

作品集 曲江

3手目は両王手。あとは桂歩角と捨てての収束。捨てる順序は手順前後不可。

あまり変化はありません。

掲044 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
7手
詰パラ
2017年10月号
作品集 曲江
第64番

持駒 飛

39飛 同金 28金 19玉 29金 37玉 28金
まで 7手

[担当：片岩裕貴]
☆次に38玉と金を取られてしまつては絶望的
なので、意外と手は限られています。
☆初手28金は39玉と逃げられてしまうので
39飛捨てて塞いでおきます。しかるのちに28
金とすれば19玉の一手となるので、そこで29
金が気持ちの良い両王手となります。このと
き玉は角の動きなので37玉と角を取るより
ないですが、ここは香の動きになってしまう地
点なので28金で詰みとなります。
桂憩一玉の横断をはさむ金の往復がユーモラ
ス。

安原嗣治一金が主役。飛と角が絶妙な脇役。
原田清実一両王手が見えて解けそうだと。
原岡望一角を取られて一瞬焦るが。

作品集 曲江

金の動きがおもしろい。
変化がなく簡単。

掲045 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
11手
詰パラ
2017年10月号
作品集 曲江
第103番

持駒 角金金金桂

24金 同玉 33角 13玉 24金 同飛 25桂 14玉
26金 13玉 15金 まで 11手

[担当：片岩裕貴]
☆大量に持駒があるものの無仕掛で守備も強
そうな初形です。しかし、初手は24金と手
をつけるくらいしかありませんが、対して同玉と
取った場合を考えてみます。

☆24同玉のところでは玉は角の動きなので、
42玉や15玉を防ぐ必要があり33角が絶対と
なります。そこで同玉には24金が好手で、同
飛と取らせれば飛が角の動きになるので44金
迄。また33同香は25金 13玉 24金打 同飛
26桂迄と安南らしく詰め上がりります。

☆よつて33角には13玉と戻ることになるの
ですが、再度の24金には同飛と取らざるをえな
くなり、25桂から安南の公式手順のような手
順で詰みとなります。また、2手目同飛は収
束に短絡するため変化となります。

岩本修一変化手順の味のいいこと。
山下誠一どの変化も安南らしさが出ている。
鈴木彊一序の3手、33角を据えるところが難
しかった。

占魚亭一4手かけて角を設置。還元玉になる
上手い構成。

作品集 曲江

2手目同飛は25桂以下作意に同じ。
4手目同玉は24金 同飛 44金まで。4手目同
香は25金 13玉 24金打 同飛 26桂まで。

掲046 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
7手
詰パラ
2018年3月号
作品集 曲江
第68番

持駒 金桂

31角成 同玉 42金 22玉 15桂 13玉 23桂成
まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆飛の横利きを通すための初手は、まずやってみるところ。対して、同玉以外は52金迄。ここであっさり飛を取らせる42金が好手。以下、15桂～23桂成は安南では習いある手順。☆安南らしいのは収束だけだが、ルールを活かした心地良さはあると思う。

作品集 曲江

これも安南両王手。前にも出てきた収束です。余詰消しの62銀の形がイマイチ。

掲047 大野 孝

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一									
二	金								
三	龍	玉	金						
四	飛								
五	王	玉	歩	馬					
六		桂							
七									
八									
九									

安南詰
7手
詰バラ
2018年3月号
作品集 曲江
第63番
左右反転図

持駒 なし

84飛 同龍 87馬 94玉 76馬 93玉 85馬
まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手87馬はやってみたい手ですが、94玉と飛を取られたときに玉が龍の動きになるため、76馬に34玉などと逃げられて詰みません。☆初手は取られてしまいそうな飛を84飛と捨てるのが焦点の捨駒の手筋で、同金は玉が金の動きになるため87馬迄、同玉は76馬迄なので同龍ですが、これで94玉とさしても龍にはならないので、そこで87馬と引きます。☆94玉には76馬が両王手で93玉と引く一手ですが、このとき84の龍は角の動きなので85馬(85歩)迄の詰みです。☆短手数ながら、鮮やかな捨駒があり、安南らしい駒の動きの変化もあり、気持ちのいい作品と思います。☆最終手は馬でも歩でもいいのですが、かしこ系の最終手余詰なので一応不問ということでいいかと思ます。原田清実—どうやれば両王手が決まるか考え

る。
山下誠—よく見れば、最後は角頭に桂を跳ねた形。

大橋雅道—安南の味充分ですね。
滝本幹夫—安南らしい手順と詰上り。
中沢照夫—密集形なので、安南ルール全開。
須川卓二—初手の伏線が素晴らしい。
田中孝海—初手84飛で後が続く。同玉や同金でなく同龍で93に穴を空けるのがちょっとした工夫で綾を生む。
西野かな—駒の動きがどうなっているのか、よく分からないうちに詰みました。

作品集 曲江 *本図の表記に変更。
2手目同玉は76馬まで。同金は87馬まで。
5手目はおなじみ両王手。
最後の詰上がりは好きな形。最終85歩もあり。

掲048 大野 孝

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一								龍	金
二								飛	
三									
四								王	
五								金	
六									
七									
八									
九									

安南詰
11手
詰バラ
2018年5月号
作品集 曲江
第106番

持駒 角金金銀

13金 同玉 12金 同龍 24金 ①同龍 12飛成
同玉 ②21角 同龍 13銀 まで 11手

①22玉は33銀 31玉 32角迄。

[担当：片岩裕貴]

☆初形で盤上にある唯一の攻駒である22飛を軸に考えたいところですが、22飛を取られることを厭わない5手目24金が好手。12龍の横利きがありそうに見えますが、桂の動きになっているので飛を取られても大丈夫です。☆24同龍と取らせたところで12飛成と桂の上誘うのが安南らしい爽快な一手で、同玉に21角で龍の利きを外し、銀の単騎詰となります。☆なお、③34角は23桂の移動合があつて詰みません。

乙武野齡子—派手に金をバラ撒いてから気前よく飛角も捨てる。還元龍なのですね。

福島徹彦—安南らしい銀単騎。龍が21に戻るところに味がある。

無番和—3連続金捨てからの流れる手順が素晴らしい。

竹中健—龍を翻弄するのが面白いですね！

鈴木彊—玉方龍の動きが面白いですね。

作品集 曲江

捨て駒が続いて、桂頭玉の頭銀まで。

6手目22玉は33銀 31玉 32角まで。

掲049 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
							角		三
							歩		四
									五
								香	六
								桂	七
									八
									九

持駒 なし

22歩成 同玉 23香成 11玉 24桂 22玉 ㊤12桂成 31玉 33成香 まで 9手

㊤成生非限定 *まあ普通詰なので

[担当：片岩裕貴]

☆初手24桂の両王手に誘われるが、22玉と逃げられて33玉を防ぐ手がないので失敗となる。22歩成～23香成で歩を成香に置き換えておけば12桂成が決め手となる。

☆最後は33成香で角を成香の動きに変えて詰みとなるが、4手目に31玉とする変化でもこの詰み形が出てくるのは味が悪いかもしれない。

掲050 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
							歩	歩	三
								馬	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

24桂 22玉 32桂成 11玉 22歩成 同玉 23馬 11玉 34馬 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手22歩成が筋のようになって、同飛ならば23桂 12玉 24馬 11玉 13馬で詰みますが、同玉と取って23馬に31玉で詰みません。☆そこで24桂と打つことになるのですが、24桂を打ってしまえばあとはずらずらと進んでいくと思います。

☆最終手の34馬は33歩を馬の動きにする王手で、22合は同歩成で無駄合です。このため、3手目は桂成限定になっています。馬の遠ざかる動きで詰みになるというのは珍しいかもしれません。

鈴木彊—最終図が本当に詰んでいるのか何度も確認したのです。

海賊王—瞬詰んでいるようには見えない詰上り。

西村恒雄—最後は合が利くような味わいのある詰み形。

占魚亭—邪魔駒消去の前のひと手間。テンポがよく、爽やかな解後感。

原雅彦—特に32桂成が安南らしい。

福島徹彦—11～22の往復運動。

原岡望—玉の往復面白い。

武田静山—一度は22歩成迄の余詰かと思った。

掲051 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						香	香		一
							王		二
				馬	と				三
						銀	歩		四
				桂	金				五
							桂		六
									七
									八
									九

持駒 なし

安南詰
17手
詰バラ
2018年10月号

33桂生 12玉 24桂生 11玉 23銀生 22玉 31銀生 ①同金 12金 23玉 ①13歩成 同飛 同金 同玉 11飛 23玉 12飛成 まで 17手

①23玉は33と 14玉 25金打迄

[担当：片岩裕貴]

☆初形では玉の動きが金になっているので、12玉～11玉と逃げていくことになるのですが、11玉のときに有効な王手を残すという意味で、33桂生～24桂生はほぼ必然といえます。

☆5手目は銀生が大事なところで、31金を生で取って王手になるようにします。

☆金を取ってからは、やや長めの収束になりますが、①13金は王手にならず、13歩成からの清算手順になるところに安南が出てきます。武田静山－王手をかける手に苦労したので、十分に安南を解いた気がする。

弘光弘－初手の桂生がいい味。

山下誠－8手目23玉の変化でまとまれば、更にかっこよかった。

和田裕－前半は乗り降り乗り降りの4連続生でいい感じだが、後半はどう見ても余詰筋。

駒井信久－後半安南でなくなるのが寂しい。

掲052 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	と		一
									二
						王	角		三
						馬	飛		四
							桂		五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

安南詰
9手
詰バラ
2019年1月号

35角成 ①同銀 33桂成 12玉 14飛 21玉 32成桂 同玉 34飛 まで 9手

①14玉は13桂成 15玉 14飛迄。

[担当：片岩裕貴]

☆初手32飛成も同玉なら22とで詰むのでやってみたい手ですが、14玉で有効な王手がありません。

☆34玉を許してはいけないので、35角成～33桂成としますが、そこで14飛と回って21とを取らせるのが好手です。どんどん攻駒が減っていきますが、更に32成桂と捨てて桂の上に玉を誘うのが決め手で、最後は34飛と戻って詰みとなります。

☆最終手以下33合は同飛成と取れば良いので無駄合扱いです。

武田静山－1枚で詰んでいる!!

占魚亭－スイッチバックで締める上手い構成。

高橋達也－透かし詰になると思いました。

なかまにわ－桂を尻に敷く定番の詰上り。33合駒が一瞬ヒヤッとしますが同飛成で無効ですね。

中村増一－最後はやはり桂の上。

和田裕－3段目でなければ合駒が利くが。

弘光弘－35角成で銀をそらせておくところがいい。

西村恒雄－一角が主軸と思ったが、44銀を動かして33への利きを消すのがポイント。

梶田ふみ－よく見ると初手の王手はこの手しかない。32飛成を考えるも14玉で全然詰まない。5手目14飛の後32成桂に気付かず、最後は桂の動きなので34飛で詰む。

作品集 曲江

最後はすかし詰。

2手目14玉は12飛成まで。6手目合は22とまで。Subさん40番の改作。

掲053 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							皇	王	
			龍	飛			金	金	香
				金			香	香	
							角		

安南詰
9手

詰パラ
2019年5月号

作品集 曲江
第80番

持駒 なし

22金 同玉 33金 同玉 43角成 ①22玉 44馬
21玉 22馬 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆42飛が金の動きになっているので、元の飛の動きに戻すべく2枚の金を捌いていきます。
①24玉と逃げられそうですが、この時には42飛が馬の動きになっているので玉は22に行く一手で、44馬の両王手から22馬迄の詰みとなります。

作品集 曲江

3手目から3連続両王手、そこだけが取り柄の作。

掲054 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							香	香	
							歩	王	香
							留	桂	飛
								銀	

安南詰
9手

詰パラ
2019年5月号

持駒 なし

13飛成 32玉 42桂成 同玉 34銀 同馬 32歩
成 同金 53龍 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手13飛成は桂の上に玉を誘う定跡通りの手ですが、同玉の一手に14銀迄、ではなく、32玉と逃げる手があります。

☆3手目42桂成は両王手なので同玉と取るしかなく、あとは歩になった玉を捕まえるだけですが、34銀と捨てて馬の位置を変えておくのが好手で、以下は龍の横利きを通せば解決です。

掲055 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	香
								香	
							馬	王	
							飛	香	
							留	歩	

安南詰
9手

詰パラ
2019年5月号

持駒 なし

24歩 13玉 33飛成 同歩 25馬 12玉 34馬
同馬 23歩成 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手32飛成は13玉で意外と手がないので24歩と突きますが、13玉に33飛成と捨てるのが25馬の活用を見た好手です。33同歩に25馬と引き12玉に34馬と焦点に捨てるのが決め手の好手です。この馬を馬で取っても歩で取っても23への利きがなくなるので、23歩成で香の動きになっている玉を詰めることができます。

☆忘れてはならないのが21歩の存在で、6手目22玉が33歩成で詰むようにしているほかに、14歩が二歩禁のため2筋に動けず、25馬に対して同歩や24歩などの受けができなくなっています。

山本強志－飛も馬も捨てると金1枚で詰ます。

安南らしい手順。

須川卓二－大駒2枚捨てて受方馬を無力化する手順が上手い。

弘光弘－25馬～34馬がいい感じ。

森美憲－二歩禁にする手順が面白い。

武田静山—こういう好作の問題に会うと解いて良かったと思う。

掲056 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
								皇	二
								皇	三
								桂	四
								銀	五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

- a) 25桂 同桂 24銀 同歩 14歩 まで 5手
 b) 14歩 同歩 25桂 同玉 26銀 まで 5手

[担当：片岩裕貴]

☆珍しい安南かしこのツインです。a)の筋をb)でやろうとすると最後の14歩が打歩詰になります。また、逆にb)の筋をa)でやろうとするのは25桂に同歩で詰みません。

b)で4手目同歩には14銀で詰みます。

安南詰

5手

詰バラ

2019年9月号

b) 盤上の攻方

銀桂歩を持駒に

手順で、この成銀を飛で取っても金で取っても飛の14への利きがなくなるので14角迄の詰みとなります。

☆連続捨駒の安南らしい手筋モノでしたが、余詰がありました。

余詰—①32角成 13玉 14飛 同飛 同馬 12玉 13飛 11玉 23馬迄。

☆双方解は弘光氏1名のみ、余詰解は2名でした。粗検陳謝いたします。以下は作意解答者の評です。

中村増一—気持ちの良い連続捨駒で、最後はこれぞ安南という爽快な詰り。

原雅彦—安南で金化目的は初見かも。

修正図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
								皇	二
								歩	三
								角	四
								飛	五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

安南詰

9手

掲057 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
								皇	二
								歩	三
								角	四
								角	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛銀

12銀 同玉 ①23角成 同玉 ②33飛 同金 34銀成 同飛 14角 まで 9手

①34角は13玉 23飛 14玉以下逃れ。

②14角は同飛 25飛 同銀以下逃れ

[担当：片岩裕貴]

☆初手12に駒を打ち込んで1手詰のようにも見えますが、13歩が角の動きなので同玉と取れます。12銀 同玉 23角成と両王手で桂の上誘い出したところで33飛～34銀成がうまい

余詰

安南詰

9手

詰バラ

2019年9月号

掲058 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
								皇	二
								歩	三
								王	四
								飛	五
									六
									七
									八
									九

持駒 角金

安南詰

7手

詰バラ

2019年10月号

作品集 曲江

第72番

11角 同龍 23歩成 同桂 43角成 同香 24金 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手11角に22合は23歩成迄。5手目の43角成が決め手で、飛と香のどちらで取っても24金で詰み。

作品集 曲江

2手目22合は23歩成まで。6手目同飛も24金まで同じ。初形が重たいのがちょっと。

掲059 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
9手

詰バラ
2019年10月号

持駒 飛金金銀

13金 同玉 22金 同玉 21飛 ①同玉 12銀 22玉 32桂成 まで 9手

①同角は12桂成迄。

[担当：片岩裕貴]

☆23馬が攻めの軸となる駒ですが、初形では桂の動きになっているため、取られないように持駒を惜しみなく打ち捨てます。7手目12銀で馬にヒモがついて玉で取られることがなくなったところで32桂成の両王手が炸裂します。

☆7手目にはやって32桂成としてしまうのは、同香や同金ならば22銀迄で詰むのですが、同角と取られてしまうと33金が角の動きになって22に利きができてしまうので失敗します。中村増一—最後にあっと驚く馬の復活。

西村恒雄—金金飛をベタベタ打って、最後桂成で威力を解放。

原岡望—23馬を取らせない攻め。

須川卓二—23馬が不動という展開がいいですね。

弘光弘—22金がおもしろい捨駒。

和田裕之—先に桂成ると金が化けて失敗。

掲060 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
7手

詰バラ
2020年2月号

作品集 曲江
第70番

持駒 なし

26金 同玉 56銀 44玉 47龍 同角成 55銀 まで 7手

①15玉は26馬迄（玉は金の動き）。

[担当：片岩裕貴]

☆3手目の56銀が自身は龍の動きになりつつ馬の利きを復活させる両王手。44玉で香の動きになった玉の逃げ道を47龍で塞いで仕上げ。

作品集 曲江

これも3手目両王手。

4手目15玉は26馬まで。6手目は成生非限定。

掲061 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
11手

詰バラ
2020年2月号

作品集 曲江
第105番

持駒 なし

36角成 ①32角 同飛成 同龍 21角 同龍 13歩成 24玉 14と 34玉 45馬 まで 11手

①32桂合は13歩成 24玉 14と 34玉 24と 同桂 45馬迄。

①22桂合は13歩成 24玉 22飛成 23香 同龍 以下。

[担当：片岩裕貴]

☆初手は45角成の両王手も見えますが、24玉

と逃げられると思わしい追撃がありません。
すると初手は36角成が自然ですが、対する32角合が14に利かせる妙防です。

☆対して13歩成とするのは24玉に14とが利かないので32同飛成と取りますが、同龍となったときに33歩が龍の動きになっていることに注意が必要です。そのため、焦って13歩成としてしまうと同歩で手も足も出なくなってしまう。

☆そこで、33歩の動きを元に戻すために取ったばかりの角を21角と捨てれば13歩成が実現し、以下は34玉と歩の上に誘導する収束となります。

滝本幹夫－受けの問題。

中村増一－32角合を発見してびっくりしました。

止少丘八－好手32角。収束決まればもっと良かった。

須川卓二－普通詰将棋のような32角の中合を取った後にすぐ打つ21角が強烈。

和田裕之－中合とは！ 歩底の龍をどかすと自然に最終手が限定になるのもよい。

奥野眞－21角捨てにより最終手45馬も限定する構成が巧妙。

作品集 曲江

2手目32桂合は13歩成 24玉 14と 34玉 45馬まで。

2手目22桂合は13歩成 24玉 22飛成以下。

作った本人がねらいがわからない作。

掲062 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛飛金

44飛 同桂 24角成 同金 45金 同桂 33飛 25玉 36飛成 同桂 26金 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆初形では玉は桂の動きになっていますが、46玉と逃げられると捕まらなくなってしまうので、46の地点をケアしながら攻める必要があります。

☆よって初手は44飛から入り、35桂で取らせて角筋を通します。続いて24角成～45金といずれも46に逃げられない王手で迫ります。

☆45同桂で玉の動きが元に戻ってしまいますが、3連続捨駒の効果で玉の逃げ道がだいぶ制限されたので、33飛から収束に向かいます。

☆収束は3手目の24角成で24金の形にしたことがよく効いて、36飛成や最終手26金に対して14玉と逃げるができないので、ぴったり捕まっています。

武田静山－安南らしい手を連発したら収束が見えた。

大橋雅道－玉が桂の間に24角成で決める。

和田裕之－左右をふさいでから封印を解く。

山本強志－桂から金に乗せ換えるのがポイントだった。きびきびとした好手順。

宮田敦史－25玉の局面が詰まなそうで、意外な順。

西村恒雄－13角を軸に考えただけに3手目は意表。5手目まで46玉と跳ねさせない。

鈴木暲－玉方の2枚の桂を動かし、金を質駒にする手順とは珍しい。

雫保友－4筋へ逃がさないように攻める。

森美憲－7手でまとめたかった。

掲063 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛銀

23飛 11玉 21角成 同桂 22飛成 同玉 23銀 まで 7手

安南詰
7手

詰バラ
2020年8月号

[担当：片岩裕貴]

☆初手に23飛と押さえると、32玉には33銀で詰みなので11玉と逃げるよりないですが、ここで12桂が玉の動きになって守備力が上がっているため、単純な力攻めではうまくいきません。

☆その守備力が上がった桂を逆用して21角成～22飛成で桂の上に玉を乗せるのが上手い手順で、最後は安南ではおなじみの銀の単騎詰となります。

鈴木彊－巧手連発、締めは桂頭の銀で。無番和－スムーズな流れで桂頭玉にもっていく。

武田静山－一瞬3手詰と勘違い。盤上に桂があるとなつてこの収束を目指してしまう。

原田清実－一見焦るが以外に紛れない。

宮田敦史－23飛と打って見たら意外と狭かった。

中村増－安南の見本。きれいな手順です。

梶田ふみ－桂頭銀単騎の安南詰の手筋ですね。

森田正－安南独特の手筋の詰上りですね。

山下誠－玉の代わりに桂を動かすのがポイント。

加賀孝志－楽しい幼稚園。捌きが良い。

原岡望－いつもながら楽しい手順。

森美憲－玉が元に戻るのがよい。

雫保友－詰上りの形も7。

☆作者いわく、初形および詰上りがテトリス、とのこと。向きが違うので、青からオレンジに変わった感じでしょうか。

掲064 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								銀	一
								王	二
							科		三
							桂	桂	四
							馬	留	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手
詰バラ
2020年9月号

持駒 香

23桂右成 同龍 15香 同馬 36馬 14玉 13桂右成 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆16馬を取れば王手だが、25桂以下逃げられる。作意は23桂右成～15香で15を塞ぎ、ここでも15馬を取るのではなく連続の両王手で仕留める。

掲065 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								科	一
							角	科	二
							飛	金	三
									四
								王	五
							馬	桂	六
							飛		七
									八
									九

持駒 なし

安南詰
9手
詰バラ
2020年10月号

15金 同玉 25飛 ①16玉 15角成 同桂 18飛同角成 26飛 まで 9手

①14玉は24角成 13玉 23馬迄。

[担当：片岩裕貴]

☆安南では利きが弱い駒の上に玉を乗せると詰めやすくなるので、本作の場合は16玉に対して15桂と呼ぶことを目標にします。

☆初手15金に対して同桂はすぐに作意の収束に入ればいいので同玉ですが、25飛の両王手から15角成で同桂を強要します。以下は18飛、同角成（生でも可）で飛の利きを通して26飛迄の詰みとなります。

掲066 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
								皇	二
									三
									四
							飛	王	五
							金	角	六
									七
								香	八
								皇	九

持駒 なし

安南詰
11手
詰バラ
2020年10月号

35金 ①14玉 24金 同玉 44角 ②13玉 15飛同龍 22角成 14玉 23馬 まで 11手

①16玉は25金迄。

②33玉は35飛迄

[担当：片岩裕貴]

☆35金～24金と金を捌き捨ててからの44角が気分のいい両王手です。以下は15飛と捨てて角の動きを元に戻して収束となりますが、安南らしさがあまりない収束なので、もう少し工夫をしても良かったかもしれません。

鈴木疆－44角の両王手で解決。

宮田敦史－44角の両王手が気持ち良い。駒の動きがちよくちよく変わって忙しい。

山下誠－角→飛→角の目まぐるしい変身が見所。

須川卓二－角を飛にしてまた角に戻して……面白い。

武田静山－思い切って金を捨ててみたら詰みが見える。

和田裕之－33玉の方が決まるが。

藤沢英紀－縦横両王手！ 直後の33玉の変化も粋。

梶田ふみ－これはすんなり行ったが安南特有の手が1手しか出ないので読みづらかったです。5手目の44角の両王手はその手。

占魚亭－前半5手が良い（5手目の両王手が気持ちいい）が、後半は普通で一寸残念。

掲067 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂歩

14飛 同玉 15歩 23玉 16桂 14玉 23角 同金 24桂 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆上に逃げられてはいけないので初手は14飛と捨てますが、取らずに26玉の変化が気になる。この26玉には、36角と打って香を

角の動きにして王手するのが27玉を許さない好手で、35角と香を取る手に16飛迄で詰みます。

☆よって14飛には同玉ですが、これで玉が角の動きになったので、15歩から手が続きます。以下は安南らしい手順で、23角の退路封鎖が決め手となって、最後は15歩を元の動きに戻す桂跳ねで詰みとなります。

大橋雅道－24桂が安南の味ですね。

中村増一－こんな詰上りは初体験でした。

武田静山－変化を含めて安南を解いた！と感心しました。

宮田敦史－ずいぶんあっさり解けてありがたい。

竹中健一－初手がこれしかなさそうなので考えやすかったです。

田中孝海－狭い行動範囲に安南の旨味が凝縮されている。安南鍋の一品。

滝本幹夫－角頭の玉は弱い。

掲068 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰バラ
2021年2月号

持駒 銀

65銀 55玉 54角成 同飛 56銀上 同金 64銀 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆75飛が浮いているので75玉の対策が必要で、初手65銀は75玉に74角成、同歩、66銀迄を用意している。

☆従って65銀には55玉と逃げることになるが、こちらに逃げてやはり54角成と捨てて玉を飛の動きにするのが安南らしいまい手で、以下は56銀上で縦の動きを封じて64銀の両王手で決める。

掲069 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						馬			
		銀						王	
				銀					
			飛		金				
				桂		王			
			馬						

持駒 桂

23金 同玉 ㊤35桂 同金 33桂成 同玉 32馬 同飛 44飛 まで 9手

㊤44飛は14玉 33桂成 15玉以下逃れ

[担当：片岩裕貴]

☆強力な攻撃陣を軽快に捌いていく手順ですが、3手目の35桂捨てが収束を見越した捨駒で本作のポイントの一つです。

☆詰上りでは33玉と43銀がともに飛の動きになっているため詰んでいます。駒の動きだけを見れば飛が4枚いる珍形と言えるでしょうか。

☆安南ルールを使った着手はほとんど出てこないですが、これぞ安南という詰上りなので、最後はスカッとしたいと思います。

福原徹彦—玉を飛の動きにしていけないと思いついてしまった。

奥野眞—詰み型が見えずに苦勞。駒が良く捌けて爽快。

弘光弘—35桂と捨てて逃げ道をふさぐところがいい。

加賀孝志—安南は最終手のみ。作風が変わったか。

須川卓二—この詰上りを知らないと思われそうです。本当にビックリする詰上り。

竹中健—これで詰んでいるのが不思議です。

宮田敦史—この最終図は快感。

掲070 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						馬			
							皇	金	
							銀		
							桂	王	
						歩	王		
						角		桂	

持駒 なし

14金 同玉 13桂成 24玉 25歩 同龍 14成桂 同龍 46角 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆14金～13桂成と捌いて、24玉となった局面は玉が香の動きになって身動きが取れません。ここで単に46角は35合で詰まないのでも25歩で36歩を消し、14成桂で龍をどかしてから46角が手順となります。最後は透かし詰ですが、かしこ詰なのでOKです。

掲071 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀	
						歩			
								王	
								角	

持駒 飛銀

28飛 17玉 27銀 16玉 18飛 17玉 37角 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手は28飛から入ります。19玉と角を取られてしまいそうですが、これには29銀の1手詰が用意されています。よって、2手目は17玉と逃げますが、27銀と腹銀で追って、以下は打った駒を順次ほぐしていきます。

大橋雅道—6手目にビックリ。最後は気持ちの良い詰上り。

竹中健—最後の3手が安南らしい応酬です

ね。

森田正一緊張感のある攻防。
川端潤一目がまわる手順の妙。
深澤隆行一玉は25に行けない。
鈴木疆一18飛に17玉の逃げ、ここで37角が見事。(36歩の配置が決め手になった。)

☆余詰がありました。
余詰一初手より37角 29玉 28飛 39玉 48銀 49玉 29飛 38玉 39飛迄。
☆双方解は南田川看内氏。36歩が58にも利いてくるのを失念いたしました。粗検を深謝いたします。

修正図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								銀	四
						歩			五
					馬				六
								玉	七
								角	八
									九

持駒 飛銀

安南詰
7手

掲072 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						飛			一
						玉			二
									三
						馬			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀桂

安南詰
9手
詰バラ
2021年4月号

- ①33銀 ②23玉 32飛成 ③14玉 23龍 同角 24銀成 同龍 26桂 まで 9手
- ④31玉は32桂 33龍 同角成迄。
- ⑤34玉は24銀成 45玉 35龍迄。
- ⑥32銀は同龍 同飛成 同玉 42飛 21玉 33桂 11玉 41桂成 31歩合 33角成 22歩合以下 逃れ。

[担当：片岩裕貴]

☆33銀〜32飛成という手のつけ方は、上部脱出を助長しているようでやりにくいと思いますが、③の変化がきっちり捕まっていることがわかれば手応えを感じることでしょう。
雫保友一龍捨てが安南ならではの手で盲点だった。3手目が成限定なもの良い。

止少丘八一地味に3手目は成限定。
☆3手目32飛生だと34玉 24銀成 43玉の逃げが生じてしまいます。
藤沢英紀一銀も飛も2段活用で気持ち良い。
奥野眞一銀打・飛成〜龍捨・銀捨の流れが心地よく解後感抜群。
和田裕一玉がいた場所に捨てるのがいい感触。
加賀孝志一龍捨てからの詰上りを買います。

掲073 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						皇		銀	四
								玉	五
						龍			六
									七
									八
								香	九
						金		馬	九

持駒 なし

安南詰
7手
詰バラ
2021年7月号

55馬 18玉 16龍 17角 45馬 同香 28金 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手は玉の横方向への遁走を防ぎつつ両玉手をかける手で、ほぼこの一手と言っていいと思います。18玉に16龍と捨てて馬の動きを元に戻して同飛に28馬迄、といきたいところですが、そうは間屋がおろしません。
☆17角合として玉を角の動きにして逃げ出しを図るのが最後の抵抗ですが、これには45馬と香頭に捨てるのがそれを上回る切り返して、同玉には36龍または56龍で39金がびったりの配置になっています。
雫保友一派手な立ち回りからの渋い金上り。
滝本幹夫一4手目の合駒が安南らしい。

奥野眞－最終2手の非限定が惜しいがダイナミックな応酬は秀逸。

掲074 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								料	
								銀	角
								角	星
								金	王
									遊
									歩

安南詰

7手

詰バラ

2021年9月号

持駒 なし

14角成 同香 24銀生 同桂 25金 同飛 26角まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手の14角成は手筋で、同香でも同玉でも玉が香の動きになります。2手目同玉は25金で詰むので同香ですが、24銀生～25金と順に捨てて26角迄の詰みとなります。

☆24銀生はあらかじめ桂を飛ばすことによって、25金を飛で取らせたときに飛が桂の動きになるようにしています。

掲075 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	料
								金	料
								金	料
								桂	桂

余詰

安南詰

9手

詰バラ

2021年9月号

持駒 金

21金 同玉 33金 11玉 21金打 同桂 22桂成 同金 23金 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆12桂と23金の守備力が強そうですが、2枚とも動かして無力化する手順が秀逸です。遠くにいて動かせるのが難しそうな43金がにじり寄ってとどめを刺すのも意外性があります。

雫保友－つるし金？での詰上りは意外。

西村恒雄－12桂を桂の働きに戻して金の横ばいが面白い。

中村増一－双方とも桂の上に金。安南の面白さを満喫。

宮田敦史－難しい。見覚えのない収束&見事な『』の曲詰(こう書くのとわかりにくいが)。

☆余詰がありました。

余詰－初手より22金打 同桂 同金 同金 同桂成 同玉 34桂 13玉 25金 12玉 14金以下。また5手目より12桂成 同玉 22桂成 同金 24桂 13玉 25金以下。粗検陳謝。

☆双方解は田中孝海氏。

修正図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								金	王
									料
								金	料
								桂	桂

安南詰

9手

持駒 金

*差替えがうまくいかなかったそうです。

掲076 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								料	王
								飛	歩
								香	蟹
								角	香

余詰

安南詰

9手

詰バラ

2021年9月号

持駒 なし

31歩成 22玉 26香生 31玉 22香成 同馬 42飛成 同玉 43角成 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手からの連続両王手が痛快ですが、もちろん主眼は2回目の26香生にあります。この香で守備の要の33馬を動かして、最後は定番

も有るんですね。

原田清実－安南を満喫。

掲079 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰

17手

詰バラ

2021年10月号

持駒 金金桂

11金 同玉 21歩成 12玉 ㊤22と 同金 24桂
①13玉 25金 12玉 14金 11玉 22金 同玉 32
金 11玉 23金 まで 17手

①11玉は21桂成 同金 同金 同玉 32金 11玉
12金迄。

㊤11とは同玉 21桂成 12玉 22成桂 同金 24
桂 11玉 22金 同玉 32金 23玉以下逃れ。

[担当：片岩裕貴]

☆普通ルールであれば、13玉とされたら絶望
ですが、安南ルールだと金桂があれば桂打～
金打で押し戻すことができます。作意順では
5手目の22とが好手で、同金とさせて24桂を
打てる形を作ることが肝要だったことがわか
ります。以下は軽快な駒繰りで収束となりま
す。

大橋雅道－9手目の25金を14、23と活用す
るのが安南ですね。

滝本幹夫－上部へ逃げられないように考える。

原田清実－13玉を許しても大丈夫だとわかっ
たらやる気が出てきた。

山下誠－金と桂の協力によるリズムカルな攻
撃が早い。

西村恒雄－狭い中で金桂の機能変化が面白い。

森美憲－小駒図式らしい細かい味のある手順。

掲080 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰

9手

詰バラ

2022年1月号

持駒 飛角

13角 11玉 21飛 同角 23桂生 12玉 24角成
11玉 13馬 まで 9手

出題稿：12桂は誤植ではありません。

[担当：片岩裕貴]

☆選題のことばでも少し言及しましたが、12
桂の配置や21玉－11飛の配置は安南ならではの
初形であると言えるでしょうか。

☆初手は13角くらいしかめぼしい王手がない
ですが、続く21飛の捨駒が12桂の活用を目指
した好手で、同角と取らせることによって、
23桂生と活用することができます。以下は13
角を馬に変えれば詰みとなります。

大橋雅道－23桂で安南の面白さ満喫。

西村恒雄－角桂の動きがリズムカルで楽しい
安南。

滝本幹夫－飛は取られるが、桂が活躍。

中村増一－飛は捨駒。桂の活躍が凄い。

鈴木彊－24角成を発見して解決。

竹中健一－なんと言っても初形が面白い！

占魚亭－角、桂を自然に使う。スイッチバッ
クで締めるのも良い。

原田清実－とにかく桂馬に働いてもらわんと。

森美憲－5手目の局面と詰上りの対比が面白
い。

奥野真－3手目の飛は31から打ちたくなる。

山下誠－「一」月「一」日とはめでたい詰上
り。

和田裕之－最後にうっかり33馬と両王手しそ
うになった。「下駄」かな。

☆雪の朝二の字二の字の下駄の跡。33馬には
12玉の一手で、24馬で元に戻ります。

掲081 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						皇	王	
						皇		
						飛	香	
							桂	

安南詰
9手
詰バラ
2022年4月号

持駒 角

24桂 ①23玉 13香成 24玉 14角 13玉 15飛 23玉 25飛 まで 9手

①21玉は12角 11玉 23角成 21玉 12馬 同香同桂成迄。

[担当：片岩裕貴]

☆初手は気持ちよく両王手から入りますが、23玉とされたときの継続手が問題です。

☆どうやっても24玉から35飛を取られてしまいそうですが、13香成～14角が上部脱出を許さない唯一の手段となります。

☆手が狭いので、試行錯誤しているうちに正解の手段に気付く可能性が高いですが、最初と最後が安南らしい両王手というのは良いと思います。

大野雄一—安南らしい手が続く。

大橋雅道—安南ならではの両王手、見事。

山口勇—初手は絶対だが、13香成がやりづらかった。

奥野眞—上部に逃がす13香成は不利感あり。

武田静山—7手目まで一気だったが、最終手がなかなか見えなかった。面白い詰形です。

掲082 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						角		
						等	王	
							角	

安南詰
7手
詰バラ
2022年10月号

持駒 飛歩

14飛 同玉 25角上 15玉 14金 同歩 33歩 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆安南ならではのちょっと変わった詰上りの作品を紹介します。

☆16玉～27玉と24玉～34玉の逃げ場があり、どちらも許してはいけないので、初手は14飛と歩頭に捨駒をします。同玉でも同歩でも玉が歩の動きになるのがポイントです。

☆同歩は17歩で16角を歩の動きにすれば容易に詰むので、14飛には同玉ですが、25角上、15玉に再度14金と歩頭の捨駒をして、同歩で玉を歩の動きにすれば玉の動ける場所はなく、そこで33歩と打てば詰みとなります。

☆最終手歩打でも、この形はいわゆる透かし詰で、33歩打の時点では24合の余地があり、完全には詰んでいないので打歩詰にはなりません、無駄合しかないので歩打で詰上りとなります。ただし、こういった詰上りが認められるのはかしこ詰だけで、安南ばか詰だと透かし詰不可なのでこの詰上りは成立しません。

☆本図の場合最終手が33歩なので24合に同歩成と取れますが、仮に全体に1段上がった図で33歩ではなく34歩になると25合に同歩は二歩で動かせないで、25合は無駄合にはなりません。また、玉を取った時に二歩を生じさせるのも不可で、そういう状況の時は王手がかかっていないものとみなします。

掲083 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								桂	一
								王	二
							桂	毎	三
							桂	桂	四
							角		五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

22桂成 同玉 ㊶13角成 34玉 35馬 まで 5手

㊶13角生は14玉で詰まない。

[担当：片岩裕貴]

☆スマホ詰パラでおなじみ?のかっけー図式(角桂図式)のフェアリーバージョンとのことで、易しいながらも3手目の両王手など、安南の面白さは十分に思っています。なお、初手では34の桂は22に動けないので「右」の表記は不要です。

加賀孝志-フェアリーの保育園楽しい。
小林巧-角が行って帰って来ただけなのに玉が34に居るなんて、素晴らしいの一言。
山下誠-よく見れば、13角成は両王手。
奥野真-角桂だけのすっきり配置が魅力。

掲084 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								毎	王	王	一
								王	桂	桂	二
											三
								飛	桂	銀	四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 飛角銀

32飛 23玉 14角 同桂 33銀 13玉 23飛成 同桂 24銀引成 同飛 14銀 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆32飛～33銀という追い方は安南では習いある手順ですが、23玉の時に24桂が玉の動きに

なっているので、14角の捨駒が必要になります。

☆13玉の形にすると玉は桂の動きになりますが、25玉とされないように注意しつつ、飛桂の守備を無力化して、最後は単騎詰となります。

大橋雅道-安南の手が多く、まさに安南詰将棋。好作。

山本強志-飛の守備をどうかいくぐるのかと思ったら、こうやるのか。

松田一彦-6手目まではこれしかない手順だが、7、9手目鮮やか。

川端潤-銀と桂の攻防が秀逸。

掲085 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一	
										二	
										三	
										四	
										五	
								銀		六	
								歩	毎	七	
								飛		八	
									銀	王	九

持駒 角銀

18飛 29玉 38角 18玉 27銀 同龍 19歩 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆初手28銀打のような力攻めでは受方の龍と角が働いてきてしまいます。よって初手は18飛としますが、29玉で18飛も取られそうな形になります。

☆しかし、18玉の形は玉が角の動きになってしまうところに弱点がありました。3手目38角で角の動きになっていた37歩をずっと引く19歩がその弱点をとがめる決め手となりました。

鈴木彊-収束19歩まで素晴らしい。

原岡望-洒落た詰上り。

武田静山-夢のような詰上り。

和田裕之-最終手がかっこいい。

奥野真-最終手の感触が絶品。

加賀孝志-コンパクトな歩の生かし方いい。

神谷護流ーラスト、突然詰みが見える感じ。
大橋雅道ー38角が上手い手。
中村増一ー飛の横利きを活かして攻める。
西村恒雄ー銀を取られるとほとんど無仕掛け
だが17角はほぼ味方駒。最後は清涼詰。
冷奴ー先に38角と打って、すぐに挫折したの
が幸いして、解けた。

掲086 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
9手

詰バラ
2023年3月号

持駒 なし

69金 同金 49金 同玉 48馬 同玉 66桂 59玉
48龍 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆王手が限られているので、好むと好まざるとにかかわらず6手目まではこう進めるよりなさそうですが、ここでの66桂が両王手をかけつつ88龍にもヒモをつけるピッタリの一手になります。このとき48玉は龍の動きになっていましたが、この手をくらってしまったのは58玉と戻るよりなく、48龍までの詰みとなります。
宮田敦史ー66桂が角の利きになるのが上手い。
占魚亭ー凝り形を解す。
竹園政秀ー2枚金と馬捨てで66桂の両王手を可能にする。
荻原和彦ーコイツは桂だ、と判っていてもやっぱり龍に見えちゃう心理トリック。桂跳ねが両王手。気持ち良すぎる収束。
武田静山ー龍が鎮座しているが、張り子の虎だった。
藤沢英紀ー最後まで47龍をあざ笑う。

掲087 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
							科	三
						銀		四
							角	五
							王	六
								七
								八
								九

安南詰
9手

詰バラ
2023年4月号

持駒 金飛

14金 同歩 24歩 25と 同銀 24飛 16歩 同飛
24銀 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手24歩も考えられますが、25とと根元の角を外されて、同銀、同玉で詰みません。それを踏まえて14金と捨てて玉を歩の動きにしておくのが肝要です。

☆以下24歩からの手順は変化の余地がありませんが、24歩を取った飛が桂の動きになるため16歩が打歩詰にならず、逃げ道を塞いで銀の単騎詰となります。

竹園政秀ー安南らしさがフルに。

大橋雅道ー安南の味充分です。

梶田ふみー基本銀の単騎詰は桂頭の銀ですが、
こういうのも有るんですね安南は。

中澤直幸ー飛を取らずに単騎で詰ますのが気分良い。

雫保友一ー瞬打歩詰かと思った。

森田正一ー23桂が絶妙な配置で打歩にならない。

川端潤一歩に乗れば安心。

福田大海ー14金で金を使うが、玉を歩の動きに限定するのは大きい。

詰山解道一歩になった玉が粘る粘る。

中村増一ー桂の上に乗るのは意外にも玉でなく飛だった。

掲088 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								星	一
							銀	科	二
								王	三
							香	歩	四
							桂	香	五
							角		六
							桂		七
									八
									九

持駒 歩

25桂 14玉 13桂成 同玉 23歩成 同玉 24歩
35玉 25角 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初形で36角が桂の動きになっているので、25桂～13桂成として37桂を消去します。角が本来の動きに戻ったところで23歩成の両玉手で桂の上に玉を誘います。

☆24歩の打ち直しで35玉と上に出てこられてしましますが、玉が歩の動きになったので25角で24歩を角の動きに変えて詰上りとなります。

☆7手目から45角、35玉、44歩迄という解答がありました。これは歩の動きが変化していますのが打歩詰です。

大野雄一—同種駒を同地点に打ち換えるのが面白い。

武田静山—歩成から再度の歩打が素晴らしい。

中村増一—玉のここまでの移動は意外でした。

占魚亭—最終手を実現させるための序奏の伏線が見事。歩の打ち直しもいい感じ。

零保友—23歩成を同玉と取らせるための桂消去。

宮田敦史—37桂消去が気付き辛い。

藤沢英紀—2手目23玉も一応あるのが面白い。

奥野真—25桂で始まり25角で終わるのが洒落ている。

掲089 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								銀	科	一
								角	科	二
									王	三
										四
										五
								銀		六
								歩		七
										八
										九

持駒 角香

14香 同玉 24角成 同玉 43角 33桂打 同銀
生 同桂 16桂 同飛 34角成 まで 11手

[担当：片岩裕貴]

☆14香～24角成で無理矢理桂の上に玉を誘いますが、その時点で持駒が角1枚だけになってしまうのは不安があるかもしれません。

☆しかしそこで43角が好打で、この手は次に25角成を見ているため、見た目以上に厳しい手になっています。受方は25角成を防ぐ33桂打合で粘りますが、同銀生と取って同桂に16桂で36飛の利きを外して34角成までの詰みとなります。

鈴木疆—14香と捨て24角成で桂頭の玉、43角からの取束は見事です。

神谷護流—桂に乗せるのは安南の常套手段。和田裕之—43角を発見すれば意外に受けがなく後はすらすら。

西村恒雄—43角で捨てた角を42に復活させ合駒を稼ぐ。34角成がアクセント。

竹中健一—43角が鋭い！

福原徹彦—33の合駒を取っても玉手にならないと錯覚してしまった。

宮田敦史—かしこ安南は変化の少ない攻め方をするのがコツか。

掲090 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							母	王	一
								王	二
									三
							逆	角	四
								王	五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂

23金 同玉 32銀 同飛 35桂 同金 33角成
まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆安南らしく桂の上に玉を誘い、32銀の捨駒で同飛と取らせて飛を無力化させるのがうまい手順です。35桂で逃げ道を潰して角成までの単騎詰です。

掲091 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	龍	一
							皇		二
							王	王	三
							金	桂	四
							桂		五
							角		六
									七
									八
									九

持駒 歩

12桂成 ①同玉 13歩 23玉 24桂 34金 14角
まで 7手

①23玉は24歩 同金 同桂迄。

[担当：片岩裕貴]

☆初手12桂成は両王手。同玉で玉が龍の動きになるので13歩は必然ですが、一見打歩詰のように見えるので少し抵抗感があるかもしれませんが、23玉とこの地点に逃げられます。今度は玉が香の動きになったので24桂でフタをして、34金に14角で詰みとなります。詰上りで13歩が龍の利きを止めつつ24桂にヒモをつけていい働きをしていますね。

安南詰
7手
詰バラ
2023年9月号

安南詰
7手
詰バラ
2023年9月号

滝本幹夫－これで詰んでいるのが安南らしい。

大橋雅道－14角は鮮やかな一手。

武田静山－最終手が気付きにくい。

山下誠－打った歩が角の働きの変わる最終手になかなか気付かず。

荻原和彦－安南らしき満載。意表つく収束は後味よし。

福田大海－龍や香の利きになった玉をうまく止める。

原岡望－桂で蓋をする。

占魚亭－金の動きを復活させる24桂が決め手。

鈴木彊－13歩が急所の一手でした。

中村増一－初手14歩では詰まないところが良い。

森田正－実戦感覚からすると、23玉は目まいがする手。

大野雄一－玉が23に行けるのに気づくまで。

福原徹彦－金も桂も動きが変わっているので混乱する。

宮田敦史－これは時間は掛かるかも知れないが理詰めで考えれば解ける。曲詰？

☆曲詰ではないと思います。

掲092 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								馬	四
									五
							飛		六
							王	王	七
							歩		八
							角		九

持駒 なし

15飛 同桂 25馬 同金 29角 28玉 18角
まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆このまま17玉とされてはいけないので、なにはともあれ15飛、同桂と捨てて玉を桂の動きに変えます。続く馬捨ては26金と27歩の形を崩して守備力をそぐのが目的です。

☆これでいよいよ玉を詰める準備は整いましたが、攻駒が角と歩しかなくなっていま

安南詰
7手
詰バラ
2023年10月号

した。しかし、18角が29〜18と往復してみると28玉の形が歩の動きになるため、これで詰んでいます。

大橋雅道―一角の動き絶妙。

詰山解道―角を戻すのが目からウロコでした。

山口勇―角引いてすぐまた戻すとは…。あまり見たことがない気がします。

森田正―一角のスイッチバックが痛快。

武田静山―収束が見えなかった。

荻原和彦―捨駒で歩を弱体化。角往復に惚れ惚れ。

須川卓二―25馬の伏線が素晴らしい。

田中孝海―軽い紛れと軽快な収束。好きです。

加賀孝志―コンパクトなまとめ方。大駒を小さく使う。

竹園政秀―飛角連捨て良い。

掲093 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	皇	一
								科	王	二
										三
										四
							桂	桂	鬮	五
							角			六
										七
										八
										九

持駒 飛香

33桂成 同桂 24香 同龍 12飛 23玉 45角 まで7手

[担当：片岩裕貴]

☆初形で玉は香の動きになっていて23にだけ動けます。したがって23玉の対策がポイントになります。

☆23玉に45角の両王手が見えればしめたもので、45角を作る33桂成から24を埋める香捨てで手が繋がります。

中村増一―駒の上に載らない玉を詰め上げる感動作。さすが安南の名手。

川端潤―あえて浮かせて仕留める。

西村恒雄―6手目で次の手を指そうとウズウズする。

竹園政秀―両王手でしとめる。手順前後注意。

加賀孝志―詰上りが見事。

山口勇―詰上りはこの形だが……。手順に悩む。

冷奴―33桂成が読みの入った好手（当たり前か……）。

掲094 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀	馬	一
									皇	二
								皇	皇	三
								皇	皇	四
								龍	角	五
								龍		六
										七
										八
										九

持駒 桂歩

15歩 同銀 13角成 同玉 25桂 同金 23龍 同玉 42馬 まで9手

[担当：片岩裕貴]

☆上を塞いでから両王手で打開します。5手目の25桂が退路封鎖の捨駒で、23龍が決め手になります。詰上りは透かし詰ですが、ばか詰ではないのでOKです。

掲095 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	皇	一
								皇	皇	二
								歩	科	三
									皇	四
								飛	金	五
									香	六
									角	七
										八
										九

持駒 なし

24金 同銀 44角 23玉 13香成 同銀 25飛 同桂 34歩成 同香 33角成 まで11手

[担当：片岩裕貴]

☆初手は24金と飛の横利きを通して、同銀に44角が指がしなる一手。合駒は44角の横利きがあつて無効なので23玉となりますが、玉が香の動きになっていることに注意して駒を捨

てていけば爽やかに詰みます。

小豆沢健—どうやって退路を封鎖するのか随分考えさせられた。

山下誠—銀を13に戻して単騎詰とはきれい。

原田清実—玉に走って逃げられないように。

25飛が決め手。

大橋雅道—攻駒全部大活躍です。

須川卓二—44角はやりたくてたまらない一手ですね。

鈴木彊—44角が好手でした。

荻原和彦—3枚同時に性能変化。25への利きが貴重。

原岡望—よくさばけて爽快。

大野雄一—初めて34歩成と書いたと思う。

☆初手25金は同桂ならば44角や26角で詰みますが、23玉で詰みません。

掲096 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰バラ
2024年9月号

持駒 なし

23香成 同角 14香 同角 23桂成 同角 46角まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆歩の動きの玉ですが、攻方の駒が渋滞しているので、順番にほぐしていきます。最後は透かし詰になりますが、かしこ系の問題では透かし詰はOKです。

掲097 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

詰バラ
2024年9月号

持駒 飛

25飛打 26歩 同飛 同玉 25飛 同玉 27歩 28と 26歩 まで 9手

[担当：片岩裕貴]

☆初手25飛打に対して合駒読みになりますが、歩合以外は同飛、同玉、25飛、同玉に取った合駒を打てば詰みです。歩合であれば26歩が打歩詰になりますが、27歩と控えて打てば打歩詰が回避できて、28とに26歩の突歩詰になります。

中村増一—突歩詰とは驚きました。

小豆沢健—最終手、突歩詰が気持ちいい。

和田裕之—打った歩ですぐ突歩詰とは。

神谷護流—拍置いて打開。

砂川順一—シンプルだが歩突きでの詰上りの味がいい。

森田正—美しい突歩詰。

奥野真—打歩詰の回避法が面白い。

川端潤—お洒落な詰上り。

掲098 大野 孝

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

詰バラ
2024年11月号

懸賞問題⑤

持駒 飛金

26金 23玉 13飛 同玉 15金 25飛 14金 まで 7手

[担当：片岩裕貴]

☆この形は26金と押さえるよりないところで
す。5手目の15金に対して25飛と桂を取られ
てしまいますが、この飛が玉の逃げ道を塞ぐ
駒になるので、14金迄の単騎詰になります。

武田静山－単騎詰は気分爽快です。

大橋雅道－予想した通りの手順でした。

川端潤－13飛捨ての妙技。

原田清実－桂頭にさせることだけを考える。

竹中健－最後25飛と取られるのをうっかり
して詰まないかと思いました。

砂川順－⑤の方が安南らしいか。易しくて
も楽しめる。

掲099 大野 孝

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							毎	拜
							銀	王

一 安南詰

二 7手

三

四 詰パラ

五 2024年11月号

六

七 懸賞問題⑥

八

九

持駒 飛銀桂

12飛 同玉 24桂 同飛 22銀成 同飛 13銀 ま
で 7手

[担当：片岩裕貴]

☆玉を桂の動きにする12飛捨てはやってみた
い手です。同玉のときに守りの飛角がよく利
いていますが、24桂、同飛としてからの22銀
成が狙いすました好手で、飛角のどちらで取
っても銀打の詰みが待っています。

大野雄－銀成の味がたまらない。

和田裕之－銀成がいい味。どっちでとつても
陰から銀。

原雅彦－どちらの変同を選ぶか迷う。

竹中健－24桂を入れるのが難しかったです。



作品集発表作

作品集での発表作品を掲載しています。
初出作品順に盤面、手順を記載しています。

- ・曲江掲載図を優先し原案図は省略。
- ・投稿掲載作の修正図は投稿作の方へ掲載済。
- ・枕詞の通り本編では普通話とは割愛。

安南詰将棋20題 第1集

1994年12月

第1番 No.001 (曲江 第9番)

集001 第2番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
							飛		五
							飛		六
									七
									八
									九

安南詰
5手
作品集 第1集
1994年12月
作品集 曲江
第13番

持駒 なし

29飛 18玉 27飛成 同馬 19飛 まで 5手

作品集 曲江

大駒図式。角頭玉の詰上がり。

第3番 No.005 (曲江 第10番)

集002 第4番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手
作品集 第1集
1994年12月

持駒 なし

24角成 同飛 15飛 29玉 19飛 まで 5手

*一幕ものですが、玉の動きが楽しい飛角図式。第3集 第18番 (曲江 第93番) へ発展するもこれはこれで一興。

第5番 No.002 (曲江 第14番)

第6番 曲江 第23番 (原図)

第7番 No.006 (曲江 第16番)

第8番 No.044 (曲江 第64番) 原図

集003 第9番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手
作品集 第1集
1994年12月
作品集 曲江
第12番

持駒 金

23銀成 同玉 33金 14玉 34角 まで 5手

作品集 曲江

初手から33金は31玉で逃れ。すかし詰。守備駒の無能化の手筋のひとつ。

*曲江は4手目12玉が作意。

集004 第10番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手
作品集 第1集
1994年12月

持駒 飛

93飛 同玉 92飛成 同玉 84桂 まで 5手

*強引ですが、両王手の入門編。

第11番 No.007 (曲江 第74番)

集005 第12番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								我	一
									二
						毎		王	三
								香	四
								桂	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手
作品集 第1集
1994年12月
作品集 曲江
第46番

持駒 飛金

12飛 同玉 23金 11玉 22金 同角 23桂生
まで 7手

作品集 曲江
類作最後は7手詰。
両王手の収束。

第13番 No.029 (曲江 第96番) 原図

集006 第14番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
		逆		金					桂	二
			毎							三
			我		王		角			四
										五
				飛						六
										七
										八
										九

安南詰
7手
作品集 第1集
1994年12月
作品集 曲江
第60番

持駒 金

35金 43玉 42角成 同桂 34金 同桂 53飛成
まで 7手

作品集 曲江
桂の動きが気に入っています。
せっかくの桂頭玉を解消します。

集007 第15番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								我	王	逆	一
											二
						金	金				三
											四
										香	五
										角	六
											七
											八
											九

安南詰
7手
作品集 第1集
1994年12月

持駒 なし

32金左 12玉 34角 32玉 43角成 24玉 34馬
まで 7手

*第9番の展開作かな。
初手に動いた金を取る32玉は良い味付け。

集008 第16番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										王	一
										桂	二
							金				三
								金			四
											五
											六
											七
											八
											九

安南詰
9手
作品集 第1集
1994年12月

持駒 角

23角 13玉 24金 同玉 34角成 14玉 24金
15玉 25馬 まで 9手

*馬と金ですっきり詰むのは記憶すべき筋。
もう長編の収束くらいにしか使えない…。

第17番 曲江 第110番 (原図) 夢銀河掲載
第18番 No.004 (曲江 第94番)



1995年4月

集009 第19番

									銀	一
									王	二
								歩		三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
9手

作品集 第1集
1994年12月

作品集 曲江
第92番

持駒 金桂

24桂 23玉 25金 12玉 22銀成 同龍 14金 11玉 23金 まで 9手

作品集 曲江

この詰上がりは好きな形。Subさんの作にも同じ収束が。友人から「思考回路が同じかな」と云われました。

2手目13玉は25金 12玉 14金まで。

6手目同玉は14桂まで。夢銀河掲載。

第20番 No.003 (曲江 第91番)



集010 第1番

									王	一
									銀	二
								角		三
								進		四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

持駒 銀銀

22銀 同玉 12角成 同飛 23銀 まで 5手

*改訂版 第79番 (曲江 第84番) へ発展しますが、腹馬、頭銀と桂玉の基本形。

集011 第2番

										一
									王	二
								銀		三
								王		四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第11番

持駒 飛銀桂

13飛 同玉 25桂 同桂 22銀 まで 5手

作品集 曲江

持駒違いで121番 (13手詰) とツイン。

集012 第3番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
							王		三
								王	四
									五
								馬	六
									七
									八
									九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第18番

持駒 飛金

15飛 13玉 12金 同玉 34馬 まで 5手

作品集 曲江

すかし詰の一種。普通詰ではあり得ない結末。
飛車が復活してのすかし詰。

集013 第4番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
								飛	四
							王	王	五
							王		六
							角		七
							角		八
							角	王	九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

持駒 なし

29飛 18玉 28角 17玉 19飛 まで 5手

*角による二枚飛車からの両王手。
大野氏の真骨頂です。飛玉テーマカ。

集014 第5番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
							王	王	三
							王	角	四
							角	角	五
							歩	歩	六
							歩	歩	七
									八
									九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

持駒 飛

13飛 同香 25角 同金 16龍 まで 5手

*余詰消しの歩二枚がつらい。私なら4手目は同歩。12飛で作るのもあるかな。

集015 第6番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								飛	二
								王	三
							王	香	四
							王	桂	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第45番

持駒 なし

12飛成 同角 23桂生 22玉 13香成 まで 5手

作品集 曲江

2手目同玉は前問と同じ23桂成まで。

集016 第7番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
								王	四
								王	五
							龍		六
							金	香	七
								馬	八
									九

安南詰
5手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第34番

持駒 なし

55馬 18玉 16龍 同飛 28馬 まで 5手

作品集 曲江

馬の往復。
龍が飛だと4手目角合されてしまいます。

第8番 曲江 第90番 (原図)

集017 第9番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							銀	一
							王	二
								三
							金	四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第48番

持駒 桂

13桂 11玉 23桂生 12玉 24金 11玉 13金
まで 7手

作品集 曲江

基本形、基本手筋。

いろいろな人が作っている形のようにです。

45ページ初期の安南詰(6)とニアミスしてしましました。

*本編では84ページ。

集018 第10番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				龍			王	一
				金				二
							銀	三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第47番

持駒 銀

32金 12玉 11龍 同玉 22銀 12玉 21金
まで 7手

作品集 曲江

詰上り「テトリス」。

初手は両王手。

第11番 曲江 第71番 (原図)

第12番 曲江 第67番 (原図)

集019 第13番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							科	王	一
					角				二
									三
					馬			歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

持駒 桂

23桂 12玉 24角成 11玉 33馬 12玉 11桂成
まで 7手

*安南入門編。

両王手でハツとしてももらえればOK。

集020 第14番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	銀	一
							銀		二
					角				三
								王	四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

持駒 金

16金 24玉 25金 13玉 12角成 同金 22馬
まで 7手

*これもマニア向ではない入門編。

22馬が見えるかどうか。

集021 第15番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								馬	一
							銀	科	二
							王		三
					馬	驥			四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第50番

持駒 飛銀

13飛 24玉 15銀 13玉 35馬 同龍 14銀
まで 7手

作品集 曲江

2手目同玉は35馬以下5手。十代の作。

集022 第16番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	皇	一
								飛		二
										三
								馬	王	四
								香	香	五
										六
										七
										八
										九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第56番

持駒 飛

12飛成 同香 13飛 同桂 25馬 同銀 15銀
まで 7手

作品集 曲江

2手目桂合は作意に同じ。飛合は売り切れ。
他合は23馬まで。

おなじみ桂頭玉に頭銀。駒取りはイマイチ。

集023 第17番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	皇	一
								桂	角	二
								香	王	三
										四
								香	香	五
										六
								香	香	七
										八
										九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第55番

持駒 銀

25銀 12玉 15香 同玉 14角成 同香 24銀
まで 7手

作品集 曲江

余詰消しの駒がイマイチ。

3手目は両王手。

集024 第18番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	皇	一
								香	王	二
								銀	角	三
									金	四
									香	五
										六
										七
										八
										九

安南詰
7手

作品集 第2集
1995年4月

作品集 曲江
第51番

持駒 飛

23金 同玉 22飛 14玉 15角成 同金 23飛成
まで 7手

作品集 曲江

5手目24角成は26へ逃げられる。

43の銀は消したかったのですが。

集025 第19番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									皇	一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

安南詰
9手

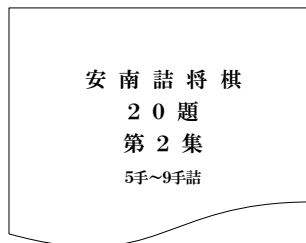
作品集 第2集
1995年4月

持駒 なし

38飛 19玉 39飛 18玉 19飛 同玉 46馬 18玉
28馬 まで 9手

*17飛 29玉 27飛 18玉で初形に戻る。合駒
を読まされる紛れ。作意は46馬の味。

第20番 曲江 第72番 (原図)



安南詰将棋20題 第3集

1995年5月

集026 第1番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
						角	歩	金
						馬		

安南詰
3手

作品集 第3集
1995年5月

持駒 なし

33角成 同角 22歩成 まで 3手

*玉方角を遮断する筋。角は打たせたいなあ。

集027 第2番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
						飛		
						留		
								馬

安南詰
3手

作品集 第3集
1995年5月

作品集 曲江
第1番

持駒 なし

16飛 同飛 28馬 まで 3手

作品集 曲江

大駒図式。安南詰の手筋が続きます。

集028 第3番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								馬
							角	飛
							王	
							歩	

安南詰
3手

作品集 第3集
1995年5月

作品集 曲江
第2番

持駒 なし

33角成 同玉 13飛成 まで 3手

作品集 曲江

2手目同金は22飛成まで。

この両王手の手筋はこれからも出てきます。

集029 第4番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
								金

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

作品集 曲江
第39番

持駒 なし

32金 同玉 14馬 33玉 32桂成 まで 5手

作品集 曲江

2手目12玉は14馬まで。

初手と3手目が両王手。

集030 第5番

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

持駒 金

24金 12玉 32飛成 同角 23金 まで 5手

*焦点への捨駒。

安南なら同角でも23金が可能。

集031 第6番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								料	
								王	

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

持駒 金金

18金 同玉 19金 17玉 26馬 まで 5手

*第2集14番と同じで26馬が見えるかどうか。

作品集 曲江

2手目16玉は26飛まで。
アクロバティックな詰上り。

集034 第9番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

持駒 なし

33歩成 同玉 23角成 32玉 21馬 まで 5手

*足の長い角玉を角(馬)で仕留める。
味付け次第ではもっと広がるかも。

集032 第7番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

持駒 銀

17金 19玉 18金 同金 28銀 まで 5手

*続く金頭玉の斜め後を紐なし駒で攻める筋。

集035 第10番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

作品集 曲江
第17番

持駒 桂

14角成 同玉 26桂 同金 34飛 まで 5手

作品集 曲江
27桂 24玉 34角成は同金で逃れ。
桂頭玉に対するすかし詰はいくつかの形があります。

集033 第8番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

安南詰
5手

作品集 第3集
1995年5月

作品集 曲江
第24番

持駒 なし

36馬 同飛 25飛 16玉 26飛 まで 5手

第11番 曲江 第49番 (原図)

集036 第12番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						皇	王	
						歩	香	

安南詰
7手
作品集 第3集
1995年5月

持駒 金金

21金 12玉 24金 21玉 13金 11玉 22香成
まで 7手

*何でもない初手21金が面白い。
3筋は玉方31歩、33桂もあるかな。

第13番 No.041

集037 第14番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						皇		
						金		
						王	料	
						馬	桂	
						飛	皇	

安南詰
7手
作品集 第3集
1995年5月
作品集 曲江
第61番

持駒 銀

23金 同金 15銀 同馬 26飛 同桂 36馬
まで 7手

作品集 曲江
1,3手目の手順前後はききません。
最後は飛車が邪魔駒になっています。

安南詰将棋
20題
第3集
3~13手詰

集038 第15番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				皇	飛	王		
				金	歩	料		
								歩
								角

余詰
安南詰
9手

作品集 第3集
1995年5月

持駒 なし

④31歩成 11玉 21と 同玉 32金 同玉 42角
成 21玉 43馬 まで 9手

④43金 41飛 33角成 同銀 同金 11玉 22歩
成 まで

*飛馬の両王手の筋。バラ未入会時の作品が
多く、何作か小石作とかぶっているのも興
味深い所。

集039 第16番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						料	王	皇
						料	料	
						銀		
						馬	飛	

安南詰
9手
作品集 第3集
1995年5月
作品集 曲江
第85番

持駒 角

42角 22玉 24飛 13玉 31角成 同龍 23飛成
同桂 24銀成 まで 9手

作品集 曲江
5手目、7手目の22銀は同角で逃れ。
2手目同玉は44飛まで。
6手目合は23飛成まで。

集040 第17番

余詰

集042 第20番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
							飛		五
							香	銀	六
			歩	角					七
									八
						角		王	九

						王	銀	王	一
									二
							皇		三
						桂	香		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

持駒 角

①29飛 18玉 28飛 17玉 29角 27玉 83角成 37玉 29馬 まで 9手

22角 21玉 33角成 12玉 22桂成 13玉 23成 桂 同桂 14香 同玉 24馬 同玉 25銀 まで 13手

②28角 18玉 36角 同飛 19金 まで

作品集 曲江

*第2集 第4番の変形。見えにくい筋。成場所非限定はやむを得ないテーマ。

作品集 曲江
初手44角は33合で不詰。
4手目11玉や32玉は22桂成まで。
最終はおなじみの桂頭玉。

集041 第18番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
							銀		四
									五
								王	六
									七
						馬	飛		八
								馬	九

持駒 なし

18飛 16玉 15馬 同玉 37馬 25玉 15飛 29玉 19飛 まで 9手

作品集 曲江
大駒図式。5手目は両王手。
玉方の応手は玉のみ。

第19番 No.034 (曲江 第112番)



安南詰将棋20題 第4集

1996年5月

集043 第1番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								王	二
							馬	桂	三
								王	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛

12飛 同玉 24桂生 まで 3手

作品集 曲江

初手24桂成は22玉 33飛 同歩以下逃れ。

安南詰

3手

作品集 第4集

1996年5月

作品集 曲江

第3番

集045 第3番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								飛	二
								角	三
								王	四
								角	五
								王	六
									七
									八
									九

持駒 なし

14角成 同金 24飛成 まで 3手

作品集 曲江

最終生は25桂と角を抜かれてしまいます。

13桂は歩でも詰みますが、最終生でも成立してしまいます。

安南詰

3手

作品集 第4集

1996年5月

作品集 曲江

第7番

集044 第2番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								王	二
								飛	三
								角	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

12金 同玉 23角成 まで 3手

作品集 曲江

両王手の手筋です。

安南詰

3手

作品集 第4集

1996年5月

作品集 曲江

第5番

集046 第4番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								角	二
								飛	三
								王	四
								王	五
								飛	六
									七
									八
									九

持駒 なし

14角成 同桂 17飛 同銀 25飛 まで 5手

作品集 曲江

4手目は成生非限定。

おなじみ桂頭玉。

安南詰

5手

作品集 第4集

1996年5月

作品集 曲江

第33番

安南詰将棋

20題

第4集

集047 第5番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						糸	王		
						馬			
						馬	糸	王	
						飛			

一 安南詰
二 5手

三
四 作品集 第4集
五 1996年5月

持駒 なし

19飛 同玉 29馬 同玉 38馬 まで 5手

*行き所のない玉。飛角図式の手順ですが、歩を合駒で発生させるなど展開できそう。

集048 第6番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						飛			
						糸	銀	王	
								科	

一 安南詰
二 5手

三
四 作品集 第4集
五 1996年5月

持駒 なし

21飛成 23玉 33銀成 14玉 23龍 まで 5手

作品集 曲江

4手目同玉も23龍まで。

形が面白いので「クランク」こちらを作意にしました。

集049 第7番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 5手

三
四 作品集 第4集
五 1996年5月

持駒 金

②26金 同桂 37馬 19玉 39飛 まで 5手

③39馬 26玉 16金 まで

*2手目同銀(金)なら39馬。この対比ありきで37馬からの両王手。修正は容易。

第8番 曲江 第79番 (原図)

集050 第9番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 5手

三
四 作品集 第4集
五 1996年5月

六
七 作品集 曲江
八 第19番

持駒 なし

24龍 同桂 25飛 同角 16銀 まで 5手

作品集 曲江

守備駒の無能化の手筋のひとつ。

似た手筋が続きます。

第10番 No.015 (曲江 第77番) 原図

第11番 No.008 (曲江 第75番)

集051 第12番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 7手

三
四 作品集 第4集
五 1996年5月

六
七 作品集 曲江
八 第58番

持駒 金金

13金 同角 25金 同龍 24飛成 32玉 33龍 まで 7手

作品集 曲江

初手22飛成は香合くらいで逃れ。

桂頭玉にもっていきます。

集052 第13番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
							料	四
							料	五
							銀	六
							飛	七
							歩	八
								九

持駒 飛

16飛 同玉 26飛 17玉 16飛 同玉 29桂
まで 7手

作品集 曲江

4手目同桂は29桂まで。

駒取りが入ったり、銀が残ったり。せめて銀は消したかったのですが。

集053 第14番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			飛					一
					金	王	笛	二
					香	香	香	三
						皇		四
						香		五
								六
								七
								八
								九

持駒 角桂

34桂 32玉 ㊤22桂成 42玉 34角 33玉 31飛
成 44玉 33龍 まで 9手

㊤31飛成 同玉 53角 32玉 42角成 まで

*32金の邪魔駒消去。金香の形は珍しく悪くないのですが、後半流れてしまった。

第15番 曲江 第107番 (原図)

集054 第16番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	料	一
							料	料	二
							王		三
									四
								皇	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛金銀桂

- a) 23飛 同歩 24金 同歩 25桂 同歩 23金 同香 22銀 まで 9手
- b) 24金 同歩 15飛 同龍 25桂 同歩 23金 同香 22銀 まで 9手

*ツインとしては後半が全く同じなので価値が薄い。しかし a) は単独でも好作と思う。なぜ曲江から外れたのだろうか。

第17番 No.010 (曲江 第97番)

第18番 No.009 (曲江 第100番)

集055 第19番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	皇	一
							飛	料	二
							香		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角銀桂

22飛成 同玉 13角 11玉 22銀 同桂 23桂 12玉 24角成 11玉 13馬 まで 11手

*角玉テーマの13角。後半は偉大な先人がいるので、今では流れた感じになってしまう。形対手順比は良い作で完成品。

第20番 No.048 (曲江 第106番)

詰将棋ひとりごと 第1版

1999年5月

詰将棋ひとりごと 第2版

1999年7月

いのちとくらしがあぶない

行き付けの先生が愚痴をこぼす「見てくださいよ、こんなに薬代が上がってしまって、ほんとでたらめですよ。どうやって患者さんの負担を増やさないようにするか、薬の出し方一つから頭痛めていますよ。」

そう、医療費の改悪で私もいっきに支払いが二倍以上、医者に行くのもサイフと相談してから、「命とお金」あついに重さを比べる時代になってしまったのか。

そうそう、消費税アップのときは、それまで取らなかったお店がいっきに5%を取りだし、のきなみの5%アップ「こりゃたまらん」と思ったものでした。

そう、やっとのことで上がった賃上げなどとっくに吹っ飛び、がまんがまん生活が日1日と追い詰められていく、おまけに今年は特別減税のないという。

仕事に追われ、生活に追われるなか、ふっと身のまわりのことを考えてみる。家族のこと、子供たちのこと、健康のこと、そして職場のこと。倒産も経験した、入院も経験した、どれかひとつながおきれば、がまんと重ねているこのギリギリの生活さえもガタガタと崩れてしまう。

わたしたちのこのがまんといいことに橋本内閣はオール与党勢力を巻き込み、これでも足りない医療制度の連続改悪をたくらみ、影では消費税のよりいっそうのアップを考えているのだろう。

おまけに労働法制の改悪、新ガイドラインとくる、だまっってはくらしどころかいのちまでも守れない。

さあ、'98国民春闘、みんなのちからで変えよう政治を、守ろういのちとくらしを。

1997.11.13

集056 第136番

不詰

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								科	一
								科	二
								科	三
								科	四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

作品集 第1版
1999年5月

持駒 金金銀桂

12金 同金 24金 ①同飛 25桂 14玉 26銀 13玉 15銀 まで 9手

①同金で不詰。

*大野氏も手から…。



*第1版と第2版は誤植などの修正で内容はほぼ同一のため兼用とします。

また、改訂版で修正、充実させていますのでここでは改訂版以外を掲載しています。

従って、外れた不完全作のみ残るのは不悪。

詰将棋ひとりごと 改訂版

2000年7月

まえがき

本書は詰将棋入門に最適です。

最初は盤に並べて駒を動かしてもかまいません。難しかったら答えを見てもいいのです。

とにかく詰む形というものパターン認識することが大切です。最後のとどめの形はそんなに数はありません。それを三手・五手セットで覚えておくこと、九手詰や十一手詰が半分の長さになります。

詰将棋はパズルであり芸術作品でもあります。

大野作品はその原点のエキスを構成されています。これをきっかけに詰将棋のファンになってほしいですね。

普通詰解説 福島 竜胆

作者より

いままで作った「安南詰」に「普通詰」と「駄文」を加えて昨年五月に『詰将棋ひとりごと』を作りました。

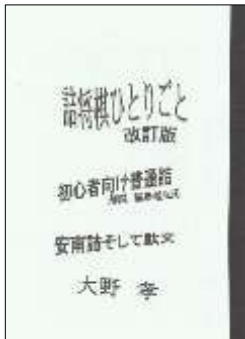
その後、余詰を始めとするミス・誤植の指摘を得、また福島竜胆氏より「普通詰の解説」をいただきました。

今回、第16回詰将棋全国大会を期に『詰将棋ひとりごと改訂版』をやっと発行することができました。

「詰将棋」そして「駄文」みなさまに目を通していただければ幸いです。

七月二日 大野 孝

*第1番～第39番は普通詰のため割愛。



ここから安南詰将棋

安南詰将棋とは？

『月刊詰将棋パラダイス』のなかの数ページ『フェアリーランド』のなかに生息しているフェアリー系の詰将棋のひとつ。

これをはじめて創作したのは、十代の終わりの頃、そう、もう三十五年前のこと。

ルールについて

詰将棋パラダイスには

「ある駒Aの直前に味方の駒Bがある場合、BはAの動きとなる。」

「味方の駒がタテに重なった場合、上の駒は下の駒の動きになる。」

などと書かれています。

- 第40番 第4集 第1番 (曲江 第3番)
- 第41番 第4集 第3番 (曲江 第7番)
- 第42番 第4集 第2番 (曲江 第5番)
- 第43番 第3集 第2番 (曲江 第1番)
- 第44番 第1集 第2番 (曲江 第13番)
- 第45番 No.002 (曲江 第14番)

集057 第46番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
							飛	卒	二
									三
							並	桂	四
								金	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

作品集 改訂版
2000年7月

作品集 曲江
第32番

持駒 なし

23金 21玉 31金 同金 12飛成 まで 5手

34飛は3手目31飛成以下の余詰消し。

作品集 曲江

2手目24飛は22飛成まで。

これはやさしい。

集058 第47番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								皇	二
							皇		三
								王角	四
									五
								飛	六
									七
									八
									九

持駒 角

13角 同玉 15飛 23玉 25飛 まで 5手

作品集 曲江

最後は両王手。

持駒は角でなくてもOKのようです。

ただし金は25金 13玉 32角成まで、飛は15飛打 23玉 25飛まで。

集059 第48番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
								金	二
								王	三
							留		四
								馬	五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀桂

14桂 22玉 23銀 同馬 33馬 まで 5手

作品集 曲江

これも両王手。

持駒は銀のかわりに歩などでも成立。

第49番 曲江 第44番 (原図)

第50番 第2集 第3番 (曲江 第18番)

第51番 第3集 第10番 (曲江 第17番)

第52番 No.006 (曲江 第16番)

第53番 No.044 (曲江 第64番) 原図

第54番 第1集 第9番 (曲江 第12番)

第55番 No.005 (曲江 第10番)

第56番 第2集 第2番 (曲江 第11番)

第57番 第4集 第4番 (曲江 第33番)

「NHK」 第58期名人戦

町会の集まりから帰り、風呂から上がると十時十分前。あ、そうだとNHKの衛星にチャンネルを合わせる。

第58期名人戦七番勝負最終局。佐藤名人、丸山八段ともに持ち味を発揮してのここまで三勝三敗のまったくの五分。

佐藤名人としては三期連続のフルセット、テレビは終局間近の最終盤を映し出している。

挑戦者が終始わずかのリードを保ち寄せ切るか、はたまた名人が入玉に持ち込みチャンスを洗い出すかの緊迫した場面。

このかたずをのんだ場面でいきなり「大変残念ですが時間となりました。結果はニュースでご覧下さい」のアナウンス。

十時からはウィンブルドンテニスの中継がはじまった。

おいおい、かんべんしてよ、外国のスポーツより、日本の文化を、将棋のファンを大事にしてよ!

金払わないぞ、NHK。

2000.06.26

振り駒勝負 第56期名人戦

将棋の第56期名人戦七番勝負が闘われている。

第六局を終わり、双方三局づつ先手番をキープしての三勝三敗。

長い名人戦の歴史のなかで、すべて先手が勝ち続けたシリーズはないとのこと。

名人位といえば将棋界では江戸時代からの最高位、竜王位と同列といっていますが、単に竜王位の賞金がずば抜けて高いから、という日本将棋連盟のご都合主義と思うのはわたくしだけでしょうか。

将棋の技術の進歩はすべて棋士の使命、これがすこしづつ先手の勝率をUPさせてきていることは事実。わたしが将棋をはじめた30数年前はプロ棋士の年間の先手勝率はせいぜい51%程度と記憶しています。

このまま進歩をつづければ、先手必勝の定跡が見つけれられるのでしょうか。

そうなれば、はっきりいってゲームとしての価値は半減してしまうかもしれません。

棋士の努力が結局自分たちの生活の場を奪うことのないことをいひります。

とはいえ、七番勝負最終局、あらためて先手後手を決める「振り駒」がおこなわれます。

さあ、ふたたび先手がキープするのか、後手がブレイクするのか、「振り駒勝負」にならないことを願いつつ、熱戦を期待します。

1998.06.10

第58番 第4集 第6番 (曲江 第26番)

第59番 No.001 (曲江 第9番)

集060 第60番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
							皇	科	二
								王	三
							皇		四
							飛		五
									六
									七
									八
									九

安南詰

5手

作品集 改訂版
2000年7月

作品集 曲江
第20番

持駒 飛銀

22飛成 同香 23飛 同馬 14銀 まで 5手

作品集 曲江

これも守備駒無能化。4手目はどれでとつても同じ。一瞬無仕掛になります。

第61番 曲江 第23番 (原図) 第1集第6番改

第62番 第3集 第8番 (曲江 第24番)

集061 第63番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								皇	一
								科	二
								王	三
								飛	四
								銀	五
									六
									七
									八
									九

安南詰

5手

作品集 改訂版
2000年7月

作品集 曲江
第22番

持駒 飛金銀

23飛 同銀 24金 同銀 14銀 まで 5手

作品集 曲江

初手から24金は同歩で逃れ。

初形無仕掛。

第64番 第4集 第13番 (曲江 第59番)

第65番 曲江 第49番 (原図)

第66番 第2集 第15番 (曲江 第50番)

第67番 曲江 第67番 (原図)

第68番 第3集 第14番 (曲江 第61番)

第69番 第2集 第18番 (曲江 第51番)

移動運用 1998

江戸へ六十六里三十五丁、京へ六十八里二十二丁。ここは中仙道宮ノ越宿「本陣」前の「近江屋」さん。両隣を見ると「若狭屋」「ゑびす屋」「河内屋」「大黒屋」などなど。

台風四号接近、大雨洪水で国中大さわぎの八月二八日(金)夜、石川パーキングエリアに集まった八名、だれも中止を言い出さない。八重洲無線の佐藤さんを会長とするネッシーハムクラブの年一回の移動運用。

長野県木曾郡日義村、斉藤さんの別荘をお借りしての合宿。表札には「斉藤」の文字はなく、「近江屋」、みんな?…。話を聞くとここは昔宿場町、いまでも屋号で呼び合うとか。たしかに前の家には「本陣」の表札。フツと異次元へまぎれ込んだよう。

土曜の朝乗鞍岳での移動運用、天気はどう、台風は?中止する、とにかく行ってみようということで出発。朝の四時まで飲みながらのおしゃべり、睡眠はほんの数時間、ほんとみなさん元気。約二時間の行程で山頂直下の駐車場着。

霧が出たり天気は悪かったが、アンテナを三基上げて運用開始。どこに積んであったかと思うくらい大きな八木アンテナもみなさん手際がいい。ほんの三〇分で設置完了。

三つのバンドでCQ、CQ。一時間ほど運用したところで雨が降ってくる。カッパを着てまだガンバロウとのひともいるが、会長の「撤収」の声で終了。今日の成果は約二〇局との交信成立。

帰りはスーパー林道を通して、ベース近くのリフレイン奈川温泉(村営)で汗を流す。

打たせ湯、薬湯、展望風呂そしてサウナ…、これで500円は安い。温泉好きの飯田さんに教えてあげなければ。土曜の夜一名合流、地酒「七笑」でふたたび夜のふけるまで。

帰りもまた、温泉に立ち寄り露天風呂でミーティング。塩尻の蕎麦屋で手打ちの盛りそばで昼食。中央高速が混んでいてけっこう時間がかった、ラジオで聞くとその後通行止めとか。家に着いたころはけっこうの雨、ごくろうさまでした。

1998.08.

- 第70番 第2集 第17番 (曲江 第55番)
 第71番 第1集 第12番 (曲江 第46番)
 第72番 No.007 (曲江 第74番)
 第73番 第1集 第14番 (曲江 第60番)

集062 第74番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								角	二
								角	三
							桂	垂	四
							垂		五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

作品集 改訂版
2000年7月

作品集 曲江
第62番

持駒 なし

22角成 同龍 23角成 24金 22馬 同玉 32飛
まで 7手

作品集 曲江

2手目同玉は32桂成で簡単なので、32龍は42飛として、2手目同玉は32桂成 同飛 23角成までの変化にしたかったのですが、初手から23角成で余詰んでしまいます。

集063 第75番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								垂	二
							垂		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手

作品集 改訂版
2000年7月

持駒 金金金桂

22金 同玉 23金 11玉 22金打 同飛 24桂
まで 7手

2手目同飛は23桂 12玉 24金 11玉 13金まで。

第76番 No.008 (曲江 第75番)

第77番 No.015 修正図 (曲江 第77番)

第78番 第2集 第16番 (曲江 第56番)

集064 第79番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								角	二
							角		三
									四
								垂	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

作品集 改訂版
2000年7月

作品集 曲江
第84番

持駒 銀銀桂桂

22銀 同玉 14桂 同飛 34桂 同龍 32角成 同龍 23銀 まで 9手

作品集 曲江

これも桂頭玉。

2手目同龍は24桂まで。

6手目同飛は11銀まで。

8手目同歩は31銀まで。

集065 第80番

								一
							馬	二
							金	三
							桂	四
							銀	五
								六
								七
								八
								九

安南詰
9手

作品集 改訂版
2000年7月

作品集 曲江
第87番

持駒 なし

11桂成 22玉 21桂成 同歩 12成桂 同飛 32角成 同龍 33銀成 まで 9手

作品集 曲江
収束が気持ちいいだけで、ほとんど変化はありません。

第81番 第3集 第16番 (曲江 第85番)

邪魔駒 (じゃま駒)

詰将棋の世界ではよく使われる言葉ですが、かならずしも詰将棋特有の言葉というわけでもありません、ただ指し将棋の世界ではそうひんぱんに聞く言葉ではありません。

味方の駒の利き道を遮断したり、自軍の王将の逃げ道を封鎖したり、あるいは駒を打とうとするところやその利き道にデンと居座って邪魔をしている場合など、この自軍の駒を一般的に「邪魔駒」といいます。

ですから、味方の「邪魔駒」は作らない、そして敵方の「邪魔駒」を作らせるというのが心得 (テクニック) となります。

詰将棋の世界においては、この「邪魔駒」にからんだ作品はそれこそいくらでもあります。

まあ、その駒にしてみれば、好き好んで「邪魔駒」になったわけでもないし、それまで目いっぱい働いたとか、極端な例では一手～二手前はそれこそ重要な働きをしていたのに、相手の応手によっては、ほんと「邪魔駒」となってしまう場合もあるのです。それはそれ、その局面にいたる「歴史的必然性」があったわけです。

リストラの標的にされている「中中年サラリーマンのみなさん」、そして「濡れ落葉」などといわれている「定年後のおとうさんたち」。

あなたたちが企業にそして家庭に対して果たしてきたことを考えるとき、そう、あなたたちはけっして「邪魔駒」などではないのです。

1998.08.14

大腸検査の記

日頃の不摂生のためか、痔から出血、それもおかなりな量。これはいけないということで病院へかけこむ。

しばらく通院を続けるが、なかなか好転せず、「あなたのお年なら大腸検査も」ということになり、検査の日程を決め、前日の食事をもらい、注意事項の説明を受ける。

さて前日、朝コップに水を一杯、そしてレトルトのおかゆ少々。この食事が夜まで続き晩飯は単なるスープのみ。牛乳も飲んでダメ、腹が減る。そして夜九時には下剤をたっぷり。しばらくするとトイレにかけ込む。朝までに何回トイレにいったことか。よく眠れない内に朝になる。とにかく腸の中をカラッポにして検査に挑むわけだ。

いよいよ病院、検査に突入。「簡単な検査ですよ」と聞くと「ちょっと苦しいけれど十五分ほどで終わりますよ」とおどかさされる。検査衣に着替えレントゲン台の上へ、看護婦さんが肛門へチューブを差込みエアーとともにバリウムを注入、おなががふくれ「うっ」となる。腸が圧迫されそれなりに苦しい。医者がこちらの苦しいのを無視し、あっち向け、こっち向けといそがしい。それでも写真がよく撮れないと「もっとエアーを入れて」と指示「もうやめて」の声もむなしく検査は続く。「もうすこし、もうすこし」の声を聞きながら必死にがまん。やっとのことで検査終了。大急ぎでトイレに飛び込む、勢いよくエアーとともにバリウムが飛び出し、やっとのことでほっとする。

写真ができるまで待合室で待つ間もトイレへ往復。そんなこんなするうちに、写真が出

来たということで検査の結果を聞く、十数枚の写真を見ながら説明、結局大腸には異常がないということで、単なる痔との結論となり一安心。

それも、しばらくの禁酒の成果か好転に向かいつつあり。めでたし、めでたし。

1996

集066 第82番

余詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	一
									二
									三
									四
							皇		五
							王		六
					金				七
					飛				八
				銀	飛	銀	銀		九

安南詰

9手

作品集 改訂版
2000年7月

持駒 角銀

18飛 27玉 ㊤37飛 同金 17角 39玉 38飛 同玉 39銀 まで 9手

㊤29飛 以下

6手目同銀成は16銀まで。

- 第83番 第4集 第16番
- 第84番 No.010 (曲江 第97番)
- 第85番 曲江 第110番 (原図) 第1集第17番
- 第86番 No.016 (曲江 第99番)
- 第87番 No.009 (曲江 第100番)
- 第88番 No.004 (曲江 第94番)
- 第89番 第3集 第18番 (曲江 第93番)
- 第90番 第1集 第19番 (曲江 第92番)
- 第91番 No.003 (曲江 第91番)
- 第92番 No.012 改良図 (曲江 第114番)
- 第93番 第3集 第20番 (曲江 第120番)

待ち駒

終盤、相手の玉をつかまえるときの手段のひとつ。

直接王手はかけず、次に詰ますごと、相手の玉の近くに駒を配置することをいう。

相手が受けることも、逃げることも困難となり、「そんな『待ち駒』はきたくない!」と叫ぶこともある。ようするに「縁台将棋」と呼ばれるレベルの将棋で主に使われる言葉。わたしもこのしばらく聞いたことがない。

「詰める・・次に詰ましますよという手」「必死・・受けがまったくない詰める」の中間の「寄せ」の手の一種。「寄せ・・相手の玉を詰みに向かって絞り込むことをいう」「シバリ」ということもある。

盤上の駒を動かしての「待ち駒」もあるでしょうが、待ち駒をハッシと打ち付けての「待ち駒」のうほうがイメージです。

まあ、給料日に借金取りが会社の表で待っているようなもので、やられたほうはいい気持ちのものではない。すばっと詰まされないので生殺しの気分になってしまう。

でも、技術的にはりっぱな手段・手筋ですよ。

1998.09.07

捨て駒

囲碁の場合の「捨て石」とほぼ同義語と思いますが、世間一般には「捨て石」の言葉の方が一人歩きしています。

先手を取る。手をかせぐ。敵の王さんを危険地帯ににさそい出す。敵の駒の性能を半減させる。敵の王さんの逃げ道を封鎖・遮断する。敵陣を乱す。などなど多様な局面で表われます。一般的に駒の損得よりも、一手のスピードをより重視する中終盤に表われます。

特に終盤、派手な「捨て駒」の連続で敵玉を詰め上げたときは気分爽快。

基本的に捨てたもの以上のものを得るときに「捨て駒」といいます。

駒の種類によってどっちの駒がえらいとかはないと思っています。でも一般的に「歩」の場合はポンポンとあまりに軽く捨てられるので、「捨て駒」の言葉のイメージにはそぐ

わなと思います。ようするに、その犠牲のうえに展望を切り開くという手なので、展望を理解しないままの、また展望を指し示せないままの「捨て駒」は単なる駒損、無駄死になっけてしまいます。

1998.10.19

創作ノート

詰将棋を創る人たちはそれぞれにノートをもっている。

使い古したノートあり、ルーズリーフあり、小学生用のノートあり、ひとによってまちまち。みなさんノートの外観にはまったくこだわらない、中身がすべてだから。

図面を書き、日付を入れる。なかには発表にいたらない図面がある。形がイマイチ、余詰、手順前後の不完全作。

ノートをめくり、何年か前のその不完全の図面をながめる。ここがなんとかならないかと、あーだ、こーだと考える。

駒をひとつ置く、位置を変える、裏にしてみる……あれこれやってみる、でも、あちら立てればこちらが立たず、余詰が消えれば、また別の余詰があたまをもたげる。

また今日もいい案が見つからないままノートを閉じる。このページ、この図面何回見たことか。でも、なにかの拍子であたまにひらめくときがある。そんなとき、『ヤッター!』と飛び上がる。それが電車の中だったり、トイレの中だったり、夢の中だったり。

ノートに書きこむとき、その何年かの苦労がうそのように消えていく。

完成したその図面をながめ、ひとり満足して日付を入れる。

1998.10.17

詰将棋ひとりごと改訂版

2000年7月22日発行

静岡大会記念

2008年2月21日 第2版 第2刷

大野 孝

昭和22年2月22日生まれ
東京都品川区・会社員
入選回数…なし

安南詰将棋を作って33年。でも最近では発表するほどの創作がありませんので、既発表作を中心に選びました。

解説が必要なほど難しいものはないので、自己紹介風にまとめてみました。

第6番

No.001

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							料		一
							王		二
						垂	料		三
						桂			四
						角			五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

将棋クラブ
1978年10月号

作品集 曲江
第9番

持駒 金

22金 同玉 ㊦13角成 34玉 24馬 まで 5手

㊦13角生は14玉にて逃れ。

あれは37~38年前、高校時代に始めた将棋、土日という五反田の道場に通っていた。

大学へ入学すると、部室を探して初日から将棋部に入部。その将棋部で教わった安南詰将棋。これは面白そうだし、安南の詰将棋ともなれば作るという酔狂な人もいないだろうと、どんなものかと駒をいじっているうちに出来ていた、これが初めての作。

しかし、将棋を始めて四半世紀の間、普通の(伝統的な)詰将棋はハードルが高すぎるということで、作ったことはなかった。

第7番

No.004

第8番

No.075

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
			銀							三
										四
										五
	王									六
	角		龍							七
				馬						八
										九

持駒 なし

76龍 ①97玉 96龍 88玉 98龍 ㊥77玉 76馬
同飛 88龍 まで 9手

- ①同飛は同馬 95玉(97玉は98飛) 94飛。
- ㊥79玉は68馬。

午前中は煙草のスモッグモウモウの囲碁部
と同居の地下の部室、確か合わせて7～8面
しか並ばない狭い部屋。授業の合間に顔を出
すのか、将棋の合間に授業に出るのか分から
ない連中ばかりの中での将棋、将棋。

昼食とともに先輩に教わった麻雀で連日深夜まで。そう、ここもスモッグがすごかった。
そういえば、20代半ばで肺ガンで逝ってしま
った将棋部の同級生もいたっけ。

そのため単位を落としまくり、スレスレで
卒業。おかげでタイトルはおろか、わが校初
のB級転落の汚名。楽しく、またほろ苦い思
い出。

この頃は安南将棋も得意な同級生や先輩も
いて、作れば解いてくれる人もいて、それな
りに作り甲斐のある時代。

ただ、詰将棋を創るという人はなく、基本
的には指将棋。そんなことで、この世界を知
るのは四半世紀後になる。

前作と同じ頃の作、大駒図式。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								銀		一
							驥	王		二
								歩		三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金桂

24桂 ①23玉 25金 12玉 22銀成 ㊥同龍 14
金 11玉 23金 まで 9手

- ①13玉は25金 12玉 14金。
- ㊥同玉は14桂。

昭和44年に卒業、中小企業に入社。労働運
動に首をつっこみ、将棋とは疎遠に。そのう
ち将棋の雑誌もやめてしまった。その間創作
はせいぜい年に1～2作程度。

おふくろと同じ病院に入院、そしておふく
ろの死。ノートを見ると入院中に作ったりの
この前後（昭和60～61年頃）の作品がそこそ
こあるだけ。

難しさはないが、かわいく簡素にまとまっ
て、気に入っているその頃の作。



第9番

No.172原図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							皇		
							科		
							王		
							飛		
							角		

安南詰
9手

第1集 第17番
1994年12月

作品集 曲江
第110番(原図)

持駒 金金

16金 同玉 18飛 27玉 38金 同金 17角 39玉
19飛 まで 9手

その会社も、勤続25年を目前に破産という形で70年の歴史を閉じた。労働争議、破産後半年間泊まり込んで、委員長として最後の後始末。

その後一年ほど勤めた所が思い切り時間がある所。そうだ、いままで作った安南詰将棋をまとめてみようと思案中ワープロを叩いた。

「きゅりあん」はわたしのテリトリー、自転車車で10分。顔を出すこととなりました。

「詰バラ」の存在や「ばか詰」なるものくらいは知っていましたが、「詰バラ」は読んだことはなかったし、「フェアリー系」なるジャンルがあることとか、「自殺」「対面」「かしこ系」「すかし詰」等々の言葉も、ここに来て「詰バラ」を読み出して初めて知った。

「安南詰しか作ったことはないというのは珍しいですね」と言われたからではないですが、「安南詰将棋作ってます」と言っても一般の人は当然分らず、説明すると逆に混乱しそうなので、最近は保育園・幼稚園レベルの普通詰も作って、周りの人たちに見せています。

まあ、望みとしては、同じ図面で「安南詰&普通詰」の作品、できれば表紙とフェアリーランドに同時に載ること。はてさて、いつのこととなることやら。

第10番

No.012改良図

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							皇		
							科		
							王	銀	角
							科		
							飛		

安南詰
11手

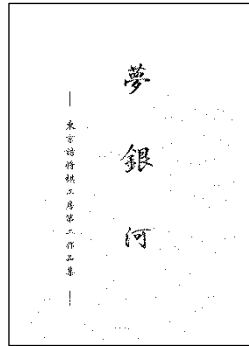
改訂版 第92番
2000年7月

作品集 曲江
第114番

持駒 飛金金

44飛 同桂 45金 同飛 25角 同桂 35金 43玉
33銀成 同桂 34金 まで 11手

まとめた安南集。しかし見せる相手もなく、このような集まりのあることもまったく知らず、当時読んでいた週刊将棋編集部へ送ったものが、廻り廻って加賀さんのもとに。加賀さんから送られてきた解答をきっかけに、「詰工房」を知ることに。



夢銀河
東京詰将棋工房第2作品集
(定価千円：送料別)
東京詰将棋工房 編
平成12年7月22日発行
印刷 ヤマノ印刷株式会社

2004年9月

第1番 改訂版 第63番 (曲江 第22番)

集067 第2番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							鯨	羽	王	一
								飛		二
										三
							飛	角	龍	四
									桂	五
										六
										七
										八
										九

安南詰
7手

作品集 2004
2004年9月

作品集 曲江
第66番

持駒 銀

12銀 22玉 31飛成 同馬 13角成 同桂 23桂
成 まで 7手

作品集 曲江

せっかくの桂頭玉を解消します。

6手目34玉と逃げられないのがミソ。

集068 第3番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								番	王	一
								割	皇	二
							角	王	割	三
							龍			四
										五
							桂			六
							角	桂		七
										八
										九

安南詰
7手

作品集 2004
2004年9月

作品集 曲江
第65番

持駒 なし

35桂左 同龍 14角 同桂 15桂 同龍 24角成
まで 7手

作品集 曲江

24角成を実現するための捨て駒が続きます。

初形がちょっと広がりすぎ。

第4番 No.021 (曲江 第101番)

父の日

「ごくろうさま」。心電図が止まり、医者がなにか言っている。おやじに向かって出た言葉はただこれだけ。

入院間もなくベッドから落ちて足を骨折、運悪く肺炎に感染。体力のないところにこれはきつかった。

戦後すぐに生まれた兄は、食べ物、薬もないなか一週間で亡くなったという。

次に生まれたわたしも3才のときに生死をさまよい、当時貴重なペニシリンを必死になつて探し回ってくれたとか。

倒産、解雇で苦勞したことも、そのなかでわたしと妹を育て上げてくれた。

そんな父でもこのような活動になかなか理解を示してくれなかった。でも、わたしが25年勤めた会社が破産したとき、争議の解決まで何も言わずに応援してくれた父。中学生だった下の子は、長いくつ下で最後の高校生活をエンジョイしている。

そう、あのときは看護婦さんも、お医者さんも最後まで一生懸命やってくれた。

「ごくろうさま」あの日から3年。

そう、あさって日曜は父の日。

1998.06.19

腕時計

長年使っている腕時計のバンドが切れる。数年前にも切れた時、飛び込んだ時計店で交換したら3,000円也。

秋葉原に行ったついでに¥980なりの価格につられて買ってしまふ。裏にはmalaysiaの文字はあるにしろ、一応日本では名の通ったメーカー名が、バンドを換えても、電池を換えても1,000~3,000円はかかるのに、どうやってこの価格で作れるのだろう。

高校生のころ、はじめて買ってもらった腕時計、うれしかった。

あのころは「月差10秒」「自動巻」なんてコマーシャルがテレビに踊っていた時代。

デジタル表示がもてはやされた時代からいままたアナログ表示へと。そしてまた電池のいらぬ自動巻きが復活。歴史は繰返している。

今では小学生でもあたりまえのように腕に付けているし、¥100ショップでも時折見かけることもある。

生活が便利になったのか、はたまた時間に、時計に追われる生活なのか。

とはいえ今日も朝、「カチャ！」と腕に装着、家を出る。

1999.10.03

第5番 No.019 修正図 (曲江 第98番)

集069 第6番

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
								料	一
								料	二
							飛	三	
						角	蟹	王	四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手

作品集 2004
2004年9月

持駒 飛歩

15歩 同馬 13飛打 同桂 同飛成 同玉 25桂
同馬 23角成 まで 9手

*何か紛れがあれば別ですが、この交換は損。
別展開可能な素材ですが無理だったのかな。

第7番 No.032 (曲江 第119番) 原図

第8番 No.027 (曲江 第117番)

初めての北海道

毎月の積立お金で4月14～15日、土日を使って北海道へ社員旅行。

はずかしながら仕事とか原水禁大会以外では本州を離れたのはこれが初めて。

羽田から1.5時間千歳空港からJRで小樽へ、街のビルは空き室が目立ち、ああ北海道の不況は深刻なんだと感じながら寿司屋通りへ。そこでちょっと遅い昼食のあと、小樽運河へ行くみんなと別れて市立小樽文学館へ足を向ける。

何か古い建物の一部を利用した文学館には小樽ゆかりの文学者の資料が展示されている。むかし映画で見た若くして特高に捕まり、その日のうちに虐殺されたプロレタリア作家小林多喜二のコーナー、死体で帰ってきた多喜二、書簡や死亡を伝える新聞記事など多喜二の資料とともに仲間が作ったデスマスクが展示されていた。

また、石原慎太郎の資料が別のコーナーに、東京で弱いものイジメを続ける石原都知事、その弱いものイジメとは断乎たかう日本共産党、その大先輩の小林多喜二がこの小さな文学館に同居していた。

角川文庫「蟹工船・党生活者」を本箱から取り出す。明日から電車の中で読もう。

マンション問題

先日、勤め先の建物(マンション雑居ビル)でエレベーターの故障があり、その住人が3時間以上閉じ込められてしまっておおさわぎでした。

みなさん、中の非常ボタンを押せばすぐに誰かがかけつけてくれると思っていますか。

そのボタンがサービス会社などにきちんと接続されているかどうか、一度確かめたほうがいいですよ。

通常、予算の関係でその管理室などに接続されています。管理人さんはたいい一人、非常の時そこに人がいなければ、いくらボタンを押しても誰も応答してくれません。

結局、何の非常ボタンなの?ということになりますよね。エレベータの定期点検からはじまってどんな法の網がかかっているのか、

みなさんどこまでご存知でしょうか？

マンションのいろいろな問題、これを期に
いっしょに考えていきたいと思います。

2001.03.31

合駒・あいごま

飛車、角、香車の飛び駒で攻撃されたとき
(取りをかけられたとき)、その駒を守るため
その間に他の駒を移動したり、持駒を打つ
たりすること。そのときの駒を「合駒」、会
話のなかなどで単に「合・あい」といい、
活用形だと「合^{あい}する」「合すれば」「合しと
けば」などといいます。

一般的には合駒という持駒を打つことを
さす場合が多く、盤上の駒を移動する場合は
「移動合」と区別しているようです。合駒に
使用されるのはやはり「歩」が一番多いよう
ですが、「歩切れ・持駒に歩のない状態」「
二歩」の場合などはしかたなく他の駒を使用
(代用?)します。

ちょっと高級な手筋では「中合」といって、
まったく自軍の効きのないところにポンと合
駒をする場合があります。敵駒を近づけてそ
の背後に逃げ込もうとするなど、初心者がは
じめて目にすると、将棋の深さのひとつを知
ることになり、それなりに感心するものです。
また盤上の駒移動による移動中合、連続中合
そして連続移動中合となると、これはもうか
なりハイレベルな手筋となります。

詰将棋でも指将棋でも常に相手の持駒など
を計算し、合駒の筋を読んでいなければなり
ません。9×9=81マスの盤面だけでなく、
お互いの駒台にも目をくぼる。ここに他の盤
ゲームとちがう複雑さと奥の深さがあるので
しょう。

いまはもう秋

止めておいた自転車のカゴに銀杏(ぎんなん)
の実が、見上げると銀杏(いちよう)の木、
走り始めると道端に柿の実が、その先には
いくつものどんぐりがころがっている。

あの夏の暑さは何だったの、というような
さわやかな風が、小学校の運動会のアナウ
ンスとともにわたしの身体をすり抜けて行く。

今日は10月の第一日曜日。

いまはもう秋。

1999.10.03

無駄合

取られてしまい単に手数を延ばすだけの合
駒、詰将棋ではこれを無駄合と呼んでルール
上禁止しています。

おやじやおふくろが入院したとき、アレコ
レの機械からチューブを差込みみずかの延命
措置をしたことをおぼえています。人の生き
死にが詰将棋のルールのようにすっきりでき
るものかどうかは別にして、あちこちに差込
まれたチューブが無駄合ではなかったのか、
いまでも結論は出せません。

2000.09.09

作文

子供のころ、学校でいちばんきらいな時間、
それは「作文」のとき。原稿用紙が配られ、
「何々」のテーマで書きなさいとくる。

「何々」が親のことだったり、尊敬する人
のことだったり。

親のこと、特に書くことないよ。尊敬する
人、そんな人いないよ。

そんなことで結局「何かけばいいの」って
柵目をながめ、どう文字で埋めるかだけを悩
んでいた。

でも周りではスラスラと鉛筆の音、みんな
よく書くことあるなあ。

人の悩みも知らん顔、先生はただ椅子に座
っているだけ、今思うにきっと先生の手抜き
の時間だったのだろう。

文字を書く、文章にする。他人に理解して
もらう文章を書くことはけっこう大変。本人
の思い込みを排し、出来るだけ簡潔に。

「起承転結」文章の流れを作った最後の「
結」ここがけっこう考えどころ。

さあ、こんな文章いつから書くようになった
のだろう。

2000.10.15

2000年8月6日

広島平和公園

周囲を圧するセミの声、そのなかにおごそかに打ち鳴らされる鐘の音が黙祷した耳につきささる。

20世紀最後の広島平和公園での平和記念式典、8月6日8時15分に鳴らされる平和の鐘。

「わたしも被爆者なんですよ！」町会の集まりのなかでOさんからの思いがけない言葉。

その日は朝まで仕事になってしまい家から離れていたとのこと。お父さんは何日か後に亡くなり、お母さんを見つけたときは灰になっていたとか。お父さん、お母さんを何日も探しまわったためご本人も被爆。

真夏の太陽の下、汗を拭き拭き廻った公園周辺の原爆碑めぐり、そしてバスに乗っての遺跡めぐり。それぞれの碑にそして遺跡にあの日の、そしてあの日をさかいに生まれた悲しみが、これでもかこれでもかというほどに埋もれている。

あの日から55年、あの日の体験を語るひとは毎年減っているとのこと、そのひとたちがいなくなったとき、太陽が落ちたような熱線と秒速440mの爆風の跡を留める遺跡があの日悲劇を、戦争の愚かさを、そして原爆の非人道性を伝えてくれる。

しかし、その遺跡も核兵器の開発、保有さらには使用さえも合理化しようとする意図によりつぎつぎに消されていくなか、遺跡を残そうとのひとたちの思いが、そしてそのひとつひとつの運動を進める力が「原爆ドームの世界遺産登録」を含め数々の遺跡を「残させてきた」ことを胸に刻んだ。

黙祷のなか「20世紀の過ちを21世紀に繰り返すな」「核兵器のない世界へ」の思いとともにOさんのご両親に手を合わせた。

これはいたい

12年前の入院から病院とお薬とおつきあいが続いている。

薬というものの飲まないと不安。副作用なんかを考えると、飲みつづけるのもまた不安。

でも、薬が切れたのでしかたなく二ヶ月ぶりに病院へ。

「薬剤負担？」なんだこれ、いままでこんな項目なかったじゃないか。

支払い計四千九百六十円也。前回の二、四倍。

一回の飲み代（お酒）三千円を目安にしているのに、毎月約五千円、これはいたい。

1997

京急さん、お客を大事にして！

通勤に利用している京浜急行。昨年のダイヤ改正（改悪）は羽田空港への搭乗客を優先したダイヤのため、いままでの通勤客は大めいわく。電車はこない、乗り換えは多い、時間はかかるとわたしのまわりでも悪評ぶんぶん。

わたしもいままで乗り換えなしの一本で通勤していたところが乗り換えなしでは行けなくなりました。京急鶴見から青物横丁まで「普通」「快速」「急行」と3本乗り継ぐときも、おまけにそのときは京急蒲田では陸橋を乗り越えてとなりのホームへ行かなければなりません。

京浜急行はお金もうけばかり考えずに、今までの客を大事にしてほしいとおもいます。

なんとかして京浜急行さん！

2000年1月

第9番 No.025（曲江 第115番）

第10番 No.018（曲江 第116番）

第11番 No.020 修正図

第12番 No.017 修正図（曲江 第113番）

炊き出し訓練

12/10(日) 災害時に避難所となる城南第二小学校ではじめての「炊き出し訓練」が開催されました。

「テント、仮設トイレの設営」「アルファ米、バックカレー、そしてお茶による炊き出し」「各町会毎の避難教室、体育館の確認」の訓練が参加した各町会のみなさんの協力で行われました。

意外とおいしかったアルファ米のカレーライス。食べ終わったあと見学した空き教室を利用した備蓄倉庫、そこには毛布と非常食料の詰まったダンボールが積まれていました。

しかし、東品川三、四丁目だけで7,500人の住民がいるなかで、割り当てられた教室と体育館ではどうみても300~400人が精一杯。それに実際に災害が起きたときこのように順調に行くとは思えず、住民としての努力はもちろんですが、行政の出来る限りの対応を望みました。(再開発ばかりに力をいれないで!)

また、机の数の少なさ、クラス数の少なさには、少子化の現実をあらためて感じたところです。

2000.12.10

15基のお神輿行列

東海道400年記念行事のイベントのひとつとして「品川神輿連合渡御」が行われました。

当初の目標より若干減り15基となったとはいえ、「山車」にはじまる「江戸前御神輿」「城南御神輿」総延長500mの行列はやはり壮観なものでした。

真冬と思えない日差しのなか、実行委員会に参加した青年部、各町会・商店街をはじめとする人々の協力で3.5kmのこの大イベントは成功裏に終わりました。

区長をはじめとする主催者それぞれの思い入れ、また冷やかに見ている人も含め、このイベントに対する賛否両論。しかし神輿が動き出せば、そんなことを超越して品川中の担ぎ手と沿道を埋める観客とが一体となり祭りを盛り上げていました。

とはいえ、みなさまごくろうさまでした。

旧道の 神輿をめぐる あのひとは
祭りの日だけ カメラマン

2001.02.12

集070 第13番

余詰

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									香	一
									王	二
									歩	三
									角	四
									歩	五
									角	六
									香	七
										八
										九

持駒 なし

22歩成 13玉 ①12と 同歩 22銀生 同桂 23角成 同龍 35角 同龍 23香成 まで 11手

①12角成 同歩 23と 同龍 35角 24合 22銀生 同龍 24角 まで

*最後の35角は別の駒で取れるが、駒余りになるのでやむなく同龍、としたいなあ。
(この感覚の理解者は少ないのかな?)

第14番 No.022 (曲江 第124番)

第15番 No.023 (曲江 第123番)

第16番 No.026 修正図 (曲江 第126番)



おばさん元気でね！

*作者のご要望により記載していません。

戦友

*作者のご要望により記載していません。



リストラに負けるな！

賃金40%カット、年間労働時間200時間アップの工場まるごと別会社のめちゃくちゃなリストラに反対して親会社の富士通への要請行動に上京してきた信州は佐久市の高見沢電機のひとたち。

25年勤めた会社が倒産したとき、信州は上田の工場での半年間におよぶ泊り込みをはじめ争議の解決まで、みなさんにはひとかたならぬお世話になりました。

これくらいのことしか出来ないとお礼の意味をこめて大井町の富士通ビル前そして駅前でのピラマキのお手伝いに行ってきました。

ピラを受け取りながら「大変ですね。がんばってください。」と励ましてくれるひとたち。国中を吹き荒れるリストラの嵐、どうしていいかわからないまま泣き寝入りしているひとたちのいかに多いことか。

きっとそのひとたちも、ゼッケンをつけがんばっている姿を見て励まされているのでしょう。

リストラが大手を振ってのし歩くルールなき資本主義、こんな世の中は20世紀で終わりにしましょう。そのためにも来年の都議選そして参院選いっしょにがんばりましょう。

2000.10.28

前回の「詰将棋ひとりごと」は2000年の発行。オリンピックの年でした。あれから4年、でもかんじんの詰将棋がほとんど出来ていませんが安南詰を集めて無理やり作ってみました。

詰将棋ひとりごと 2004

2004年9月4日

大野 孝



2011年7月

☆野暮用の合間にのんびりと細々と安南詰を作っています。

「安南詰将棋」

9 8 7 6 5 4 3 2 1

一 安南詰
二 17手
三
四 詰パラ
五 2004年10月号
六 修正図
七
八
九 *No.026修

持駒 角金

(詰パラ 平成16年10月号)

16香 同玉 26金 15玉 24銀生 同香 17飛 26玉 37金 同銀生 16角 38玉 18飛 47玉 25角 同香 59桂 まで 17手

☆十五歳のころから二十歳すぎまで続けた将棋、その間覚えた安南詰、十八のときに初めて作った詰将棋も安南詰。

社会に出て、盤・駒と徐々に疎遠になり若いころ購読していた将棋の雑誌もほとんど処分してしまっていた。それでも安南詰のノートだけは捨てずに年に一〜二回は開いて僅かずつでもページが埋まっていった。

勤続二十五年を目前に勤めていた会社が倒産。半年強の破産争議を経て職場をチェンジ

。時間がたっぷり出来たこともあり、それまでの安南詰を整理したり、破産争議でお世話になった労働組合のローカルな機関誌に三十年にして初めて作った普通の詰将棋を載せるようになったり(当時は週刊、三年ほど連載)、東京詰将棋工房を知ってパラを購読するようになったのは十五年ほど前のこと。

今は三年前に再刊された先の機関誌(現在は月刊)に連載をしながら、のんびりやっています。

- ①昭和22年2月22日。
- ②東京都品川区東品川。
- ③会社員(設計)。
- ④早逃げの三四郎(町会エリアが三〜四丁目そこから名前を、姓はおおの早逃げ八手の得から)。
- ⑤パラ平成7年9月号(安南詰)。
- ⑥22題(安南詰)。
- ⑦三〜四段。
- ⑧「詰将棋ひとりごと」「詰将棋ひとりごと2004」(自作・ホチキス止め)。
- ⑨Su bさん。
- ⑩事務所なり会館なりの拠点ができるといいですね。
- ⑪太極拳、アマチュア無線(どちらも初心者)読書。



*凡例

- ①生年月日
- ②住所
- ③職業
- ④ペンネーム、雅号
- ⑤初入選(初出題先)
- ⑥発表数・受賞歴
- ⑦棋級
- ⑧著書・著作
- ⑨好きな詰将棋作家
- ⑩詰棋界に一言、他
- ⑪趣味

古今詰将棋作家名鑑
 四百人一局集
 平成23年7月1日印刷
 平成23年7月15日初版第1刷発行
 編者 門脇 芳雄
 編集協力 北村 憲一
 岡本真一郎
 発行者 柳田 明
 発行所 全日本詰将棋連盟
 印刷所 KCプリント
 表紙題字 九段 内藤國雄

2014年8月

まえがき

”詰将棋ひとりごと”を2000年に、そして”詰将棋ひとりごと2004”をそれぞれホチキス止めのB6版で作ってきました。

オリンピックの年ごとに発行しようと思っ
てはいたのですが、掲載誌が次々に休刊、加
えての忙しきにかまけて、あつという間に1
0年が経ってしまいました。

この間に作った初心向け詰将棋をかき集め
れば何とか形になりそうということで発行を
思い立ちました。

「安南詰」は前2冊の再録もありますがご
容赦下さい。詰将棋の全くわからない方にも
名刺代わりにお配りしたく、ところどころに
拙い随想を配しました。

皆様のお手空きの時にご一読いただければ
幸いです。

2014年7月

*問題1～問題25は普通詰のため割愛。

ここから安南詰

詰将棋の専門誌「詰将棋パラダイス」のフェ
アリーランドのページに生息している特殊ル
ールの詰将棋のひとつ。初めてつくったのは
かれこれ半世紀前。

ルールについて……その「詰パラ」には「味
方の駒がタテに重なったとき、上の駒は下の
動きになる」「ある駒Aの直前に味方の駒B
がある場合、BはAの動きになる」と説明し
ています。

	5	4	3	2	1	
					玉	一
				王	王	二
						三
			桂			四
		銀				五

安南詰
例題

持駒 なし

図で、玉はうしろの駒、金の動き。攻め方の
桂はうしろの駒、銀の動きとなっています

で、初手2三桂成と王手できます。玉は金の
動きですから2一へは行けないので同玉の一
手となり、玉は桂の動きになります。そこで
銀が2四へ進んで詰となります。

【解答】2三桂成 同玉 2四銀 まで3手詰

問題26 No.001 (曲江 第9番)

問題27 第1集 第2番 (曲江 第13番)

ペンネーム 早逃げの三四郎

“王の早逃げ八手の得”将棋のことわざです。
わたしのペンネームは“王の”⇒“大野”、“三四
郎”は後手が角道を開ける34歩からでなく、
お手伝いしている町会エリアが3丁目と4丁
目から付けました。

ローカルな出版物に載せてもらう詰将棋に
はこのペンネームを使っています。

筆名、芸名、リングネーム、雅号、吟号、
源氏名、ラジオネーム、俳号、屋号、亭号、
四股名、名跡、登録名、偽名、変名、匿名、
活動家名などなど。

他人から呼ばれるものにはあだ名や愛称。

お墓に入っては戒名、法名。

ネオン街では社長さん、歳はとってもい
つまでもお兄さんと呼ばれることも…ちょっ
と話しがずれてきました。

うちの宗派の法名は3文字。亡くなった兄
もわたしも親父の名をひとつもらっているの
で、似たような法名がお墓に刻まれること
でしょう。

書いていて思い出したのですが、むかし練
習したモールス通信でのハンドルネームは“
taka”でした。

問題28 No.030 (曲江 第76番)

問題29 No.015 修正図 (曲江 第77番)

問題30 No.028 (曲江 第78番)

問題31 No.009 (曲江 第100番)

与太話 酔いつぶれて

はじめて行った温泉町。団体旅行のにぎやかな宴会も終わり、酔いにまかせてなぜか一人で夜の街へ、ふらりと入ったスナックですすめられるままにグラスを重ね、そのままだらしく酔いつぶれて寝入ってしまいました。

「どれだけ時間が経ったのか」目が覚めて酔ってもうろうとした頭で、まわりを見わたすと浴衣のふところから落ちたらしいわたしの財布が転がっています。

そんな頭でも急いで手に取ると、中はカラ。酔った頭でも事の重大性はわかり。「さあどうしよう」。

騒ぎ立てても「もともと空だったんでしょ」ととぼけられそうだし、なおも騒げば奥から怖いお兄さんが出てきて脅かされてしまいそう。

「さあどうしよう」と悩んでいるうちに目が覚めて、ああ夢で良かったと安堵したのでした。

なんでそんな夢を……と思いながら、家内に与太話をしていると「正夢になるから気をつけなさい」と云われてしまいました。

空の財布といっても大型スーパーの割引券だけ残っているという結構リアルな夢でした。

物忘れがひどくなった昨今、これは本当に気を付けなさい。

問題32 No.029 (曲江 第96番)

問題33 No.004 (曲江 第94番)

問題34 第1集 第19番 (曲江 第92番)

問題35 No.003 (曲江 第91番)



毎月発行「解けてうれしい詰将棋」

平成23年10月、中高年世代が自分の孫のみならず、広く孫世代に将棋を伝えて行くことを目的として「将棋を孫に伝える会」(For the next generation)を発足しました。

併せて、「将棋」とともに「詰将棋」を普及推進するために平成24年6月より、小冊子「解けてうれしい詰将棋」を毎月発行して3年目となりました。

内容は初心者用1～3手詰が中心ですが、5～9手詰の手応えのある問題や、「懸賞問題」「鍛えろ！終盤力！」として必至問題も掲載して、初級者から実力者まで幅広く楽しんでもらえるように工夫しています。

また今回、大野孝様の個人作品集発行の運びとなりました。今後も個人作品集の発行支援にて「将棋の普及」とともに詰将棋作家の皆様にもお役に立ちたいと思っております。

「将棋を孫に伝える会」三宅 英治

大野孝詰将棋作品集

解けてうれしい詰将棋 増刊号

詰将棋ひとりごとミニ

著作者紹介

大野 孝 昭和22年2月22日生まれ

お酒をこよなく愛する67才。

東京生まれの東京育ち(港区⇒品川)。

中央大学将棋部出身。

将棋&安南詰作成歴は半世紀。難解性よりもユーモアを重んじる作風。最近は肩の力を抜いて5手詰を中心に創作。

発行者／「将棋を孫に伝える会」

編集責任／三宅 英治

編集・表紙絵／西村 好一

イラスト／myi

DB確認／荒川 貴道

制作／株式会社 双峰社

平成26年8月1日

詰将棋ひとりごと 曲江

2017年6月

第1番 第3集 第2番
第2番 第3集 第3番
第3番 第4集 第1番

集071 第4番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								馬	二
								王	三
									四
									五
							香		六
									七
									八
									九

安南詰
3手

作品集 曲江
2017年6月

ツイン
b)持駒金→飛

持駒 金桂

a) 24金 12玉 25桂 まで 3手
b) 12飛 同玉 24桂 まで 3手

これは簡単。

第5番 第4集 第2番

集072 第6番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								飛	二
								金	三
								角	四
									五
							龍		六
									七
									八
									九

安南詰
3手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

21飛成 同龍 22角成 まで 3手

これも両王手。

第7番 第4集 第3番

集073 第8番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
								香	三
								角	四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
3手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

31香左成 12玉 32角成 まで 3手

32香成は12玉にて逃れ。最終生も可。
これも13香は歩でも成立しています。

第9番 No.001
第10番 No.005
第11番 第2集 第2番
第12番 第1集 第9番
第13番 第1集 第2番
第14番 No.002

集074 第15番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								飛	二
								龍	四
								角	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
5手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

11飛成 同玉 33角成 21玉 11龍 まで 5手
大駒図式というだけ。

第16番 No.006
第17番 第3集 第10番
第18番 第2集 第3番
第19番 第4集 第9番
第20番 改訂版 第60番

集075 第21番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								星	一
								星	二
								飛	三
								王	四
									五
								飛	六
									七
									八
									九

持駒 銀

13飛成 同玉 23飛成 同馬 14銀 まで 5手

同じ手筋が続きました。
これも一瞬無仕掛。

第22番 改訂版 第63番

集076 第23番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								王	二
								龍	三
								銀	四
								飛	五
								銀	六
								銀	七
									八
									九

持駒 銀

25銀 15玉 14龍 同銀 24銀打 まで 5手

余詰っぽい初形に36馬を追加しましたが、不要のようです。

第24番 第3集 第8番

集077 第25番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								星	一
								星	二
								王	三
								星	四
								香	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛

32角成 13玉 12飛 同香 23馬 まで 5手

Subさん作で似た収束のものがありました。
4手目同玉も同じ。

第26番 第4集 第6番

集078 第27番

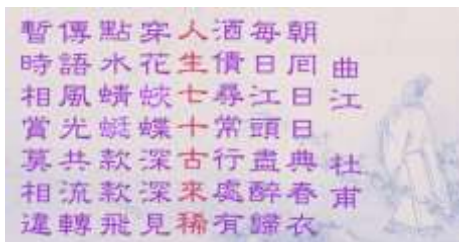
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								星	一
								王	二
								香	三
								角	四
								角	五
								香	六
								桂	七
									八
								香	九

持駒 なし

13角成 同玉 22角成 同龍 25桂 まで 5手

4手目14玉も25桂まで。
3手目23角成は同龍 25桂 22玉 23桂成 13玉 以下逃れ。



集079 第28番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	科
							皇	王
							王	三
							桂	四
								五
							飛	香
							角	七
								八
								九

安南詰
5手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

23飛成 同桂 35角 同桂 15香 まで 5手

22飛成は同銀 35角 24香にて逃れ。
詰上り、何と名付けたらいいのかな。
磯田案；玉突き、トコロテン。

集081 第35番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	科
							角	科
							銀	飛
								王
								四
							香	五
							角	六
								七
								八
								九

安南詰
5手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

13飛成 同玉 23角成 同桂 24銀成 まで 5手

3手目が大事な手筋。
初手24飛成は同歩で逃れ。初手銀成も同じ。
金は余詰消し。

集080 第29番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	科
							科	王
							皇	三
							桂	飛
							角	皇
								四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
5手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

15飛 同馬 13香 23玉 14角 まで 5手

いきなりの駒取りはちょっとですが。
手筋の両王手。また出てきます。

集082 第36番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	馬
								二
							金	科
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
5手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 銀桂

32銀 12玉 23金 同桂 24桂 まで 5手

3手目23銀とは出来ないの。
逃げ道ふさいで桂吊るし。

- 第30番 改訂版 第47番
- 第31番 改訂版 第48番
- 第32番 改訂版 第46番
- 第33番 第4集 第4番
- 第34番 第2集 第7番

集083 第37番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							香	
							王	
							馬	
							駒	

安南詰
5手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 金金金

42金 同角 43金 同龍 63金 まで 5手

初形「テトリス」。

持駒飛金金でしたが、初手12~32飛以下余詰んでしまいます。

集084 第38番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				龍	王			
				金	爵			
					角			

安南詰
5手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

32金 12玉 21龍 23玉 33角成 まで 5手

これも一種の両王手。初手と5手目が両王手。

第39番 第3集 第4番

集085 第40番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					爵	王		
				飛				
					馬	王		
						爵		

安南詰
5手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 飛

13飛 同玉 12飛成 同銀 23馬 まで 5手

3手目43飛成は33歩で逃れ。

初手12飛成は同銀 13飛 同銀で逃れ。

集086 第41番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							銀	王
							爵	
								王
							龍	

安南詰
5手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 歩

15歩 13玉 12銀成 同金 22龍 まで 5手

前問と同じ筋。これはかんたん。

集087 第42番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						爵	王	
								王
							桂	
							飛	

安南詰
5手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 金

11金 同玉 14飛 22玉 24飛 まで 5手

玉が横に移動した形です。

初手22金は王手にならないので。

集088 第43番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							皇	馬
						王	飛	
						銀	王	
						馬	歩	
								桂

安南詰
5手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

24銀成 同桂 12飛成 同角 23桂生 まで 5手

歩が復活しての話。何詰というのでしょうか。
類作が続きます。

集089 第44番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							皇	王
							飛	皇
								王
						皇	皇	香
								桂

安南詰
5手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 金

24金 同馬 12飛成 同玉 23桂成 まで 5手
成生違いの類作です。
両王手の収束です。

- 第45番 第2集 第6番
- 第46番 第1集 第12番
- 第47番 第2集 第10番
- 第48番 第2集 第9番

集090 第49番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							皇	皇
							皇	皇
								王

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 桂

25桂 13玉 15龍 23玉 33桂成 同桂 14龍 まで 7手
5手目が大事。
12金は5手目桂成場所の限定。

- 第50番 第2集 第15番
- 第51番 第2集 第18番

集091 第52番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							皇	皇
							皇	皇
							皇	皇
								王

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 角

34角 14玉 24金 同香 26桂 同香 25角
まで 7手

打った角を引けるようにとの段取りが手筋です。
3手目25金や26桂は16玉と抜けられる。

集092 第53番

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 銀銀

19飛 17合 26飛 同角 27銀 同銀 25銀
まで 7手

2手目同玉は29銀まで。
5手目25銀から入ると同銀 27銀 同角で逃れ。

集093 第54番

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 銀

23飛成 同玉 13角成 34玉 35銀 同龍 23馬
まで 7手

これはかんたん。

第55番 第2集 第17番
第56番 第2集 第16番

集094 第57番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			馬				銀	王	一
							飛	王	二
				角			王	王	三
								王	四
								金	五
									六
									七
									八
									九

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 桂

12飛成 同金 25金 13玉 26桂 24玉 14桂
まで 7手

2手目香合は15桂まで。他合は25金まで。
飛合は売り切れ。61角はさえない余詰消し。

第58番 第4集 第12番
第59番 第4集 第13番
第60番 第1集 第14番
第61番 第3集 第14番
第62番 改訂版 第74番
第63番 No.047 (左右反転図)
第64番 No.044
第65番 2004 第3番
第66番 2004 第2番

集095 第67番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	銀	一
							王	王	二
							王	王	三
								馬	四
								王	五
								王	六
								王	七
								王	八
								王	九

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 角香

14香 12玉 13角 22玉 11角成 同玉 33馬
まで 7手

2手目22玉は23香成まで。
5手目は成生非限定。
最後は安南の両王手、好きな形です。

第68番 No.046

集096 第69番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	王	一
							王	王	二
							金	王	三
							桂	王	四
							銀	王	五
								王	六
								王	七
								王	八
								王	九

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 桂

44馬 同桂 32桂成 11玉 22成桂 同龍 24桂
まで 7手

2手目合は取って同玉 34銀まで。
途中で両王手が入ります。

第70番 No.060

集097 第71番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	王	一
							王	王	二
							桂	王	三
								歩	四
								王	五
								王	六
								王	七
								王	八
								王	九

安南詰
7手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 飛角

13角 23玉 12飛 14玉 35角成 23玉 13馬
まで 7手

角、飛と打ってみれば、なるほどの手筋。

第72番 No.058

集098 第73番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	科
							王	三
							角	飛
								歩

安南詰
7手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 飛

13角成 22玉 24飛 13玉 22飛成 同角 23飛
まで 7手

両王手で桂頭玉に持っていきます。
22飛成はおなじみの手筋。
16歩は余詰消し。

- 第74番 No.007
- 第75番 No.008
- 第76番 No.030
- 第77番 No.015 修正図 (改訂版 第77番)
- 第78番 No.028

集099 第79番

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							皇	王
							帝	二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

安南詰
9手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 香歩歩

12歩 同玉 13歩 同玉 14香 同玉 24角 23玉
25金 まで 9手

手数を伸ばすために出だしを取って付けました。
桂は消したかったのですが。

第80番 No.053

集100 第81番

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰
9手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 金

38金 15玉 27桂 26玉 35桂 同香 27金 15玉
16金 まで 9手

最後は流れてしまっています。
云われて気が付く小駒図式。

集101 第82番

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰
9手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 歩

15歩 同玉 25飛成 14玉 27飛 13玉 22龍 同
歩 25桂 まで 9手

5手目の引き場所は非限定。

集102 第83番

9	8	7	6	5	4	3	2	1

安南詰
9手

作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

48龍 29玉 19金 同玉 18龍 同馬 49龍 55玉
58龍 まで 9手

最終はすかし詰。7手目は両王手。

- 第84番 改訂版 第79番
- 第85番 第3集 第16番
- 第86番 No.052
- 第87番 改訂版 第80番
- 第88番 No.039 修正図
- 第89番 No.037

集103 第90番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				龍	王	笛			一
				金					二
									三
					金	香			四
									五
									六
									七
									八
									九

安南詰
9手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 なし

32金 12玉 11龍 同玉 22角 12玉 21金 同玉
23金 まで 9手

122番 (13手詰) とツイン。
こちらは下段で詰。

31龍 12玉 32龍は13玉で逃れ。歩はこのと
きの余詰消し。

- 第91番 No.003
- 第92番 第1集 第19番
- 第93番 第3集 第18番
- 第94番 No.004
- 第95番 No.031
- 第96番 No.029
- 第97番 No.010
- 第98番 No.019 修正図 (2004 第5番)
- 第99番 No.016
- 第100番 No.009
- 第101番 No.021
- 第102番 No.036
- 第103番 No.045
- 第104番 No.043
- 第105番 No.061

第106番 No.048

集104 第107番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						香	銀	馬	四
							銀		五
							銀	角	六
									七
									八
							香	王	九

安南詰
11手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 飛

38飛 29玉 18銀 19玉 39飛 18玉 19飛 27玉
26馬 同飛 38銀 まで 11手

作意に対しては玉方の変化はありません。
むずかしさはありません。

第108番 No.042

第109番 No.038

集105 第110番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						香	銀		五
						香			六
						香			七
							飛		八
							角		九

安南詰
11手
作品集 曲江
2017年6月

持駒 金金

16金 同玉 25銀 同香 18飛 27玉 38金 同金
17角 39玉 19飛 まで 11手

4手目同玉は金打まで。
7手目の金捨で金頭玉に。最後は両王手。

第111番 No.011 修正図

第112番 No.034

第113番 No.017 修正図 (2004 第12番)

第114番 No.012 改良図 (改訂版 第92番)

第115番 No.025

第116番 No.018

第117番 No.027
 第118番 No.033 修正図
 第119番 No.032
 第120番 第3集 第20番

おもいででの3局

「小石広志安南詰将棋百番」のラストにはBest 3としてSubさん自慢の3局が選ばれています。

わたしは思い出に残る3局を選んでみました。

集106 第121番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										料	一
										料	二
										料	三
										王	四
											五
											六
											七
											八
											九

安南詰

13手

作品集 曲江
 2017年6月

持駒 銀桂歩歩

26桂 15玉 27銀 14玉 16銀 13玉 14歩 同銀
 25歩 同銀 同銀 同玉 27銀 まで 13手

持駒違いで11番 (5手詰) とツイン。
 2手目13玉は25歩で 同桂は22銀、同玉は
 27銀まで。

第91番 9手詰

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										王	一
										料	二
										銀	三
										角	四
										料	五
											六
											七
											八
											九

*No.003

持駒 銀銀

18歳のころの作。
 最終3手収束の手順はなかなかのものと思っ
 ています。
 あと3手ですよから15分考えたプロの先生。
 半世紀以上前の思い出。

集107 第122番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										王	一
										龍	二
										金	三
										金	四
										馬	五
											六
											七
											八
											九

安南詰

13手

作品集 曲江
 2017年6月

持駒 なし

32金 12玉 11龍 同玉 22角 12玉 23金 同玉
 33角成 13玉 23金 14玉 24馬 まで 13手

90番 (9手詰) とツイン、こちらは上段で詰。
 23金を見つければ。

第124番 11手詰

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										皇	一
										王	二
										香	三
										桂	四
										飛	五
											六
											七
											八
											九

*No.022

持駒 銀銀

途中の駒取りがちょっと気にいらないので
 すが、収束は気に入っています。
 Subさんの短評に「計算し尽くされた完成品」
 とほめられたのはうれしい思い出。

第123番 No.023
 第124番 No.022
 第125番 No.035
 第126番 No.026 修正図 (2004 第16番)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	皇	冠	角					
二					王			
三		角	科	王				
四								
五			桂					
六			銀					
七								
八								
九								

*No.025

持駒 飛

これも好きな収束。

余詰検討のメモが大量に残っています。それなりに苦労して作り上げた思い出。

△安南将棋の始まり

11世紀ころ日本に伝えられた将棋は、16世紀の初めころ現行将棋の型に落ち着いたと考えられるが、以後盛んになった江戸時代の長い期間を通じて、ルールを変則的にして遊ぶことはほとんどなかった。わずかに幕末に至って八方桂の記録が見える。八方桂は市川太郎松の創案という説があるが、真偽の程は分からない。

安南将棋の始まりについては、この種の話としては珍しく、ひとつのはっきりした資料がある。

昭和初年に博文館から発行されていた雑誌『朝日』1930年10月号にその記事はある。東京帝国大学の鈴木信太郎講師が4年ほど前に「所謂安南将棋なるもの」を発案したと本人が書いている。変則ルールの将棋で学生に負けて、仇討ちのためにまた別のルールを考え出したと動機に触れている。「いわゆる」という表現は、「安南将棋」という呼び名が4年の間に鈴木の周囲にある程度広まっていたこと、とはいえ無条件に通用するほどではないことを暗示している。

鈴木信太郎は1895（明治28）年生まれ、後に日本芸術院会員になるフランス文学者で、将棋は趣味のひとつだった。

「安南」には「あなん」とふりがなが振られている。本人の文章とタイトル、編集者による大きな文字の見出しなど、何か所もそうなっているので誤植とは考えられない。発案者は「あなん」と呼んでいたのが、後に「あんなん」に変化したことになる。安南とは現在のベトナムの古称だが、この変則将棋になぜ東南アジアの地名が付けられたのか、その由来は書かれていない。発案者の意図があくまでも「あなん」と読む安南で、ベトナムとは関係がないとすると由来は一層分からない。

インターネットに安南将棋の由来に関するQ&Aがあった。「安南とはベトナムの意で



はなく、「南に安く(おく)」という意味合いで、自分視点からみて下方を南方に見立てその動きを模するというルールからきている。」命名した本人の言ではない推測であり、うがち過ぎというものだろうが、ほかに知恵もないから一概に否定できない。

最初の駒の並べ方は、普通の将棋のとおりとある。後になって、飛と角の頭の歩を突いた配置から始める改良型が現れる。

数十年後に、鈴木の後輩が仏文科研究室など周辺の将棋風景を描いた一文がある。『将棋世界』1974年6月号、中島健蔵の随想「観戦専門」である。大学を出たころ「アンナン将棋というのがやはりはじめたことがある」とあって、飛びぬけての将棋ずきのひとりとして鈴木信太郎の名前も挙がっている。フランス文学者で文芸評論家の中島が東京帝大を卒業したのは1928年なので、1926年ころ発案という鈴木の話を裏付けている。

「安南将棋」には消えてしまった別名がいくつもある。中で「朝鮮将棋」は「安南将棋」と平行して比較的長く使われた。目についた古い用例としては、旧パラ1951年11月号の投稿欄に「朝鮮将棋」が見える。筆者のヒロシ生とは20歳、若き日の小石広志である。「朝鮮将棋ってのを知っていますか」と宣伝している。また、将棋評論1952年1月号の付録には朝鮮将棋の紹介がある。

ほかの別名については作品を雑誌に発表する際に記されているので、詰将棋の発展を追いながら紹介する。

△安南詰将棋の発展—作品・雑誌・

ミニコミ・ウェブサイト

安南ルールの指将棋ができてから、その詰将棋が現れるまで30年近くを要した。この間には太平洋戦争があったし、発表する場が乏しいという事情もあっただろう。とうに作られていて、水面下では楽しまれていたとも想像される。

1954年という同じ年のわずかな期間に、

複数の将棋雑誌の投稿欄に相次いで安南詰将棋が掲載された。雑誌によって作者が全部違っているのもおもしろい。ペンネームの本名はほとんどが分からないので、同じ人の可能性があるとさえある。

『風ぐるま』 1954.4 伊佐坂棋印

朝鮮将棋を利用して「朝鮮詰将棋」を考案したとある。

2局同時に発表されたうち9手詰は余詰作だった。記念すべき安南詰の1号局として3手詰のほうを紹介する。レベルを云々するのは的はずれというもの。安南詰を知らない人におもしろさをPRするための例題である。

『近代将棋』 1954.5 爪手美奈斎

これは不詰作だった。続いて6月号に2局出る。一寸法師作3手詰は2手目の変同・非限定が多くて問題。棋閑坊作5手詰を紹介する。さらに7月号にも2局続いた。

「安南将棋」の文字は少し前2月と3月の同誌にも見える。プロ棋士の随想と小説家のコントで、詰将棋は出てこない。

『詰将棋パラダイス』 1954.10 津金貞男

この頃近将誌上で「安南詰」がよく発表されていると前置きして、詰パラでの作品募集を促し、自作1局を示している。1954年10月号は700号を超えて今に続く新パラの第3号であり、記憶に残る安南詰の詰パラ初登場であった。

安南詰の1号局について、少し気になることがある。1954年4月の伊佐坂棋印作を1号局としたが、最初の作品はもう少しさかのぼるかもしれない。翌月の『近代将棋』読者会議コーナーに爪手美奈斎が作品を発表する際に前置きしている。「いつだったか、本欄に安南将棋の規定で詰将棋を作られたかたがあったが、私もこのほど一題創作しました。」

この文からすると1954年4月よりもっと前に安南詰があったとしか考えられない。ところが、いくらバックナンバーを探してもこれを確認できない。解せない話だが一応書き留めておく。

誕生した安南詰も本格的に広がり定着するまでにはまた長い時間を必要とした。各誌に発表が続いた半年が過ぎると安南詰は低迷期に入る。安南詰の名前も広がらず忘れられる。

1962年に久し振りに話題が出た。『詰将棋パラダイス』12月号に、西村正彦の福岡大学将棋部で「広東将棋」と称して人気があり、序盤の定跡化も出来上りかけているとある。「広東将棋」なる名称はその後広まることなく、ここだけのローカルに終わった。「広東」には「安南」の面影があるが偶然だろうか、今となっては分からない。それにしても、定跡化とはすばらしい。普及度とは別に、一部ではゲームとして成熟しつつあることが分かる。

1967年に『将棋パズルクイズ』（松田茂行編、日本文芸社）が、翌年に『強くなる将棋クイズ』（鈴木竜馬、有紀書房）が発行された。どちらにも安南将棋の説明とわずかながら安南詰が載っている。名の通った出版社の本に「安南将棋」「安南詰将棋」と紹介されたことで、知名度が上がったに違いない。

1968年から70年にかけて、小石広志が『近代将棋』に20局を断続的に掲載して気を吐く。小石はこのとき、巷間いう所の朝鮮詰将棋を紹介するが、この名前は実際に朝鮮将棋がある以上、まぎらわしいので「アン

グラ詰将棋」と改名したとっている。実際にある朝鮮将棋とはチャンギを指している。この当時の流行語「アングラ」を借用した「アングラ詰将棋」が使われたのはこのときだけだった。

1970年代に入って、フェアリー詰将棋にとってエポックメイキングな出来事が起きる。個人的・単発的だった出題・解答が組織的・継続的な場を得て安定する。

ひとつは、1971年11月『詰将棋パラダイス』に、花沢正純によって「ばか詰教室」が開設されたことである。第2代担当となった門脇芳桂は1974年8月「フェアリー詰将棋研究室」と改称した。現今の差別用語を避ける自主規制の意味はなく、単にイメージを考えてのことだった。チェスのフェアリープロブレムからとったフェアリー詰将棋という用語を定着させた功績は大きい。このコーナーは1980年7月から「フェアリーランド」と再度改称され、今もそのままフェアリーの殿堂となっている。コーナーの名前からは消えた「ばか詰」には、後になって「協力詰」という言い換えも作られたが目下は並存状態で、詰バラでは相変わらず「ばか詰」が生きている。

ここへの安南詰の登場は意外に遅く、1975年5月吉村達也作が最初である。次々と大作が発表されるようになったばか詰と、いつまでも人気の出ない安南詰を結合して「安南ばか詰」を「新案」した。

安南ばか詰はその後発展を遂げ、長手数 of 極致としては吉田直嗣が加藤徹作のばか詰「寿限無」を安南バージョンに改作した26799手詰まで達している。なお、安南詰の最長記録は出口信男作53手。

もうひとつの画期的な出来事として、1976年7月『カピタン』発行が始まった。9月の第3号に早くも加藤徹による安南詰が載っている。ここでは「安南詰」と、指将棋の「朝鮮将棋」を使い分けている。はじめのころ副誌名に京都大学現代将棋研究会機関誌とうたっていたこのミニコミは、これぞ現代将棋とばかり、固定観念にゆさぶりをかける奇

抜なルールを次々に掲載して、フェアリーに新境地を切り開いていった。終刊の51号までに提案された変則ルールは優に200種を超す。

田宮克哉が主宰する『将棋パズル』も始まった。数年前から詰パラのコーナーとして将棋駒を使ったパズルを出題していたが、1977年12月独立して同名の冊子発行になった。変則詰将棋は詰パラのときからパズルのひとつとして出題され、独立後には安南詰も載った。

フェアリーを扱うミニコミとしては、この後1988年3月服部敦によって『将』が発行され始めた。

世紀が変わって2001年2月、インターネット上に加藤徹のサイト「おもちゃ箱」が立ち上げられた。まさにおもちゃ箱、将棋に関するありとあらゆる情報が満載されている。詰将棋メモのコーナーには「安南ばか詰」「フェアリー詰将棋の記録」の項もある。別に安南将棋の起源についての記事があり、本稿には大変参考になった。

2008年6月には須川卓二によってインターネットサイト「Web Fairy Paradise」が始まった。先鋭的な活動を展開して、『カピタン』なき後フェアリーランドと並んでフェアリーの牙城となっている。

また「Onsite Fairy Mate」「Takubon's 詰将棋」も充実した活動を続けているフェアリーネットである。

「安南詰」は名前もルールもすっかり定着した。

△作者・作品集

小石広志・田宮克哉・加賀孝志・大野孝、この4人が安南詰作者のトップ4といいたいだろう。いずれも、安南詰のみ、あるいは安南詰主体の作品集をもつ。

小石広志は『近代将棋』に安南詰を大量に発表した後休眠していたが、10年近いブランクをおいて詰パラに登場するとフェアリーランドを舞台に小石広志とSub、2つのペンネームで活躍した。2016年『小石広志(小西寛)安南詰将棋百番』が発行されている。小石は2012年8月亡くなっているので作品集は没後出版で、生前柴田昭彦に贈られた作品ノートから大野によって編集発行された。

田宮克哉には1986年にコピー版で作られた『A式安南詰め将棋』30番がある。田宮は『将棋パズル』を主舞台に、京都銀閣将棋など新しいフェアリー将棋の創案と作品創作に奮闘した。安南詰では桂香歩の着手禁止についてのルールとして、厳しいほうをA式、緩やかなほうをB式と名付けた。詰棋人が組織立った横のつながりをもたない時代に、西と東に相次いで詰棋グループを興したが、これが今日隆盛な地域ごとの会合の発端となった。2011年9月に亡くなっている。

加賀孝志は古希を越えてなお、遅咲きのスタートを取り戻すかのような勢いでフェアリー作品を量産している。作品集に1994年2月以来『加賀孝志のフェアリーランド 羊の詩』シリーズがある。近年はフェアリーランド入選の節目ごとに作品集の増補改訂を繰り返し、2016年入選260回記念の第7集まで来た。

大野孝の作品集には1994年12月以来『安南詰将棋20題』と『詰将棋ひとりごと』の2つのシリーズがあり、今回の作品集はちょうど10冊目になる。加賀より少し若い大野も旺盛な創作力は衰えをみせず、これからも新作でまだまだ楽しませてくれることだろう。

(文中敬称略)

△初期の安南詰

(1) 伊佐坂棋印

風ぐるま 1954.4

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	料	皇
							龍		
							歩	香	

持駒 飛

22龍 同玉 32飛 まで 3手

(2) 棋閑坊

近代将棋 1954.6

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							銀		

持駒 香

23香 11玉 22香成 同玉 23銀生 まで 5手

(3) 津金貞男

詰パラ 1954.10

9	8	7	6	5	4	3	2	1	

持駒 角金歩

33角 同香 22飛成 同玉 23歩 14玉 25金
まで 7手

(4) 小石広志

近代将棋 1968.10

9	8	7	6	5	4	3	2	1	

持駒 なし

27銀 14玉 16銀 13玉 25銀 12玉 13銀生 21
玉 14桂 32玉 21銀生 まで 11手

(5) 吉村達也 [安南ばか詰3手]

詰パラ 1975.5

9	8	7	6	5	4	3	2	1	

持駒 銀歩

13歩 同桂 21銀 まで 3手

(6) 加藤徹

カピタン 1976.9

9	8	7	6	5	4	3	2	1	

持駒 なし

13桂生 11玉 23桂生 12玉 24金 11玉 13金
まで 7手

(1) 大：3手目25飛は23合(飛以外)にて逃れ。この合を「顔面受け」と名付けました。23飛合は同歩成 34玉 24飛打までの詰みあり。ばか詰のネタになるかも。

磯：11香は実戦型にするための飾り駒ですね。24歩は初手飛打からの余詰と、22龍 同玉 24飛までという安南らしい余詰を防いでいました。

(2) 大：持駒をいろいろ変えても成立します。余詰もなく作意が成立するのは歩、銀と角でしょうか。

磯：後ろに銀がいなければ直進はできない角もいいいけれど、やはり1筋に打てる香がベストでしょうか。

(3) 大：初手33角に対して同桂とした時の13飛成があたりまえすぎてすぐにはわかりませんでした。

磯：安南脳になっていると13飛成は妙手(?) 実はこの例題に対して翌月号に不詰指摘が載りました。33角 同桂 21金 12玉 22歩 23歩で逃れというものです。3手目13飛成を見事に見落としています。

(4) 大：銀、桂がスクラムを組んで進んでいくのはわたしの1 2 3番にもあります。

磯：躍動的で気持ちのいい手筋ですね。

(5) 大：ひと目5手で詰ませてしまいました。5手なら持駒銀1枚でいいんですね。

磯：23銀 13玉 14銀生 22玉 23銀生ですね。不成2回で桂頭玉の例題としてはおもしろいと思います。

(6) 大：盗作ではないのですが、わたしの4 8番(1985年作)とほぼ同一でした。(手順は同じ)

磯：趣向的な手順ときれいな詰上り形の短編名作選候補。

Subさん「小石広志(小西寛)安南詰将棋百番」作成のおもいで

詰将棋パラダイス、名前は知っていましたが超マニアが集うとても足を踏み入れてはいけないところと思っていました。

購読をはじめて巻末にフェアリーランドのページ。ここでSubさんの安南詰を見つけ、同じ安南詰を作っている人がいる、うれしいものでした。

そのあと手紙のやりとりができるようになり、15題をまとめた手書きの作品が届きました。

こちらからもわたしの作品集を送りましたが、それ以上の発展はなく、ついにお会いすることはありませんでした。

そのうちに手紙が戻ってくるということがあり、つてをたどり柴田さんから亡くなられたたのお手紙をいただき残念な思いをしたものでした。

その後、大阪の全国大会で柴田さんよりSubさんの手書きの作品集をいただいているとお話をお聞きし、これを刊行するのはわたしの役目と一念発起しました。

詰パラの作品を抜き出したりそのほかの資料を集めたりとの作業でしたが、基本的にはノートをそのまま活字化しました。

手書きということで読み下しにはかなり悩みましたが、それ以上に悩んだことは手を入れざるを得ない作品のことでした、出典不明のものはそこそこ苦労したものもありました。本をお持ちの方は原本のページと見比べてみてください。

Subさんの作品は端に桂香を配した実戦型が多いのが特徴です。ということは形から入る順算で作られているようで、わたしはおもしろい詰上がりからはじめる逆算法ですから、どちらがむずかしいかは歴然、Subさんに一日の長、やはり年季がちがうのでしょうか。

柴田さんのお話では亡くなられたときのこと、そしてその後のことは今日現在にもわかっていないということです。

もしお知りの方がありましたらぜひご連絡ください。墓前に作品集をお供えしたいと思っています。

詰将棋ひとりごと

20世紀の終わりに作品集を作ろうと思いいちました。

所属していたローカルな労働組合の手作りの機関紙にむりやり作って載せていたかんたんな詰将棋とそれまでに作っていた安南詰将棋、そしてあちこちに投稿した文章を集めて、手作り、ホチキス止めのB6版の本を作りました。

その後福島竜胆さんから普通話のコメントをいただき「詰将棋ひとりごと改訂版」として作り直し2000年の静岡での全国大会で配布するとともに身の回りの方々にお渡ししました。

文章を配したのは詰将棋のまったくわからない人にも見ていただくとの思いでした。

次に作ったのが「詰将棋ひとりごと2004」でやはりB6判手作りでした。ただし普通話はなく安南話と文章のもので、そんなこともあり作成数は微々たるものでした。

2000年、2004年と続いたので、オリンピックの年ごとにも思ったものでしたが、野暮用にかまけて次に作ったのが「詰将棋ひとりごとミニ」2014年のことでした。

これは「将棋を孫に伝える会」の協力を得ての発行となり、会としての増刊号第一号となりました。

そして昨年Subさんの作品集を発行してみますと、自分の安南話作品集もとの思いがつり、70歳の記念と作成にいたりしました。

「曲江」（きょくこう、きょこう）は杜甫の七言律詩。その一節に古希の語源「人生七十古来希」があり、この詩のタイトルからいただきました。これが4冊目の「詰将棋ひとりごと」です。

今回はSubさん作品集と対のつもりで作り

ましたので、ぜひ2冊を手にお愉しみください。

朝のコーヒー

あのときと同じ駅前の喫茶店で、やはり通勤前のひとときを同じ窓際の席でときどき空を見上げ、木の葉の間からさしこむ朝日を見ながらこの文章を書いています。

20年前に書いた同じ題名の文章があります。文末に1997とあるその文章は一冊目の「詰将棋ひとりごと」に載せました。

25年勤めた会社が倒産し、横浜は鶴見の会社に勤めはじめたころです。あれから20年、70を過ぎて頭も身体の動きもにぶくなり、目も見えにくくなったこのごろ、わたしが将棋をはじめたころのプロの先生たち、また同年代の先生たちの引退のニュースを目にして、わたしもこの会社からの引き際を考えながらコーヒーを飲んでいました。

いまはホットにするかアイスにするか悩む季節。最近は年齢と健康を考えてノンシュガーにしています。

ここはあちこちの駅前にあるチェーン店の喫茶店、20年の歴史は一杯のコーヒーの値段を150円から200円に変え、窓の外の景色も飲み屋とマンションの街に変えています。

街並みは変わり、窓の下を職場に向かう人たちの顔ぶれは年々変わっても、朝の人の流れは当時と同じに目に映り、なんとなくスマホ方丈記を引いていました。

これを書きながら時計を見るともうこんな時間。今日の昼食は何にしようか考えながら店を出て人の流れに身を移す。

さあ、あと何日、あと何杯この朝のコーヒーを味わえることだろうか。

*朝のコーヒー1997は全集2に掲載。

わたしと安南詰

将棋をはじめたのは高校生だった15～16歳のころ。学校が休みの日に探し当て通いはじめた五反田の将棋道場。そこではじめて教えてもらったのは同じ高校生。2～3週間前から通っているとのこと。

この道場で彼は3級、角落ちで全然だめなので、だいぶ甘く5級ということでスタート、わたしの上達レベルとしては高校卒業までに初段になれたのかなれなかったとかいうその程度のレベルでした。

大学に入ってすぐに部室を探し当てて入部、当時は日本一の強さを誇る将棋部。4年生に強豪がそろい、3年生の学生名人、関東学生名人でもかならずしもレギュラーになれないという層の厚さを誇っていました。

でも日本一を続けてもマスコミに取り上げられることもなく、当時連覇していた箱根駅伝は大々的に取り上げられ、なんだこちらは全国レベル、駅伝は関東レベルじゃないかと負け惜しみを云っていました。

その将棋部で先輩に教えてもらったのが安南詰。当時はなぜか朝鮮詰棋と呼んでいました。2～3局指したでしょうか、でもなぜかそのあとはほとんど指した記憶はありません。

詰将棋の世界には興味がなかったというか、ハードルが高いと思っていたのか詰パラの購読をはじめたのはそこから30年近い時間が必要でした。

詰将棋、そのなかでも安南詰将棋、これなら作る酔狂な人もほとんどいないだろうと、家で駒を並べていたら出来ていたのが第9番（5手）18歳のころでした。

学生時代は作って部室に持っていくと解いてくれる人もいてそれなりに作り甲斐のある時代でした。

しかし卒業してしまうとそのような機会も減り、年に1～2回会うときに見せる程度。将棋も社会に出ると疎遠に、安南詰も年に1～2作といことが続いていました。それでもその同級生とは今でも将棋バーとか会っています。

40年ほどまえでしょうか、発表の場所はと

考えて近代将棋誌と将棋クラブ誌の読者欄に何回か数題投稿していましたが、それ以上の進展はありませんでした。

卒業後25年間勤めた職場が倒産、1年ほどビルの設備管理の仕事につきました。これがまた思い切り時間のある職場、机に座ってそこにあったワープロ機をたたいていままでに作った「安南詰将棋をまとめていてもOK。まずは「安南詰将棋20題」を作ってみました。

これが廻り回って加賀孝志さんのもとへ、わたしの住まいと同じ品川での会合「東京詰将棋工房」を知ること、この世界に顔を出すことになるとともに、現会長の柳田さんから薦められて詰パラの購読をはじめたのもこのころでした。

そのころ、だれに云われたのか初めて作った詰将棋が「安南詰将棋」というのはめずらしいですね、と云われたことを思い出しました。

詰パラのフェアリーランドのページを知り、わたしの安南詰を発表する場所を知ることができました。

安南詰を作っただけで半世紀を越えました。安南詰の作家は数少ないこともあり、作品のレベルは別にしてこれからもぼちぼちと作っていこうと思っています。

はじめに書いた五反田の道場の高校生、道場師範の大夫九段に弟子入り、高校生での奨励会入会というハンデを跳ね返してみごとプロ入り、その後A級まで上りつめ頭を丸めて名人戦に現れた、と言えおわかりでしょう。わたしと同年代の森九段です。

あとがき

集大成と云ってはあまりに大きですが、18のときから作り続けた安南詰将棋をまとめて本にしたいと思い立ったのは、やはり昨年「小石広志（小西寛）安南詰将棋百番」を発刊したことでした。

今度は自分の作品集を発刊したいとの思いにいたるのは必然だったのでしょう。

しかし、作品を選び出してみると短手数のもものが多く、作品集といってもSubさんのものと比べると見劣りがして手筋集の感もいなめないものになりそうでした。

そこで、このままではちょっとさびしいと思い、安南将棋・安南詰将棋に関する歴史を載せることは出来ないかと思ったりしました。

そこで、かなりのむちゃぶりとは思いましたが、このようなことに関してはお得な磯田さんへお願いするのが一番とのわたしなりの結論にいたりしました。

まったく虫のいいお願いでしたが、出来上がってきた原稿はさすがな文章で、わたしの知らない事柄も満載で、フェアリー全般も含め安南将棋・安南詰将棋の歴史をまとめ上げたものを今の時点で世に出せたことは意義あることかと思っています。

磯田さんはこれは付録ですとおっしゃっていますが、わたしとしてはこれでこの本に重みがついたと喜んでいきます。

また、「小石広志（小西寛）安南詰将棋百番」に引き続き今回も「将棋を孫に伝える会」三宅英治さんのご協力をいただくことが出来ましてたいへん助かりました。

ここに、お忙しいところお骨折りいただきました磯田さんそして三宅さんへ深くお礼申し上げます。

二年に続けての安南詰将棋作品集の発刊を期に、安南詰将棋の世界が広がることを期待して筆を置きます。

2017年6月25日
大野 孝

筆者プロフィール

大野 孝

生年月日 昭和22年2月22日

中央大学将棋部卒

赤旗名人戦 準優勝 1970年

ただし指将棋の世界は20代まで。

安南詰将棋を50数年にわたり創作。

普通詰は初心者向を若干創作。

編著 安南詰将棋集 手作りを中心に数冊。

安南詰将棋

詰将棋パラダイス フェアリーランドに
30数作掲載。

磯田 征一

生年月日：1938年12月7日

編著：古今詰将棋書総目録 2008.10

詰棋書保存委員共同編集

論考：詰将棋一番星 1979.9～1983.12

詰将棋パラダイス 連載31回(未完)

大小詰物 1984.6

詰棋めいと

詰将棋の散歩道 2011.2～2017.4

詰将棋パラダイス 連載25回

2009.8よりウェブサイト「詰将棋一番星」を開設、現在に至る。

「古今詰将棋書総目録」発行後のフォローと、古図式の研究発表の場としている。

安南詰将棋作品集
付. 安南将棋・安南詰将棋の歴史

著 者 大野 孝

協 力 将棋を孫に伝える会

印刷所 ちょ古っ都印刷工房

編 集 大野 孝

発 行 2017年6月25日

編集後記

詰将棋全集 1 として初版を発行したのは2019年版。
今年も2024年版を発行することができました。
多作家の創作意欲は衰え知らず、今なお継続発表中。

安南一族の初登場は将棋雑誌の読者欄。その当時は、
パラ会員ではなくフェアリーという言葉すら知らずに
安南詰を作っていた、という共通点を持つ間柄。
安南作家の作品群を楽しんで頂けると幸いです。

詰将棋全集 1

安南詰編 2024年版

2025年 2月 1日 初 版

作 者 大野 孝
編 集 佐藤 達也
発 行 安南詰愛好家

ISBN978-0-1931-0825-7

C2076 ¥0000E

定価： 本体 0 円 + 税

大野 孝 作

